

不許転載

溺れる日本よ、ワラをつかむな

中塚善成

目次

テロの衝撃 / 日本人最優先 / 「民主主義への挑戦」
どえらい事件 / 腹が立ったらすぐ殺す / 児童虐待 / 尊属殺人 / 母の愛 / 逆らう自由
メイド・イン・チャイナ / 即死産業 / 構造改革で日本はつぶれる / 日本再占領
日本仏教 / 民主主義 / 自由と平等 / 罪と罰 / 他者の痛み / 人権 / 権利と義務 / ペット愛
心の理論 / DNA / 精神、自己と他己 / サルからヒトへ / ヒトから人間へ / 動物的人間
動物の中のドーブツ / 赤ちゃんという仏さま / 小学生には統制を / 中高生には自由を
賛成！ 反対！ / 社会科 / 不可と優 / 民主主義の独裁者 / あたまとこころ
信仰と自我の両輪 / 和の精神 / 風土 / 「夫婦相和シ」 / エゴイスティックな小心者
たまらん、もっとくれ！ / ヒーロー願望 / ノーベル賞廃止
お金はええことに使いましょう / 子どもが欲しい！ / 血縁、地縁
アイデンティティ・クライシス / PTSD / カウンセリング
カウンセラーの個人的意見 / ひきこもり / ひきこもりはなぜ起こる / 生きる力
ストレスは消えない / 「センス、遊びなはれ、酒も飲みなはれ」 / 病人教師
アタマを空にする / ゆがんだ鏡 / 知識 / タテマエとホンネ / 砂の上に打ち捨てられた魚
自閉症 / 障害者差別 / ハンセン病 / 自己・他己双対理論 / ひびきのさと / 失業率
刹那 / 前門のアメリカ、後門の中国 / 日本の役目
生まれ！ 戻れ！ / 民和主義 / 晴耕雨読 / 食糧危機 / 産業はどうなる / 市場主義の限界
さらば東京、さらば大阪 / 楽はせん、させん / イモとタニシ

ようおいでくださいました。いろんなお話をさせてもらいますけど、ま、ごゆっくり、くつろいで聞いていただければ、と思うてます。何かご質問とかね、ご意見とかありましたら、どうぞ遠慮のう、どんどん出してくださいよ。

テロの衝撃

今日はね、日本のことを中心にお話しさせてもらうつもりですけど、それにはやっぱり、外国との関係も大事です。

アメリカでものすごいことが起きましたね。あんなこと誰も予想せんかった。私いつもね、夜は早うに寝るんですよ。だいたい8時頃には眠くなって、ふとんに入ります。そしてね、夜中に起きて原稿書いたり、本読んだり、机に向かって仕事するんです。そしてまた朝方に少し寝る。

あの日、9月11日やね、あん時もやっぱりそうやった。7時半過ぎに寝ましてね、それで10時前に目が覚めたんですわ。10時からニュースやる局があるでしょ。今日は何ぞあったかなあ思うて、テレビつけたんです。そしたらいきなりどえらいことが始まった。ニューヨークの世界貿易センターが燃えとる、飛行機が突っ込んだらしいと。えらいこっちゃんあ思うて見とったらね、そしたらまたもう1機がバーン、突っ込んで来て大爆発した。

こりゃテロや、事故なんかやないと、見た瞬間に思いました。別の部屋に弟子を住まわしとりましてね、彼まだ起きとるかなあ思うて見に行ったら、やっぱりテレビにかじりついてました。

マンハッタンの超高層ビルん中でも、あの建物はアメリカの富と繁栄の象徴ですね。そいつを2棟ともぶち壊した。こりゃあ世界経済の中枢をマヒさせて、大混乱起こして、そのスキに大儲けしようちゅうような奴があるんやな、こないに思うて見とりました。そしたら今度はペンタゴンに飛行機が落ちたちゅう。ややや、こりゃ金がらみやないで、戦争やな。どこの勢力がアメリカに戦争しかけよんじゃ。どえらいこっちゃんあ、今度はホワイトハウスがやられるんやないかと思うてね。もう寝てられせんわ。結局その晩はほとんど徹夜になってしもうた。

日本人最優先

まあ、日本中、世界中の人がテレビに釘付けになっただけでしょうからね、その後の展開はみなさんようご存じのことと思います。

それにしても、日本政府の反応は鈍かったですね。ヨーロッパの国は、もう朝のニュースに首脳がどんどん出てきてね、アメリカと一緒に闘う言うて、自分とこの態度を明らかにしとった。日本はじーっと様子うかがって、ほとんどももの言わん。そして、先進国の決意表明がおおかた出そろったところでね、おもむろに記者会見して、外国の大統領や首相が言ったことと、いっこも変わらんことをなぞって言うて。

日本人にはね、プリンシプルがない。原理原則、主義主張がないんです。それは何でか言うたら、思想、哲学、それから宗教がないからですわ。プリンシプルがないんやから、何が正しうて、何が間違うてるかがわからん。何をしたらええのか、何を言うたらええのかがわからんと。

「アメリカ助けろで」、言うてもええんかいな。いやいや、下手に肩入れしすぎて巻き添え食うたらかなわんで。他の国はどない言うんやろか。それを待ってからでええわ、何かモノ言うんなら。え？ どこもかしこもアメリカの味方する言うてる。ロシアも中国もそない言うてると。それじゃあ大丈夫やな、みんなで渡れば恐くない、ちゅうこっちゃ。

まあ、だいたいこんな調子でしょ。日本はアメリカにとって最大、かどうかわかりませんが、まあ最有力の同盟国やないんですか。無二の親友やないんですか。友だちが瀕死の重傷負って苦しんどるのを見て、さあ、これ助けたらええもんか放つといたらええもんかと腕組みして考える。他の人が助け出したら、肩越しにのぞいて「大丈夫かいな、心配しとんのやで」とか言うだけ。ちょっと情けないですなあ。「オマエに心配してもらわんでもええわ」って言われるん違いますか。

そして、とにかく政府としては日本人の安否が最優先やと。いつでもどこでも、真っ先に自分のことだけを考える。それが今の日本人ですわ。そりゃね、巻き添え食うて死んだ方々気の毒ですよ。何の関係もないのにね、たまたまそのビルで働いておった、いうだけで、とんでもない殺され方する。そんなこと、あつてはならんと思いますね。

でもね、邦人邦人言うて騒いどるのは、日本人だけです。どこの国でもね、世界のために、平和のために、自分らは何ができるんか、一番先にこない言うて考えとる。それと併行して、自分とこの国民も一生懸命探しとるとは思いますけどね。自国民の安否が最優先や、なんて公言してはばからんのは日本だけですよ。

アメリカの消防士や警察官がね、それこそ二次災害で死んだ人数え切れんくらいでしょうけど、アメリカ人の救助を優先するなんちゅうこと言いますか？ アメリカで起こったことや。アメリカ人が先、そんな中でも白人を真っ先に助けるんやと。有色人種の中では黒人が先で、黄色いのは後回し。日本人？ 手が空いたら助けたるわい、それで文句あるんか。

こないなこと、逆立ちしたって言わへんでしょ。アメリカ人やろうが日本人やろうがインド人やろうが中国人やろうが、誰やって無差別平等に助けると。こないして果敢に飛び込んでいくやないですか。ゴーゴー言うて燃えてるビルにね。

「日本人が一番やでえ。ワシらんとこを一番に助けて、一番に身元確認せえ」、こない浅ましいことわめいとんのは、世界広しと言えど日本人だけです。

行方不明の日本人の名前をね、何で延々とテレビで報道する必要があるんですか。所在がわからん人はね、とっくに外務省が把握してる、企業もわかっとる。そこから家族に連絡が行くと。テレビで名前公表してね、年はなんぼや、役職は何々や、どこそこが実家や、こないアホなこと言うて、何かええことありますか。1人でも多く助かりますか。ええ加減にせえ、ちゅうんです、そんなバカな報道はね。関係者だけが知っとたらええことやないですか、そんなんは。

日本の政治家もそれに乗ってね、邦人の身元確認が最優先や、こないタワケたこと抜かすんがある。そういうんも必要なことですよ、大事な仕事ですよ。でもね、そんなことは黙ってしとけ、ちゅうんです。報道で言わなならんことは、他にもっとぎょうさんあるやろうかと。

「民主主義への挑戦」

とにかくぎょうさん人が死んでね、ほんまに気の毒です。戦争でね、兵隊同士が撃ち合うてお互いが死ぬのは、ある程度しょうがない面もある。してもええ、言うとなんやないですよ、ことわっときますけど。したらいかんのです、殺し合いは。そんな中でも今度みたいに、一般市民をね、無差別に大量虐殺するなんちゅうのは、絶対にしたらいかんことですわ。凶悪な犯罪です。

でもね、人が死ぬちゅうことはどういうことなのか、よう考えないかんことですよ。二

ニューヨークやワシントンで何千人も、何万人も人が死ぬと。こりゃたまげますわ、誰でも。そないなこと、今までに起きたためしがない。

でもね、アフリカどうですか。毎日ね、食うもんがのうて、毎日ですよ、1万人ずつ飢え死んでると。アフリカで毎日1万人死んでも、誰も驚かん。騒がんしニュースにならん。もう慣れっこになってしもうて、当たり前やと思うてるでしょ、世界中の人が。それなのに、アメリカで何万も死んだら、もう誰も彼も大騒ぎですわ。朝から晩までテレビはそのことばかりしよる。アメリカ人が死んだらニュースになって、アフリカ人がもっと大勢死んでもニュースにならん。

これ変じゃないですか。人の命を差別しとるやないですか。「今回のテロは、民主主義に対する重大な挑戦や」ちゅうて、どこの国の偉い人も、同じこと言う。民主主義の旗印は自由と平等です。それが侵されたと。じゃあね、アメリカ人には自由と平等があるって言いますけど、アフリカ人には自由も平等もないですよ、実際。これ、民主主義に決定的に反しとるやないですか。

「民主主義が侵された」言うて、ブッシュ大統領怒ってます。そら、やり口汚いですよ。いきなり旅客機ハイジャックしてね、関係ない乗客みーんな巻き添えにして自爆テロしよる。やる方は最初っから自分が死ぬ気やからね、たとえ戦闘機が撃墜しに来てても、どうっちゅうことない。「おう、やるんならやったれや。何の罪もない市民にミサイル撃ち込むんかい。さすが、アメリカちゅうのはむごいこと平気でしよるんじゃのお、撃てるもんなら早う撃ってみい」、こないな作戦でしょ。もし仮に失敗して、標的にぶち当たらんでも、何百人かは絶対確実に殺せる。その上、大統領には殺人鬼の汚名をなすりつけられると。ごっついすわ、こりゃ。人の命を命と思うとらん。

それでね、そういう、テロ仕掛けた連中の言い分はどうなっとるか。アメリカこそ民主主義を踏みにじっとるやないか、と、こういうことでしょ。一国独裁主義、差別主義、人権無視の国アメリカに天罰が下ったんやと。

実際ね、アフリカが何であれだけ飢えとんのか。これはまあ簡単に言うたらね、先進国がアフリカを食いモンにしとるからですよ。搾取しとるからです。うまい汁だけみーんな吸うてしもうてね、後は知らん顔、いっこも助けることない。いちおう形の上では援助してますけどね、ぜんぜん効果は上がってません。

グローバリゼーション、市場主義、自由主義経済の犠牲者ですよ、アフリカは。それから他の発展途上国もそうです。その、グローバリズムの先頭に立っとなのがアメリカでし

よ。アメリカが世界を悪うにしている面があるんです、貧しい国を食いモンにしてね。でも、アメリカ自体は、絶対にこないな反省はせん。何かあったら、ワシらの自由が侵された、言うて怒るだけです。他の国の自由には知らん顔してますよ。こんなこと言うたらアメリカ人もっと怒るでしょうけどね、本当のことなんです。事実です。真実言われて、それが気にいらんちゅうてハラ立てるのは、自分勝手です。自己中心的です。正真正銘のエゴイストですよ。「アンタな、悪いことしとんのやで」言われたらね、謙虚に反省せないかんです、人間は。でもアメリカは反省しません。

日本には、そんなふうになんとアメリカの誤り指摘できませんわ。ヨーロッパは時々言うこともある。まあ、不十分ですけど。言うたら同じ穴のムジナですからね。それでも言わんよりは、多少マシかもわからん。

日本は絶対に言えない。そもそも考えつかんでしょ、間違ってる、ということがね。それは何でか言うたら、さっきも言いましたけど、日本にプリンシプルがないからです。一切のプリンシプルがない。こんな国は、世界の中でも日本だけです。

どえらい事件

ええと、話を日本に移しますけど、いま、日本はホンマに大変なことになっています。ものすごく危険な状態ですよ。しかしね、その「危険だ」という認識が、はたして日本にあるんでしょうか？ この重大さを、皆さんがどこまで真剣に考えているか、正直なところ私には少々疑問なんですわ。

この間もね、北海道でどえらい事件が起こりました。もう皆さんひょっとしたら忘れてはるかも知れませんが。24歳でしたか、若い男が昼日中に人の家に入って行って、幼子を2人殺し、1人に重傷を負わせました。むごいもんです。ちょっと考えられへん。たいていの新聞では、金目当てで入ったちゅうことになってましたな。でもその中で、1紙、下着盗むために入ったという記事もあった。パンツですよ。皆さん、どう思われますか？

まあ、金目的言うのも、不自然言うたら不自然ですわな。そんな真っ昼間にね、人ん家に入ったかて、いくらとれます？ 誰が考えてもたかが知れてますわ。空き巣専門ならともかくね。ぜんぜんそんなふうになんと思われへんし。パンツ、ブラジャーが欲しかった、あ、なるほどという感じもしますわ。もちろんこれも異常ですけどね。

それにしても、何で小さな子どもを殺さないけませんねん。たとえ顔を見られたにしたって、証言能力なんかないんだしね。かわいそうでもの言われへん。

それからこっちは皆さんよく覚えてはると思いますけど、大阪の大教大付属の事件。あんな、8人も殺して、十何人も怪我負わして。どえらいことですわ。あの事件の後、インターネットで見ましたらね、ものすごいことがドワーツと書いてある。犯人をね、誹謗中傷することが書いてあるんです。そらもう本当にひどい。もちろんあの犯人悪いですよ。悪いけどね、この、インターネットの悪口もまたひどい。どないなっとんのかなと思いましたよ。差別的な言葉がいっぱいあるんです。

それから、大分でもありましたでしょ。それこそ本当にパンツ盗みに入った。これは15歳やったと思いますけどね。近所の、高校生の女の子を好きになった。そしてその子のパンツを盗みに入った。そしたらそれがバレそうやと。そしてナイフ持って、3人殺して3人に重症負わした。どえらいですな。それでまた、だあれも刑事責任が問われない。どうなっとんですかこれ。

アメリカではね、13歳の少年が教師1人をピストルで撃ち殺して、禁固28年の判決受けてます。1人殺して禁固28年。これがアメリカです。日本では3人殺して何の罪にもならん。刑事罰を受けん。

腹が立ったらすぐ殺す

とにかくね、いまのやつは腹が立ったらすぐ殺す。カッとなったらやってまうんです。そんでね、これが捕まったらすぐに自白するんですわ。すぐにカッとなってバツとやるくせに、きびしく言われるとあっちゅう間にシュンとなりよる。根性ないんです。

昔やったらね、昔も悪い奴ぎょうさんおりましたけど、根性ありましたわ。「何しとんやオマエ！」言うて叱りつけても、「何や！」言うてグッとこちらを睨みつけてね、少々のことではシュンとならんかった。いま全然違いますわ。「何じゃおのれは！」言うたら、すぐに泣きよる。トロくさいんです。

私の経験でもね、こんなんありました。子ども連れてね、公園に遊びに行ったんです。そこはアスレチックがあって、子ども喜ぶんですわ。その中にね、ワイヤーが張ってあって、こう、ターザンみたいにぶら下がってピューッと行けるやつがある。これおもしろい

んです。大勢子どもが並んで、ワイワイ言うて遊んでます。

うちの子もそこに並んどったんですがね、1人、小学校に入る前だと思いますけど、男の子でちっとも順番を代わらん奴がいる。はじからはじまでビューッと来ますとね、また反対側にビューッと行きよる。いつまでもそれを繰り返してんのです。他の子できへん。それがあんまり長いもんでね、私、「ボク、そろそろ代わりいや。みんな待ちよるで」って、優しく言うたんです。いきなり恐く言いませんよ、穏やかに、普通に言うたった。

そしたら、そのガキ、いやいやその子、そのお坊ちゃま、何て返事したと思います？
くるっと振り向いてね、「うるせえな、このツルテンピーカ」、と、こうですわ。私、お見かけの通り坊主でしてね、まあ、その子の言うこと当たってるんです。ツルテンピーカです。でもね、見ず知らずの、しかも大人にですよ、普通そんなこと言いますか？ わたし、こりゃいかんなあ、ちいっとしつけたろう思うてね、両手でその子の頭ガツと持ちましてね、グツと睨みつけて、「なんじゃオマエ！ もういっぺん言うてみい！」って、頭をグラグラッとさしたんです。手加減してますよ、言うときますけど。人間ね、頭を自由奪われると、一番恐いんです。手足やカラダ押さえつけられても、少しくらいどうってことありません。でもね、頭を自由を奪われて、ぐるぐる振り回されたりすると、ものすごい恐怖感じるんです。怪我さしたらいけませんからね、これは子どもに効果あります。いや、別に勧めてるんじゃないんですよ。

そしたらその子、「ヒッ、ヒッ」言うて、もう泣いてるんですわ。ホンマにトロくさいんです、ぜんぜん根性ない。だいたい大人に刃向かうような子はね、昔なら根性ありましたわ。ちょっとくらいやられたかてね、絶対に泣かんかった。

「アカンタレやなあこいつ」思うて、「泣かんでもええんで」って、許してやりましたわ。本当はどついてやらないイカンのですけどね、近ごろは親が何言うて来るやらわかりませんから、親が見とったら面倒やなァ思うて、「ああ、泣いたらあかん泣いたらあかん」言うて、今度は慰めてやらなあきませんわ。

児童虐待

ええと、まあね、そんなふう若いやつが異常な事件いっぱい起こしてます。それからね、児童虐待、これも大問題になってます。今年（2001年）になって半年、親に殺された子どもの数、なんぼやと思います？ 新聞載ったから覚えてはる方いてると思いますけど、

31人です。31人の子が、親に殺されとる。日本特有です、こんなこと。世界で日本にしか起こりません。

この間カナダでね、こんなことありました。日本人の若い女の人が、カナダ人との間に子どもを作った。でもね、相手の男が逃げてもうたんです。何でか知りませんけどね。そうしたら、その若い母親は、その子を殺してしまった。もうカナダ中大騒ぎですわ。「何ちゅうことするんや」言うてね。カナダの常識では、母親が子どもを殺すなんていうことは考えられへん。異常なことです。もう新聞のトップ記事です。そしてその衝撃がぜんぜん風化せん。日本ではね、虐待で子どもが死んでも、いまじゃだあれも驚きません。殴ったりとかね、風呂の水につけたりして殺したいような程度やったら、新聞の扱いも小さいもんです。よう読まな見過ごしてしまいますわ。

尊属殺人

「尊属殺人」いうのがありますね。「尊属」を辞書で引いたら、こないに書いてある。ちょっと読んでみましようか（岩波国語事典）。「親等の上で父母と同列か、それより目上かの血族」。反対語は「卑属」です。ごく簡単に言うたら親殺しです。この尊属殺人は、昔、普通の殺人より罪が重かった。尊属殺を犯した者は、無条件に死刑もしくは無期懲役だったんです。昔言うのは、昭和48年までです。昭和48年に、この尊属殺重罰規定がひっくり返った。親であるがゆえに、子であるがゆえに、その殺人が特別重く罰せられるというのは、憲法違反や言うんです。法の下では、親も子も対等、あるいは同等ということです。親も子もないんですわ。だれもが「基本的人権」のある「個人」なんです。あとでもうちょっと言おう思いますけど、こんなんで、どないして親の権威が守れるんですか？ いまの日本で、親に権威を感じている子どもなんて、めったいませんな。私出会うたことがない。

私、香川に住んでるんですけどね、香川大学の学生の親殺し事件いうのがありました。この学生ね、5年だか6年だか、留年してますねん。それでその親父さんが、ある時酒飲んで酔っぱらって、「何しとんやオマエ」って、パンパンと、どついたらしい。酒乱やったのかも知れませんがね。そしたら息子が腹立てて、夜、寝ている親父さんの頭をマサカリでぶち割ってしもうた。どえらいですね。

その息子が警察に捕まって裁判になって、判決がどうだったか。皆さんどう思います？
懲役8年ですわ。8年。親殺して8年。

同じ頃にね、奈良の月ヶ瀬村いうところで、女子中学生の殺人事件があったんです。男がね、ジープだかの車に乗って走っている時、中学生の女の子が歩いていた。車止めて、乗らんか言うて誘ったら、その子が厳しい目で睨んだ言うんですね。その目が、ごっつい蔑（さげす）みに満ちていた。そしたらその男カーッとになって、ポーン、はねてもうた。裁判になって、1審、2審と進んで、弁護士がね、犯人の男の生い立ちを詳しく述べて、情状酌量を願い出た。殺人の罪は重い。しかし、この犯人は、小さい頃から厳しい差別の中で生きてきた。本当、家なんてね、藪の中に建っとなです。ボロボロの、粗末な家ですわ。そういう差別的待遇の中で、この犯人の特異な性格が形成されてきた。そのことを斟酌して、どうぞ、減刑をお願いしますと言うたんです。でもね、結局、この犯人は無期懲役になりました。

親殺して懲役8年。昔なら即、死刑か無期懲役ですよ。一方で、近所の少女殺して無期懲役。これ、何が違うんですか。奪われた命に差があるんですか。「え？ 親を殺した。そうか、まあ世間に迷惑かけんでよかったわ。親ならなァ、ま、殺してもしょうないやろ」、こんなんですかね。無茶苦茶ですな。日本の司法、ちょっと無茶ですわ。私前からそう思うてましたけどね。

かわいそうやけん、親殺しといてやるちゅう奴が出てくる。これホンマにありましたね。岡山で、バットで母親殴り殺した少年。「ワシが殺人したら、お母さんかわいそうや、先に殺しといたるわ」言うて、殺してくれる。無茶苦茶やなァ。一体母親をどう思うてるのか、わかりませんわ。

母の愛

母親はね、子どもにとって「愛」そのものだったんです。戦争の時突撃してね、いよいよこれで死ぬいうときには、「天皇陛下万歳！」言うて死ねってね、兵隊はそう教育されました。でも、ほとんどは「オカアサーン！」、叫んで死んでいったって言いますね。母なるものは絶対だったんです。何よりも、誰よりも深い愛だった。

これは私の知り合いから聞いた話ですけどね、近所に小学校5年生の男の子がおったそうです。その子が、朝、学校に出かけていく時、お母さんが「ちゃん、行ってらっし

やい」言うて声をかけた。そしたらその子ね、何て返事したと思います？ 「うるせえな、オマエに言われんでもええんじゃ！」、こない言うたっちゅうんですね。小学5年生ですよ。私もうあきれて声も出ませんでしたわ。

私やったら田んぼの中に頭からボンと放り込んでね、「何ちゅうこと言うんや！ オマエのような子は学校行かんでもええ！ そこで1日草取りしとれ！」言うて、草取りさせますわ。本当、そないな子は学校行かんでもええんです。勉強なんかしたって何にもならん。悪うなるだけです。

まあ、お母さんも悪いんですよ。こんなん言うたら何ですけど。この中にもおいでかも知れませんがね、気い悪くせんといってくださいよ、そのお母さん、看護婦さんなんですわ。看護婦さんはどうしてもね、仕事柄、「ハイ、腕まくって！ ハイ、ここに乗せて！ ハイ、注射！ ハイ、薬！ ハイ、ちゃんとして！」言うて、指示ばかりするんです。自分の子どもに対してもあれせえこれせえ言うてね、年がら年中どうしても指示的になる。子どもは息が詰まるんですわ。でもね、だからと言って、母親に対して「うるせえな」はいけませんよ。これは悪い。

いまね、母の愛が問われてるんです。本当に、母親の愛が失われてきている。昔ね、浅間山荘事件言うのがあったでしょ。あのとき、立て籠もったゲリラにね、母親が説得に行った。「 ちゃん、出てきてちょうだい」言うてね。出てきませんでしたけどね、結局。でも、母親は、身を挺して、切々と訴えた。いま同じことできる母親いますか？ いたとしても、お母さんが説得に行ってお覧なさい、それこそ「うるせえな、オマエに言われんでもええんじゃ」言うてね、もっと悪くなるかも知れない。ワヤですわ。福岡のバスジャック事件で、犯人の説得に母親が行くかいうことになった時、このお母さん、「私が言うてもダメです、自信ない」言うてるでしょ。こんなんです、いまは。このお母さんが特別に情けないわけでもない。

母が子に愛を与えない、子が母を信じない、これはね、同じ現象の裏表なんです。私はね、多くの女性が社会に出て、いろいろな仕事で活躍するようになったのはいいことだと思うてます。応援してます。でもね、その結果として、母親が家庭をかえりみなくなったことは、ものすごい問題だと考えてます。愛が失われてしまったんです。あるのは、「自己愛」だけなんです。エゴイズムです。

逆らう自由

少し前ですけどね、日本の文部省が「高校生の規範意識」という、アンケート調査の結果を公表したんです。これホンマに、びっくりするような言うか、まあ愕然とするような内容でしてね、おもしろい言うたら言えんこともないんですが、ものすごい象徴的なので、私ときどき引用するんです。この中にね、「親や教師に反抗することは、本人の自由かどうか」という質問があるんです。そしたら、日本の高校生は、8割が、そりゃ本人の自由や答えとるんです。8割ですよ。驚きますねえ。アメリカはね、どうか言うたら、1割5分ですわ。10人おったら、「親や先公になんぞ逆らってもええやないか」という奴は2人もおらん。親や先生の言うことは聞かないかと、大多数の若者が思うてるわけです。日本と正反対でしょ。健全ですよ、アメリカの若者は。

日本じゃね、若い奴がだあれも目上の者の言うこと聞かへんのです。権威がないんですわ。私ら子どもの頃やったらね、「そんな悪いことしよったら、お巡りさんに連れていんでもらうで！」言うて、叱られたもんですわ。それでちゃんと聞くこと聞いたんです。いまはどうですか。「お巡りさんに言うで！」言うてもね、「何じゃ、このマッポ」、マッポ言うんですね、この間テレビでやったりしました、「マッポ野郎、うるせえな。やるんかコラ」と、こうですわ。若者がですよ。ひとつも怖いことないんです。どないもありませんわ。

そしてね、この間(2001年7月31日)のことですけど、日本青少年研究所いうところが、日本の中高生の意識調査してます。これにね、「生きる目的は何か」という質問があるんです。そしたら、日本の若いのは何て答えたか。私もう、それ読んでコケそうになりましたけどね、「楽しんで生きたい」という奴が6割おるんですわ。ラクして楽しみたい、それが人生の目標やと。本当に「ちょっと待てやコラ」という感じですよ。

アメリカはどう言うてるか。アメリカちょっと出来すぎでね、ホンマかなこれ、というところもあるんですが、まあそれはおいといても、「高い社会的地位や名誉を得ること」と答えたのが4割です。だいたい2人に1人はそう答えてる。同じ答えでね、日本ではどれだけいるか、皆さんどう思われます？ 私ここでまたコケそうになりましたけど、1.8%ですよ。100人おったら、2人おらん。地位も名誉もね、金もいらんちゅうんです。やる気がぜんぜんない。私、こらダメやな、日本つぶれるわと。もう前々からそない思うてましたけどね。こらもう決定的や。将来はない、未来もない。どないかして頑張ったろうちゅう若い奴がおれへんのです。

ガリガリ頑張ってるね、金なんか稼ぎたくないんです。お金は誰かがくれると。いま、おじいちゃんおばあちゃんがお金持ちですわ。けっこう年金もろうてね、孫にぎょうさんお小遣いやれる。子どもぜんぜん不自由しません。いっつも苦労がない。

ハングリー精神がなくなってしまった。私、囲碁将棋するんですけどね、囲碁には本因坊、将棋には名人言うて、有名なタイトルがありますわ。この、囲碁の方でね、いま日本人がタイトル取れんです。みんな韓国や台湾の人ばかりです。タイトルができてから長いことね、みんな日本人が独占しとった。外国人はぜんぜんかなわなかったんです。そして、日本の強い人が、外国人をどんどん教育した。向こうの人も必死になって稽古した。韓国なんてすごいですよ、小学生から必死になって、強うなろう思うて練習してる。特訓する場所が国中にぎょうさんあるんです。そういう人たちが、日本にやってきて勝負する。するとね、いまじゃもうぜんぜんかなわないんです。みーんなやられてまう。これやっぱりね、ハングリー精神がのうなってるんやと思いますね。

メイド・イン・チャイナ

夢もチボーもないんです。昔ね、おったでしょ、風呂敷ここに結わえてね、「夢もチボーもない」言うた、ええと、東京凡太。あれですわ。いま日本人が皆そないになっとる。さっきの調査ですけどね、21世紀は素晴らしい時代になると思うか、いう質問もあるんです。日本最低ですわ。外国はみんなね、「素晴らしいくなる」て答えるのが半分か、それ以上いるんです。日本ぜんぜんいません。「どうせダメや」とか言うてるだけ。これは、頑張る気がない、やる気がないちゅうことでもありますね。そのくせ、ラクして生きたい、楽しんで生活したい、とかだけは言うんです。これね、自分勝手ちゅうことですよ。もう喰われますよ、アメリカ、ヨーロッパ、中国に。中国すごいですね、私テレビで見てびっくりしました。NHKの「クローズアップ現代」いう番組あるんですけど、メガネとね、電化製品。これ作る工場を紹介しとったんですけど、すごいですねえ。若い女の子がね、テレビや電子レンジ組み立てるんですけど、もう手の動きがね、速い言うもんやありませんわ。ピャッピャッピャッピャッとね、コードとか手でやって、すごいんです。真剣な顔でね。

それで電子レンジ五千円ですわ。どないして日本が太刀打ちできるんです？ メガネとかもね、そうなってる。安うてね、品質管理はもう完璧で、ええもんがどんどん外国に輸

出される。日本にも入ってくる。

給料安いんですよ。工場とかの労働者ね、ブルーカラー。これが外国は安い。日本は破格に高いんです。外国と比べものにならん。日本はね、経営者と労働者の賃金格差が、まあ、多少はありますけど、そんなに大きくない。社長、五千万。専務、三千万。部長、千五百万で課長一千万。そしてヒラが五、六百万と。そんなところですか。これが日本のいいところでもあったんですけどね。

これ、アメリカぜんぜん違いますよ。社長、二十億。そんでね、ヒラの労働者二、三百万でしょ。中国なんてもっとすごい。日本のサラリーマンの月収に、年収が追いつきませんわ。

とにかく、外国企業のトップは、収入がケタ外れです。だからまあ、ハングリー精神も生まれるんですかねえ。そういう外国企業が、いまドッと日本に入ってきてるでしょ。日本もそのうち同じになりますわ。日産にゴーンさんが来てね、空前の利益を記録した。ドバーッとリストラしてね。神奈川に、座間でしたか、大きな日産の工場があった。まあ日産の歴史、象徴みたいなもんですわ。ここをバサッと切りましたね。日本人にはちょっと出来ませんよ。ようせんでしょ、「そないなことするか」言うてね。そしてゴーンさんはすごい給料取る。

メリルリンチが日本に来てね、山一証券買った。それから長銀、日債銀がつぶれて、海外企業が入りましたね。そういうときフィクサーがいる。フィクサー言うたら、まあ、仲介の労をとる人ですね。ネゴシエーター。その謝礼がなんぼやと思います？ 私もうびっくりしてしもうた。ある人物は50億もろうたと言う。500万ちゃうんかと思いましたね。500万なら、ほう、そうやなあと思える。50億ちゅうような数字、いったいどっから出てくるんですか。

即死産業

産業が空洞化してますね、もうだいぶ前から。私の住んでる近所はね、昔から手袋の町やったんです。こない言うたら気の毒ですけど、もうあきませんわ。手袋で食べません。私の知り合いの人はね、「即死状態」や言うてる。原料と技術持ってね、中国や東南アジアにドッドッと進出して、現地の安い労働力で製品作って、日本が輸入すると。しかし向こうの縫製や編みの技術もようになりましてね、自前でやれるようになった。撤退せざるを

得んところがどんどん出てきてる。

やめられる人はまだええということなんです。やめとうてもやめられん。赤字になることがわかっていても、続けなければならんちゅうんです。自転車操業ですわ。国道沿いにね、いっぱい工場あったんですけど、もう閑散としてきてます。ゴースタウンみたいなもんですわ。飲み屋や食堂、レストランもね、どんどんつぶれる。経営者コロコロ代わるんですけど、1年もたんでつぶれていく。

ネギやシイタケの問題もありましたでしょ。ネギやシイタケくらいどうにかしたってね、小手先ですわ。日本の農業にこれっぽっちも影響ない。だいたいね、農水省のOBが、日本で開発したええタネ持ってね、中国へ行って指導して作らせたんです。日本のタネええですわ、よう発芽する。ええもんができる。畑はこないにせえ、水はこうやれ、肥料は、農薬はこうや、取り入れはいつせえ言うてね、手取り足取り指導した。そして朝穫って、飛行機でドーッと持ってきて、もう次の日には店に並びます。国内産といっかも変わらへん。そして安い、新鮮、ええもんです。それを買わん言い出した。もともと、買うたるけん作りいや、言うて日本人が作らしたもんです。それができてみたら買わんと。そら誰かて怒りますわ。そして、そないなもんにセーフガード発動したってね、日本の農業には焼け石に水です。どないもならん。

私ね、もう何年も前から自給農業のこと考えていて、自分で農地買って百姓しよんです。米も作るう思うてね、何人が近所の人か口聞いてくれて、ほな田んぼ貸したろうか言うてくれはる人がいる。この前、間に入ってきてる人が訪ねてきて、本当にやるか、聞くんです。貸してくれそうな人おるで、と。ただ、役場の人かホンマにやる気あるんかどうか確認したい言うとするんです。農地の貸与にも許可がいるんでしょねえ。そんで、ホンマに農業で生計立てる気があるんなら貸してもええと。

私それ聞いて、何言いよるんじゃ、おかしいでそれ、と思うたんです。いま、私の住んでる町内でね、完全に農業だけで生計立ててられる人が、一体何人おるんやと。そらいてはりますよ、専業農家の人。それでも、朝まだ暗いうちから起きてね、夏場やったら4時から5時ですわ、暑うなったらえらいけんね、すぐ畑に出て8時頃まで仕事する。そして朝飯食うてね、ちょっと休んでまた昼まで仕事。そして2, 3時間昼寝して休憩して、また夕方から暗うなるまでしてはりますわ。えらいですよこれは。もうおじいちゃんおばあちゃんがね、炎天下で命けずって仕事してはる。

そしていくら儲かるんです？ 役場の職員さんほど稼げませんわ。稼いだ分も機械やら

肥料やら農薬やらで出ていってしまっただけ、合いませんよ全然。また、そういうもの使わなければ仕事にならんけんね。それを、クーラーの効いた部屋で机に座って仕事してる人がね、「生計立つんか」言うてもね、何でもともな話ができますか。「それじゃアンタな、アンタと同じ金額稼げる農業プランを作って、見せてくれよ。そやったら話しようやないか」と、こうなりますよ。画然と賃金格差があるのにね、そこを見ないで、「生計立つんか、立つんならやったらええで」と言うのはね、ちょっと間違ごうてると思いますよ。いま、日本中が、農業つぶそうつぶそう、いう方向に動いている。もうずっと前からですけどね。農業は国の基本ですよ。人間の生きる基本なんです。それがつぶされようとしている。

構造改革で日本はつぶれる

結局ね、自分勝手なんです、誰もが。みんな、自分のことしか考えない。国、国家、なんてこと、だあれも考えていない。それがいまの日本です。

小泉首相が、「構造改革なくして、景気回復なし」言うてはるでしょ。ええこと言わはりますわ。構造改革したら、いかにも景気が回復しそうに聞こえる。でも、なりません。構造改革したら、日本はもうおしまいですわ。私は予言しときます。「中塚あんなこと言うて」と思いはる人もおいででしょうが、私の言うた通りになりますよ。そらね、一時的に、ちょっとは、ようなるかも知れませんが、でも、ホンマにちょっとですわ。そのあとダラーッと悪くなります。50年60年たったらね、ひょっとしてまた回復するかも知れへん。でも、10年、20年、30年先を考えたら、これはもう悪くなる一方ですよ。

悪いもの出そう言うてね、早よ膿出さな言うて、首ちょん切ってもうたら、もう接げませんわ。即死です。改革断行言うて、大手術したらね、ドバーッと血が流れて出血性ショックで死ぬようなもんです。どえらいことになりますよ。

アメリカのブッシュ大統領が、早う構造改革せえ言うてしょ、援助するで、と。早うに立ち直ってくれ、そのためには協力しまっせ言わはるわけです。私これ聞いてね、あ、こりゃますます危ないわ、思いました。アメリカはね、手ぐすね引いて待ってんです。日本がつぶれるのを。早よ構造改革せえ言うてね、手助けもしてホンマにやらせて、身動きとれんようになったら、ドッと乗り込んできて、日本を自分とこのものにしようという作戦ですわ。

「トロイの木馬」いう話があったでしょ。これ、調べてみたら紀元前 1,200 年頃、だか

らいまから 3,000 年以上前のことです。古代ギリシャとトロイアという都市が戦争したんですけどね、戦争が十年続いて、とうとうトロイアが負けた。その勝利のもとになったのが、大きな木馬作って、その中に兵隊が隠れたという作戦です。そして「和睦や」言うてね、そのためのプレゼントや言うて、その木馬を贈ったんです。作戦を知らんトロイア軍の連中が、木馬をお城の中に引き入れて、その晩は宴会ですわ。そしてみんながグーグー寝てもうた夜中に、木馬の腹の中からギリシャの兵隊がドッと出てきて皆殺しにしてしもうた。それでギリシャが勝ったちゅうわけです。

ギリシャがアメリカ、トロイアが日本ですわ。私こんなふうと思うとたらね、同じことを書いてる新聞ありました。

構造改革して早う立ち直ってくれ、アンタ友だちや、仲間や言うてね、何でも言うてや、資金貸したるわ、知恵も出すで、ちゅうわけで、アメリカが日本に構造改革させる。また一緒に繁栄しようやないか言うんです。日本は、そうか、ええこと言うてくれはる思うてアメリカの言う通りにする。まだ完全にはしてませんが、する言うてます。そして日本がドバツと即死状態になったら、サーッとアメリカが入ってきて、自分らのもんにしてしまうんです。これがアメリカの作戦ですよ。

安うに買い叩かれまっせ。日本が、売り手市場から買い手市場に移るのを、世界中が虎視眈々と狙っとんです。ダイエー危ないです。マイカルも危ないです。世界の流通業界は、日本の小売業が「買ってくれ」いう声上げるのを待ってますわ。千葉にカルフルできたでしょ。こうやって日本に足場作ってね、だんだん陣地取りされてますわ。

日本再占領

アメリカの日本占領政策のね、総仕上げですよ。それをいましよる。50 年以上かけてね、周到に進めてきたんです。最初軍事的に叩いてね、その次は政治的に、最後は経済的に占領して、とうとう日本はアメリカの属国にされるんちがいますか。現にね、いま、ほとんどの日本人は危機感も、価値観も、覇気も何もかも失って、あっちにフラフラ、こっちにフラフラしとります。アメリカの思うつぼですわ。

アメリカはね、人間をどうしたら骨抜きにできるか、ようわかっとったんです。精神的なバックボーン、背骨ですね、これを失わせるにはどうするか、それには、信仰を取り上げることです。信じるものを取り上げる、これが決定的です。アメリカは日本を材料にし

てそれを実験して、それでものの見事に成功した。

人間は、2本の足で立っとなです。精神的な意味ですよ。片方はね、自分です。「自分」「おのれ」「我」というものが、片方にある。それでね、もう片方は、信じるものです。信仰の対象、神や仏です。この2本があってはじめて、人間は安定して立っていられるんですよ。これは、どんな人でもそうなんです。

ところがね、日本人には、その「信じるもの」という片足がないんです。信じるものは自分しかない。神や仏はもちろん、旦那も嫁はんも、親も子も、結局は信じられないんです。自分だけで立っていようとする。これはね、片足で、自分の頭の上に立つようなもんですわ。もともとできっこないのに、無理にそうしようとするから、グラグラする。倒れそうで、恐くて仕方ない。何かにつかまりたいんやけど、つかむものがないから、自分で自分にしがみつく。執着する。こういうのを自縄自縛と言うんですな。ますます身動きがとれなくなっているのに、自分でそのことがわからん。

この2本の足はね、別のたとえをすれば、車の両輪ですわ。二つそろっていはじめて、まっすぐ、正しい方向に進んでいける。片方がとれたらどうなるか。同じところをぐるぐる回るしかありません。自分では一生懸命前に進みよるつもりでも、実は同じところをグルグルグルグル回っているだけなんです。これは、古代中国の哲学者、老子が同じことを言うてますわ。まっすぐ進みよるつもりで、実は曲がっている。明るいところを歩きよるつもりで、暗いところを行っている、とね。でも、曲がっている人から見れば、まっすぐな方が曲がって見えるんです。しかも自分でそのことがわからん。おのれが曲がっとなのに、まっすぐな道を行っている人を「おい、曲がっとなで！」と非難したりする。難儀なもんです。

世界中で、この片足、片輪が取れとなのは、日本人だけですわ。信じるもんが、なあんもない。頼れるのはおのれだけや思うとる。それが一番当てにならんちゅうことがわからない。たびたびアメリカ引き合いに出しますけどね、わかりやすいけんそうするんですが、アメリカの十代の若者は、9割以上が「神の存在を信じる」と答えてますよ。これは、アメリカのマスコミが行った、ちゃんとしたアンケート調査の結果です。合理主義第一、科学主義第一の国アメリカの若者が「神は存在する」と言う。1人や2人じゃありません。十人いればたいてい十人が、同じように答えるんです。日本人にはこれが理解できない。でもね、アメリカ人から見たら、日本こそが異常なんです。「神を信じないで、どうして生きていられるのか」と、アメリカ人はみんな思うてますよ。私はこの耳で聞きました。

大統領の就任式をテレビで見はった人もいるでしょう。初代ワシントンから受け継がれてきた、由緒正しい聖書の上に手を置いてですね、「神に誓って、大統領の職務を誠実に遂行することを誓います」言うんです。神に誓うんですよ。そして、国民もみんな、この宣誓を信頼する。大統領は常に、アメリカ人の誇り、英雄です。神の権威を背負っているからです。

日本でね、国会議事堂の会議場に仏壇や神棚を祀って、総理大臣が「神仏に誓って職責をまっとうします」なんて言いよったらどうなりますか。それこそ天地がひっくり返るほどの大騒ぎ、暴動やテロが起こるかも知れませんわ。靖国神社の参拝問題だけで、どれくらいのことだったでしょ。信仰や宗教っちゅうことが、誰にも何にもわかっとりゃせんのです。政治的なレベルだけで、ガーガー騒ぎよる。信仰を伴わない宗教なんて、宗教じゃないんです。その本質が、完全にすっとんどる。

ニューヨークやワシントンが攻撃されて、大統領がテレビ演説する。そうすると、締めくくりのことばはいつでも、「アメリカに神のご加護を」やったでしょ。演説の中でも、聖書のことばを引用しとりました。

アメリカ以外にもね、たとえばペルーの日本大使館占拠事件ちゅうのがあったじゃないですか。あのとき、政府側とテロリストグループとの仲介に当たったのが、カトリック教会のシプリア二大司教ですよ。犯人たちも、この司教には絶対に手を出さんかった。当たり前以前のことなんです。そして、「われわれにも神のご加護を」言うて祈ってもらった。司教もその望みをかなえてあげはる。信仰と、権威があったんです。

日本で立て籠もり事件が起きて、坊さんや神主さんが説得に当たったことありますか？ そんなことしてもね、「何や、このクソ坊主、何しに来たんや」言うてね、鼻で笑っておしまいちゃいますか？ 宗教の権威なんぞ、日本にはこれぼっちもない。ひどいもんですわ。

日本仏教

日本にもね、ちゃんと宗教はありました。千五百年に渡って、日本人の精神的バックボーンになってきたのは、仏教です。私の住んでる香川は、弘法大師空海、お大師さんのお生まれにならはったところですよ。お大師さんが活躍された平安時代は、日本が本当に安定した時代でした。平安以前、古墳時代や奈良時代からそうやったんやろうと思いますね。

でも平安の終わりに、源平合戦がありましてね、武士の世の中に移って、不安定な、下剋上の、弱肉強食の時代になった。鎌倉時代です。平安時代の仏教は、世のため、人のために信仰がある、という風潮が強かったんですが、鎌倉の騒然とした世の中になって、大衆が皆、おのれだけが救われるために信仰するという、きわめて自己中心的な仏教に変化してきました。鎌倉仏教は自己中心の仏教ですよ。別に悪口を言うんやなくて、事実を言うてるんです。

日本の仏教の源泉は鎌倉時代にある、こう言う仏教学者もおりますが、間違いです。日本仏教はすでに、平安時代に完成しておったんです。鎌倉仏教は、自己中心化した大衆の要求に合わせて、形態を単純化させたものなんです。念仏唱えとったらええ、お題目唱えとったらええ、座禅組んで座とったらええ、拳げ句の果てには、心の中で「仏さん」いうて思とったらええ、そしたら極楽に往生できる言うて教えたんです。楽なもんやで、こんなんでええんじゃ、できん奴は無理せんでええ言うてね。いやいや、信心してはる方がおいでだったら気分悪うするかも知れませんがね。私、悪口言おう思うてるわけじゃないんですよ。さっきも言いましたけどね。

さて、それで、武士の世の中がずうっと続いて、江戸時代になった。そのちょっと前からキリスト教が日本に入ってきましたな。ところがキリスト教が広まると日本が植民地にされる言うんで、キリシタンはご禁制になった。そして、宗門人別帳とか、檀家制度作ってね、誰も彼も必ずどこかのお寺に登録されることになった。坊主、何にもせんでええんです。勝手にお布施が集まってきますねん。葬式仏教ですな。仏教が墮落しましたわ、このおかげで。信仰の対象、聖なるものが、政治に利用されたんです。

もうちょっと話しますとね、明治時代になって、廃仏毀釈というのがありました。お寺はお取りつぶしです。天皇を万世一系の現人神として、国家神道で日本をまとめるいうことになりましたからね、仏教つぶされたんです。私とこの近所にも、お取りつぶしに遭うた真言宗のお寺ありますよ。こんなん言うたら何やけど、ボロボロですわ。私行ってお掃除させてもろうてます。

明治・大正・昭和と、国家神道、それから儒教の教えが取り入れられましたね。ご年輩の方は「教育勅語」覚えてはると思います。そして終戦になって、一切の宗教・思想は軍国主義につながったものやと言われて、きれいさっぱり捨てられました。

民主主義

戦後の日本には、宗教・思想、一切ないんです。たったひとつだけあるのが、皆さんよくご存じの「民主主義」です。この民主主義がね、日本を悪うにしたんです。こう言いますとね、たいていの人は「何言うとんや」言うて、鼻で笑いますわ。民主主義悪うに言う人がどこにおるんや、オマエだけやないか、そないなこと言うてるのは、と、こうです。この間ね、ある学会に行って、こういう私の考えを公表したんです。もちろん、きちんと科学的、論理的に言うたんですよ。そしたら、どこぞの大学の若い奴が質問に立ちましてね、せせら笑って言いよんですわ。「何言うとんですかアナタは。へへへっ」ちゅうような調子でね。頭から馬鹿にしとんです。こいつホンマにどついたらろうか思いましたけどね、まあ、やりませんでした。昔なら、「オマエ、さっきは何言うてくれたんや」と、影でそっと詰め寄ったんですがね。いやいや、今はそないなことしません。

日本にはね、民主主義しかないんです。他の宗教、思想が一切否定されている。世界の国にも、民主主義のところいっぱいありますよ。でもね、それが、信仰と両輪になっとるんですわ。だから、まだマシなんです。どうにか回っとる。日本だけです、片輪しかないのは。おかげで暴走してますわ。どこにいくんやら、予測がつかん。

自由と平等

「民主主義」いうてね、よく使われる言葉ですけど、改まって、何のことですかそれ、と聞かれたら、ええと、言うてよう答えん人も、中にはおいでじゃないですか？ たまにはちょっとムズカシイこと言いますとね、民主主義ちゅうのは「デモクラシー」とも言いますわ。辞書引きますとね、こう書いてある。デモクラシーは、「デモス」と「クラティア」がくっついてできた言葉やと。「デモス」いうのは民衆ちゅうことで、「クラティア」は権力ですわ。つまり、民衆が自ら権力を行使する制度が、デモクラシー、民主主義やちゅうんです。

それでね、民主主義で大切にされるのは、自由と平等や、とも書いてある。自由と平等、ええですね。この二つが嫌いな人は、まずおれへん。でも、民主主義の自由と平等ちゅうのはね、だれでも好きなことを、好きなようにする権利があるちゅうことですわ。してもええ人と、したらいかん人いうのはないんです。そういう差別は、民主主義の原理原則に反する。親はええけど子はイカン、先生はええけど生徒はイカンちゅうのは、原則、

ないんです。誰でも同等対等に、好きなようにしたらええんです。それが民主主義なんですわ。

だからね、大人の言うことを子どもが聞くか聞かんかは、子どもの自由なんです。好きにしたらええんです。言うこと聞いた方がトクするんやったら聞けばええし、ソンになるんやったら無視したらええ。それから、指示や命令する人のことが好きやったら聞けばええし、嫌いな奴の言うことを無理して聞かんならん義務はありません。無視しようが反抗しようが、その子の自由ですわ。「楽しい人生を送る」という人生の目標にプラスになることだけ聞いといたらええんです。

これね、どないして子どもが教育できるんですか？ どないしてしつけられるんですか？ いろんな問題だって、解決しようがありませんわ。「言うこと聞け！」言うてもね、「誰が聞くかアホ！」言い返されたらおしまいです。それ以上もの言われへん。

罪と罰

こうなったらね、人を規制できるものは罰則しかないんです。規則・規範に反したら、徹底して罰するしかない。有名なのはシンガポールですけどね。シンガポールと同じように、道にツバ吐いたら罰金なんぼ、たばこ捨てたら罰金なんぼ、これを徹底してやる。しかも罰金を法外に高くするんです。立ちションベン百万円、不法投棄なんぞしよったら一千万円ですわ。そうやって守らせて、街をきれいに保って、治安も維持する。もうこれしかないんです。日本にもいるでしょうね、厳しい罰が。もう他の方法では抑えられへん。

本当はね、罰則が増えれば増えるほど、法律が増えれば増えるほど、人の心は荒れていくんです。そんなもの、なければない方がええ。でもね、いまそれをなくしたらどうなりますか。もう日本は無法地帯ですよ。毎日ね、凶悪な事件がどれだけ起きているか。もうみんな不感症になってもうて、残虐なことが起きてもいっこも驚かん。起きた日とその次の日くらいはちょっと騒ぎますが、すぐに忘れる。新しい事件が起きますからね、そっちに気が取られてますよ、みんなが。

初めて少年の親殺しが世間で有名になった時ね、これは20年くらい前や思いますけど、東京で金属バット殺人事件というのがあったでしょ。エリートの息子がね、予備校生で、夜寝ている父親の頭をバットでぶち割って殺した。このとき、世の中がどんだけ震撼とさせられたか。この話題は、数年は風化しませんでしたよ。ものすごく衝撃的な事件やった。

いまどうですか。親殺しなんて珍しくも何ともない。ニュースバリューがない。「よかったなあ、殺されたのが親で。他人に迷惑かからんでよかったわ」という感じでしょ。

学校でね、教えとるんですよ。人には優しくしましょう、親切にしましょう、仲良くしましょう、暴力はいけません、差別はいけません、言うてね。道徳の授業しとる。朝の会や帰りの会でも先生が話しよる。朝礼でも、校長先生が話しよりますわ。父の日や母の日にはね、授業参観があって、子どもが親にプレゼント作って、「いつもありがとう」とか言うて渡したりする。そないなことの効果、あがってますか？ いっつもあがってません。人権教育すればするほど、人権侵害事件が起きる。いじめ、学級崩壊、ひとつも減りません。増える一方です。

昔は、「日本は水と安全がタダや」と言うてね、外国がみんなうらやましがった。今どうです？ 外国人みんな、「日本人恐ろしいなあ、何しよるかわかれへん」と、怖がってますわ。もう犯罪天国です。警察の検挙率 30%台ですもん。3件に1件しか、犯人捕まりよらん。これで、日本に銃があつたらすごいですよ。アメリカの比じゃあらへん。年がら年中、そこらで撃ち合いですわ。流れ弾がピュンピュンとんてくる。危のうて外歩かれへん。

ものすごい強烈な罰喰らわす以外、当面は仕方ありませんわ。あらゆる殺人は、理由・程度の如何を問わず、即刻死刑。逮捕即裁判・即日判決・即日執行です。犯人の親が存命中だったら、気の毒やけどその親にも死んでいただく。殺人犯を育てた責任があります。子どもが生まれとつたら、その子まで死刑にするかどうか。そこまでしないんやとしたら、家庭から、社会から完全隔離して専門職の人が育てる、いうようにしなければならんでしょね。これでたぶん、殺人事件グッと減りますよ。その他の犯罪も、刑を格段に重くして、無期懲役なんぞなし。禁固百年・二百年と加算していく。絶対に出さん。刑務所で一生を終えていただく。

こんなんしたら、日本もっと悪うなるでしょうね。ごっつい殺伐、寒々とした世の中になる。でも、他に道がありますか？ ないんです、残念ながら。必要悪ですわ。

他者の痛み

罰せられるから、悪いことやめとこう、これ、いかんです、本当は。やめとかな損するわ言うてね、自分のことしか考えてへん。そんなんじゃダメなんですわ。こんなことしよつたら、人が悲しむ、社会が迷惑する言うてね、とてもじゃない、こんなことようせん

わ言うのがね、本当です。人のこと思いやったらできへんと。

小学校にバツと押し入って包丁で刺し殺すなんてね。どんだけ恐いか、痛いか。助かった子もガタガタ震えて、ようもの言わん。一生心に傷が残りますわな、どないしても。飯がノドを通らん、夜は怖い夢見てうなされる。親もたまりませんわ。本当に胸を引き裂かれる思いでしょ。そないな目に遭わせるなんてね、人の悲しみや苦しみに思いが行ったら、できませんわ、とてもじゃないけど。

でもね、いま、そういう他者の痛みがわからん人間がいくらでもおるんです。毎日毎日、たまげるような事件が起きる。何でそないになるか。民主主義がね、そもそも、自分のことだけ考えなアカンで、いう制度なんですわ。日本はもうそろそろ 60 年間くらい、この制度、ものの考え方しかないまま来たんやから、いまのようなのは、まあ必然言うたら必然の結果なんです。でも、このことがなかなかお分かりいただけない。

それからね、民主主義は、他人のことを許しませんわ。許した方がトクするんやったら許すけれど、ソンする思うたら絶対に許さん。無条件に許さないかん理由は、民主主義のどこをつついても出てこんのです。

許すのはね、ホンマ、難しいんです。許さないかん、どんだけアタマでこう思うてもね、こころから許されへん。勝手にムカムカ腹が立ってくるんです。これはねエ、もう、どうしても抑えられへん。イスラエル、パレスチナ、すごいですね。あの対立はね、二千年のうらみつらみですよ。それで、自爆テロとか、銃の撃ち合いとか、ミサイル攻撃とかやってる。二千年の怨念はね、話し合いくらいじゃどないもなりません。民主主義の考え方じゃ、絶対に克服できませんわ。それを超えたもの、超えた原理がいる。

他者の悲しみ、痛み、こういうものがこころの底からわかったら、許さないかんです。また許せるのが人間なんです。他者の気持ちがわかって、他者の痛みを、悲しみを我がもののできるのが、あらゆる人が宿した、人間の間人たるゆえんなんですわ。言うたら、それは仏性なんです。人は誰でも、仏を宿しとんです。でも、その仏性がみんな消えてしもうて、見えなくなっている。輝きを失っとなです。

人権

いま、何かちゅうと人権人権言うてね、うるさいちゅうんですわ、私に言わしたらね。そないに騒ぐ奴ほど、人の人権踏みにじって平気なツラしとる。まあ、みんながみんな

なそうとは言いませんが、たいていはそうですわ。ぜんぜんわかったらん。人権とは何か、ということがね。

いま言う人権はね、単なる自己主張ですよ。ワシの好きなようにさせえ、好きなこと言わせえ、ワシにも人権があるやろうが、と、こうです。憲法違反するんか、何の権利があってワシの人権侵害するんじゃ、っちゅうんですね。だいたいこう言う奴に限って、人の人権侵害しても気がつかん。または、わかっても平気ですわ。「だから何じゃ！」言うて開き直るんです。

いま、学校がこうでしょ。小学校ではさすがに少ないか知りませんが、中学や高校行ったら、ひどいもんですわ。掃除？ 何でワシが掃除するんや、先公オマエがしたらええやないか。オーイみんな、こん中で掃除したい奴おるか？ 手エ上げてみい。ほら見ろおらんやないか。学校は民主主義教えるところやろう、民主主義言うたら多数決や、掃除したい言う奴1人もおらんのに、何でそれを押しつけるんや、わかったか！ オマエがせえ。と、まあ、こんなんです。

こんな抑えよう思うたらね、もう人権言うてられません。柔道四段の体育の先生がね、悪い奴を教官室に呼ぶんですわ。部屋にある固いもん、机とか椅子とかね、あらかじめどかしとくんです。生徒が来たら、ニコニコしてね、「よう来たな」言うて迎える。生徒気持ち悪うていてられませんわ、どないなっとんのかな思うてね。そして、「オマエな、何であんなことするんや、いかんのと違うんか」言うて、猫なで声で近づいて行って肩に手をかけて、次の瞬間ドーン！ 投げ飛ばすんです。生徒目エ白黒させて、息もできん。抱き起こして「気いつけて帰りや」言うて優しく送り出してあげる。次の日、朝礼や何かでダラダラしとつても、その先生が近づいていったらピツとなりますわ。「何されるやわからん」言うてね。

でもねえ、ホンマにこんなやつたら、それこそ人権問題になって大騒ぎちゅうことが起きますよって、気いつけてくださいよ。いやいや、「気いつけてせえ」、言うんやなくてね、せんといてくださいよ。勤めてるわけやないんですから、私。

ちょっと話それましたけど、人権言う時にはね、「こんなことしたら、あなたの心が痛む、それを思うたらようしません」いう、ところが基本になればあきませんわ。そういうところ抜きで人権の言い合いしたら、それはエゴの張り合いです。すぐケンカ、戦争になりますよ。でも今はそうなってるでしょ。

ちょっと前にね、児童虐待についての短い論文書いて、ある有名な月刊雑誌に投稿した

んです。そしたら、ものすごい丁重な返事が来ましてね、さすがやなあ思うて恐縮したんですけど、まあ、結果は載せてもらえなかったんですわ。その返事にね、いろいろ論文についてのコメントがあったんですけど、「子どもの人権を守るという考えが足りないから虐待が起こる」、つまり、子どもの人権を守るという思想がもっと普及したら、虐待はなくなると思う、と、こう書いてくれてあったんですわ。私、オットオ、とコケそうになりましてね、こりゃあかなアと改めて思いました。

子どものね、人権とか言い出したら、もうおしまいなんですよ。子どもにはね、愛を与えるんです。人権を守るんじゃないんですよ。特にいまの日本ではそうなんです。極端に言えばね、子どもの人権についてなんか、ああじゃこうじゃ騒ぐ必要ないんですわ。愛情が十分に注がれていればね、いちいち人権なんて言わいでもええんです。人権より、愛なんですよ。

子どもの人権が大切なところもありますよ。例えば東南アジア、タイとかフィリピン、インド、ネパールなどね。少女売春ものすごいでしょ。十歳前後の女の子がね、売春宿に売られて行く。ごっつい劣悪な条件、もう人間扱いされてませんよ、そんなんで無理やり働かされてね、体ボロボロにされてエイズうつされて、使い物にならなくなったらポイと捨てられる。悲惨ですよ。こういう子たちのためにはね、人権言うて守ってやる必要があります。

でも、日本どうですか？今ね、そんな話どこにもありませんよ。もしあったとしても、ものすごくまれなケースでしょ。一般的やない。ネパールじゃね、年間何十万という少女が、国境超えてインドへ売られていく。自分の意志じゃないですよ、当たり前だけど。日本どうなってますか。遊ぶ金、アクセサリーや麻薬買うお小遣いが欲しくて、自ら望んで売春する少女がゴマンといるじゃないですか。それで、そんな子たちにホイホイ言うて何万円も払うバカなオッサンがいる。自分の娘が同じことしよったらどう思うんですか？こんな社会でね、子どもの人権言うたって、完全にピントがずれてますよ。

いまのまんまで人権人権言うたらね、それはもっと好きなコトさせえ、もっと好きなコト言わせえっちゅうことでね、子どものエゴイズムを無限に拡張させることにしかなりませんよ。それは大人にとっても同じことです。無茶苦茶になってまう。

権利と義務

そもそもね、人が人として尊重されん世間の現実があると。だからそこで、あらたまつて人権というようなことを言わなならんようになるんです。人として尊重されんちゅう事態を放っておいてね、まあ放っておいて言うたら言い過ぎかも知れませんが、そこを一番に重要視しないで、権利の獲得とかね、権利の保障とかいうようなことばかり言っとつたら、全然本質的な解決になりませんよね。最も大切なんは、人が人として尊重される社会を作ることですよ。それは、権利、ちゅうこととは次元が違う話なんですよ。

権利を言うんならね、どうしてもその対として義務を言わななりません。でも、これは、いまの日本に、決定的に欠けていることです。「義務」って聞いたらね、だいたい誰でも、イヤなこと、できればしたくないこと、というような思いがパッと浮かぶんじゃないですか。まあ、普通言うたらそれが普通ですよ。民主主義しかない世の中言うんは、そういうもんなんです。

でもね、アメリカやヨーロッパは違いますよ。キリスト教の教えがまだ信じられている社会ではね、「神の義」言うんがあります。これは、神様が人間に対して課す義務、命令です。まじめに働きなさい、とか、ぜいたくはつつしみなさい、とか、人を愛みなさい、許みなさい、世のために尽くみなさい、とかいうのはね、どれも神様の命令です。憲法も、法律も、世の中の習慣も常識も、この神の義にはかないません。神の義は絶対です。そむくことは許されんのです。それを守らんかったら、生きる価値も資格もないという、絶対的で聖なる義務なんですわ。

いまの日本では、「まじめにせな」とか、「ぜいたくはイカンで」なんてこと言うたら、たいていは「何やあいつ、1人でええカッコしくさって」、まあこないに言われるんがオチやないですか？ 多少はね、「そうやな、その通りや」、思うてくれはる人もおいででしょうけど、ほとんどの人からは相手にされん。ふまじめにしとってね、それでぎょうさんお金稼いでぜいたく三昧するんが尊敬されますよ、特に若い人からはね。

それから、日本で脱税事件よう起きるでしょ。そういう時にね、いつも言われるんは、日本は脱税に適用される罰が甘いちゅうことです。アメリカ見てご覧なさいと。ごっつい厳しい、それこそ日本では考えられんような、重い刑罰が科されます。何で日本でもアメリカくらい厳しゅうせんねん、ちゅうてコメンテーターがワイドショーでしゃべってます。

それはね、社会のために自分の財産差し出すというのは、キリスト教社会では神の義だからですわ。まあ、言うたらお布施ですね。献金言うのがあるでしょ。教会の日曜学校とか

行くとね、帽子やカゴが回ってきて、そこにお金を入れる。キリスト教の国では、ほとんどの子が、物心つかんうちからそういうのを見てます。子どもでも、お小遣いの中から出せるだけは出す。そして、お布施もようせんような罰当たりはとんでもない、許せん、恥さらしやと、みんなが思うてる。そないな奴は、神の名のもとに裁判官が厳しい罰を下すんです。

日本で、どこの誰にこないな論理が通用します？ どんな金持ちでも、いや、金持ちほどカネに汚いちゅうてよう言われますけど、だいたい誰かて、税金やったら1円でも安くにしてもらいたい、って必死ですやろ。税金払うんは国民の義務やと、これは小学校の社会科から教えられてますけど、「そうでっか、納税は義務と。わかりました、喜んで払ってもらいます。上積みさせてもらいますわ」言うて、率先して差し出す人、まずおりません。何べんも言いますが、金持ちほど払いたがりよらん。

まあ、税金は一つの例ですけど、ほかにも義務が嫌われてること、日本ではいくらでもありますよ。日本ほど、権利と義務のバランスが崩れている国は、世界にない。それが民主主義ということなんです。

こういう中で、人権も個人の権利や、いうことになりつつある。そんなに権利がはびこるんやったらね、それ以上に義務がなければいけません。「あれもできる、これもできる」言うんなら、それ以上に「あれもせなイカン、これもせなイカン」って、義務でガチガチに固める。そうでなければ、世の中マトモに立ちゆきませんわ。

日本で国民に義務を課すいうたら、法律でいく以外ないでしょ。日常生活のありとあらゆることを、法律の義務規定でギチギチに縛るんです。イヤやなんちゅうことは許されん。逃げ道ないように罰則規定もビッチリ決めておく。違反者には法外な罰金か、即座に逮捕、投獄。

こういう世の中、悪い世の中ですよ。何でも法律で決めなイカンようなのはね。法律が増えれば増えるだけ、社会はギスギス、寒々として行きます。だからね、話戻しますけど、人権が守られとらんから権利を回復せないかん、義務も課さないかん、こういうのはね、もう後手に回っとなですよ。言うたらドロナワなんです。人が人として尊重されない現実があったらね、対症療法するんやなくて、その根本に帰って、誰もが大切にされる世の中を実現せないかん。それはね、誰もが「人の痛みをわが痛みとし、人の喜びをわが喜びとする」、こういう社会にすることですよ。これは、理屈じゃできません。知識があってもその通りにはできんのです。信じるもの、信仰がなかったらダメですわ。人間の存在をは

るかに超えた、超越的、絶対的な存在が、私らみんなを生かしてくれとると。われわれはみんな、生かされて生きとる、そういうことに対して、ありがたいなあ、いう感謝の気持ちですね、そういう謙虚な、敬虔な思いがハラの底から湧いてこんとできないんです。そしてね、私らみんなが、お互いに支え合うて、生きさせてもろうとんのやと。こころ通わして、コミュニケーションして、仲良うに暮らしていかないかなあと思うことです。日本人には一番難しいことすなあ。

ペット愛

いま日本の子どもたちが問題なのはね、人権が守られていないからじゃないんですよ。親から、大人から愛をかけられていないからなんです。子どもをかわいがっている「つもり」になっている親はぎょうさんおりますよ。でもね、それは子どもに対する愛情じゃないんです。子どもを通してね、自分をかわいがってるんですよ。自己愛、自己満足のひとつの表現として、子どもをかわいがってるんです。ペットにしてるっちゅうことですわ。子どもが親から愛されませんからね、愛って何なのかわからんまま大きゅうなる。愛されなかったから、愛することができん。人の痛み、苦しみ、喜びがわからんのです。慢性的な愛情不足になるとね、子どもは自分で自分を守るしかなくなるんです。無意識のうちにもね、必死になって自分を守る。だから、こころがすごく固いんです。そして、人を愛することができない。どうしたら人が喜ぶのか、悲しむのかわからない。人のことがわからんというのは、巡りめぐって自分のこともわからんということです。もう何が何だかわからない。何のために生きてるのかわからない。将来どうしたらいいのかなんて、わかるわけがない。だから、毎日が楽しければそれでいいや、っちゅうようなことになるんですわ。愛の喪失が、根源にあるんです。それは人間性の喪失でもある。

子どもの虐待のことちょっと言いましたけどね、ある時、若い人とその話になったんですわ。私がね、「何で日本でこないに虐待が起こるんやろなア、キミどう思う？」て、質問したんです。そしたら、その人、大学生でしたけどね、即座にこう答えました。「ハイ、それは、子育て中の母親をバックアップする社会的な支援システムがないからだと思います」。

判で押したような答えですわ。たぶん大学の授業でそないに教えられたんでしょうかね。でもね、この考え、間違ってますよ。支援システムがないから虐待が増える、て。これ、

話が逆でしょ。虐待があるから、支援システムを作らんといかんようになる。虐待なんてもんが最初っからなければ、誰がわざわざ社会支援なんちゅうことを言い出しますか。親が自覚と責任持ってね。我が子にしっかり愛情かけてれば、他人がとやかく手出し、口出しする余地なんてない。よけいなお世話や、いうことになるでしょ。

もし、支援システムがないのが虐待の原因なら、発展途上国とかね、紛争国の難民キャンプとかで、どうして日本以上の幼児・児童虐待が起きないんです？ 母親の子育て支援どころの話やないでしょ、そういうところでは。今日食うもんがない、言うて、親も子も生きるか死ぬかの生活しとる。

そういう中で、親が子ども殺してますか？ してませんよ、そんなバカなこと、だれ1人としてね。それどころかね、ガリガリの子を抱いて、お母さんだつてフラフラですわ、そんな状態で、診療所の前に行列作って、何とか助けてくださいこの子、言うて必死になつてるでしょ。虐待の「ギャ」の字も見当たらん。

さっき紹介した、雑誌編集者の方のコメントも同じですよ。子どもの人権が、日本以上に守られとらん国は、世界にゴマンとあります。動物以下、金儲けの道具としてしか扱われんところがある、この現代ですらね。しかし、そういうところで、親による虐待はありません。多少はあるかも知れんですが、日本みたいに日常茶飯事になって、社会全体がアタフタするような状況やない。支援とか人権とか言うてみてもね、いっこも説明になつとらんのです。日本の異常性に対する答えになつてない。

日本では、人々の間から、徹底して愛が失われてる、ということです。愛がないから、他者の痛み、悲しみがわからん、喜びもわからん。それはつまり、めぐりめぐって、自分自身の悲しみや喜びもわからん、ちゅうことです。何が何やらわからんで、人間性がカサカサに乾いとる。そういう親が子育てをすれば、どうしたってその子は親以上に、愛の欠落した人間に育ちますよ。こういう悪循環が、いま日本中に渦巻いてます。

苦勞せよ子どもたち

他者の痛み、悲しみをわからせて、人間らしさを取りもどさせるには、子どもに苦勞させることです。ところが、苦しいのはイヤ、楽しいのがいい、ラクなのがいい言うんですからね。ちっとやそつとではどないもなりません。

子どもに苦勞を味わわせるのに一番いいのは、農業、百姓させることです。私がもし文

部科学大臣になったらね、真っ先に憲法改正して、二つのことを学校でできるようにしますわ。まずひとつはね、公立学校で宗教教育ができるようにする。人間、苦しい修行がいるんです。そして、聖なるものに絶対の權威を感じて、こころから信じる信仰心がある。これね、なかなかおわかりいただけないと思いますけど、理屈やないんですわ。これがのうなってしまうたら、人間性がないのと同じなんです。日本人以外の、世界中の人が、このことはわかってますよ。わからんのは日本人だけです。

仏教でのうてもいいんですよ。キリスト教でもいいし、無宗教的な瞑想をするのもいい。ヨーガとかね。夏の高校野球でね、終戦記念日の正午には、試合中断させて、「黙とう！」言うて全員にさせるでしょ。黙とう言うたら瞑想ですよ。大事な宗教的修行なんです。1年にいっぺんやなくてね、日常的に取り入れるべきですよ、学校のカリキュラムにね。私は、あらゆる宗教はひとつや思うてますし、そないに発言もしてます。実践もしてます。

それからもう一つは、いま言いました百姓です。子どもが全員、正規のカリキュラムとして農業をする。狭くてええんですわ。すべての子どもに、1坪土地を貸すと。その環境が得られないところには、学校を作らない。その条件を満たせない者には、学校を運営させない。そこで、何でもええです。子どもに責任を持たせて、作物を作らす。花でもいいですわ、野菜でも芋でもええ。低学年の子には、易しいものを少し作らせるんでもいい。高学年、中学校になるにつれて、本格的なものをやる。できれば畜産や林業もやって、自給自足を体験させる。

勉強もええですけど、勉強より百姓が先です。「教科が遅れる」とか言うて、百姓仕事を後回しにすることは許さない。学力低下するかも知れませんが、いまもうだいぶしてますけど。でも、学力なんぞ低下してもええんですわ。もちろん、いまのようにぐうたらして勉強ができなくなるのはダメなんですよ。ただね、ちっとばかり知識がついたって、こざかしく、ずるがしこくなるだけなんです。そんなくらいなら、人間としての基礎がきちっとできることの方が、ずっと大切です。人間としての基礎いうたらね、繰り返しになりますが、他者の心がわかるということです。言葉がしゃべれるとかね、道具が使えるとかいうのは、そんなの人間の本質やありませんよ。動物の延長です。でもね、人の気持ちがわかるっちゅうのは、これは人間だけです。やさしさ、思いやり、こういうのが人間らしさなんです。それがどうも忘れられてますわなあ。

心の理論

「心の理論」いうのがあるんです。子育てに関心がある方や、大学生なんかは知ってはるかもしれませんがね。英語で「セオリー・オブ・マインド」言うんです。心理学の用語ですわ。これね、いますごく人気があるんです。新聞とかニュースにも、ちよくちよく出てくる。でもね、こんなんダメですよ。心の理論なんてね。私は「心の理論の心得違い」言うてるんです。

少し紹介しますとね、1970年代に、アメリカの動物学者が、チンパンジーの研究してて、観察してると、いろいろ興味深い行動をとる言うんです。たとえばね、美味しそうなエサを見つける。それ食べたいなあ思うけど、サルは群れで生活してますから、手を出した時、他の奴にさっと横取りされるかもわからん。そんなんかないませんね。だから、じっと機会をうかがうんですわ。わざとそのエサの方から目をそらしてね。いかにもよそにおもろいもんがあって、それを眺めてるようなふりをする。それで、他の連中がそっちに気をとられているスキにね、パッとエサとるんです。「あざむき行動」言うんですわ。サルで、賢いなあ言うてね、研究者感心するんです。まあ、アホではないか知りませんがね。

ちゆうことはね、サルは他の奴の心がわかるんやと。自分がこういうことすると、他の奴はだまされるということがわかる。「だます - だまされる」いう「心」がわかるんや言うんですね。どのくらいわかってるんかなあ思うてね、いろいろ実験するんです。例えばね、サルにビデオ見せます。部屋の中に人がいてね、その天井からバナナがぶら下がってるんですわ。そんで、その下でその人じいっと考え込んで、そういうビデオです。

そのビデオの後にね、サルに写真見せるんです。まあ、クイズ出すようなもんですわ。「さあ、このニンゲンは、このあと、どないしたらええでしょう？」言うて。何枚かありましてね、例えばその中に、箱の上に人が乗っている、ちゆうのがある。するとね、サルは、これやこれや言うて、あ、いや、何にも言いませんけど、サルはね。その写真とって見せるわけです。つまり、ビデオに映った人は、バナナが欲しいらしい、でも高くて届かへん、そんなら箱に乗って取ったらええやないかと、サルはそういうことがわかってちゃんと写真を選ぶというわけです。

へえ、サルはけっこうわかってるわ、と言うんですね。人が何をしたいか、何が好きで何が嫌いか、何がうれしゅうて何が悲しいか、意外にわかるとる。それで、そういうことがわかる能力を、「心の理論」と名付けたちゆうわけです。

サルがそんだけわかるんやったら、人間ではどないだろう、ということになるんですわ。

どうもね、私はこんなふうに人間と動物をおんなじ次元で考えて、実験して調べようというのは感心せん。ま、いまはちょっと置いときますがね。

とにかく、人間でも実験するんですわ。3歳とか4歳とかの、小さな子連れてきてね、ポッキーとかの箱見せるんです。「何が入ってる思う？」言うて聞くんですわ。何や質問自体すでにアホらしい感じがしますけどね。まあ、あんまり言うとケチばかりつけるような感じやからそれも置いときますわ。

子どもは「ポッキー！」言います。そんで箱を開けてみると、エンピツが入っとんです。そして、「キミ、さっき、何が入っている思う言うたっけ？」と確認し、「ポッキー」言わせて、「そんでいま入っているのは？」「エンピツ」とやります。それでね、「次に、キミのお友だちの　ちゃんにな、この箱見せたら、何が入っている言うかなあ？」と聞くんです。するとね、3歳とか4歳くらいの子は、「エンピツが入っとるって言う」と答えるんです。自分が、エンピツ入ってるという正解を知ったから、お友だちも同じように知っとるはずや思うんですね。でも、本当は、そのお友だちはまだエンピツが入っているところを見とらんやから、「ポッキーって言う」というのが正しいわけです。

いろんな子を連れてきて実験すると、全般的に3, 4歳の子は正しく答えられん。つまり、自分が知っとることは、他のみんなも知っとるはずや思うてます。これが6歳頃になると、正しい答えが言えるようになる。自分が知っとっても、他の人が知っとるとは限らない、ちゅうことがわかって言えるようになるんです。こうして、心理学者は、人間の子どもは、6歳頃から心の理論を正しく使えるようになる、言うわけです。それまでの子どもは、人のことなんか何やわかつとらん、自己中心的、ジコチューや言うわけですな。6歳頃に、人の心が読みとれるようになるための神経回路のスイッチが入る、ちゅうようなことを言う人もいます。

そんでね、いまの子どもたちは、心の理論が正しく使えん、だからいじめや学級崩壊が起こる、どうしたらこの理論がうまく使えるようになるか、こういう議論になるわけです。何ですかいなこりゃ。人間をサルと同列に論じとるんです。または機械と一緒にしとんですな。心の理論のスイッチが入ってないから自分勝手する、早よスイッチ入れたれや、ちゅうんですか。アホくさいですよ、ナンセンスです、そんな話。一体全体、バナナやポッキーが、人間の日常生活にどれほどの意味をもっとんですか。子どもやから、お菓子で釣って実験すればええちゅうようなもんやない。人間パンのみに生きるにあらず。子どもやってね、お菓子やオモチャのみに生きとんやないんです。

人間そないに単純やないんですよ。でもね、複雑な人間を、複雑なままではわからんから、単純な動物のレベルに引き下ろして考えようとする。そんなん、どうして人間のことがわかるんですか。わかりっこないですよ。サルのことわかったってね、人間のことは絶対にわからん。逆はあり得ますよ。人間がわかったために、サルのことわかるようになったちゅうことはある。こういうことを肝に銘じておかないと、科学は必ず間違いを犯します。いまもう間違いだらけですけどね。間違いだらけ、言うたら「クルマ選び」ですか。

DNA

いま、遺伝子さわりまくるのが大はやりでしょ。遺伝子いうたらモノですよ、物質です。デオキシリボ核酸言う化学物質ですわ。科学者の中にはね、遺伝子がわかれば人間がわかる、言う人がおるんです。名前は出しませんがね、有名人でそないに言うてはる人、よくいるでしょ。それとか、脳がわかれば人間がわかる、とか言う人ね。

アホなこと言うたらいけませんよ。人間がわかったら、初めて遺伝子がわかるんです。逆ですわ。地球上に存在しているものはね、物質 生命 精神、こういう順番で進化してきました。物質は、つまり、モノですわ。鉄とか、水とか、酸素とかね。そこから、生命が誕生した。動植物です。でも、どんなにモノを寄せ集めてみても、それだけでは絶対に生命になりませんね。泥人形いくらこねたって、生きて動くことは絶対にありませんわ。物質と生命の間には、断絶があるんです。そしてね、生命とは何か、ということが正しくわかって初めて、その生命を構成している物質のね、それぞれの働きや存在意味がわかるんです。

どんなに賢い動物でも、生命止まりです。サルでも、イヌでも、イルカでもクジラでもね。精神、という存在としての人間とは違う。生命と精神の違いは何か。サルにも心あるやないか、と言われるでしょう。確かにありますわ、怒ったり、喜んだり、悔しがったりね。喜怒哀楽あります。サルのそれと、人間のそれと、どこがどう違うか。これ、わからん人が多いんです。だから、「心の理論」というような話が出てきて、多くの人が、ほう、そうやなあ言うて感心したりする。でもね、動物の心理と、人間の精神とは違うんです。

人間だけが精神を授かった、精神としての存在になったというのはね、人間の心が二重になったということなんです。「自分」というのと、「他者」「人様」というのとの、人間の

心はひとつのものが二重の構造になってるんです。前の方の話で、人間は精神的な意味で、2本足で立ってる、自分自身と信じるものと、いうてお話ししましたでしょ。ここで言うてるのは、そのことなんです。

これね、哲学的な話なんです。私、心理学者でしてね、心理学をこうして哲学的に考えな、人間を捉えることなんてできない、いうことに、十年ほど前思い至りましてね、それ以来ずっとそのことを基盤にして研究し続けているんです。論文もけっこう発表しています。でもね、いま主流になってる心理学ちゅうのは、実験結果がどうかね、データ、数字ですわ、それがどうか言うて、まあ、つまり「科学的」にもの言わな、受け入れられんのです。もちろん、私のしてること、科学ですよ。私はこれ以上の科学はない思うてしてる。

精神とかね、哲学とか論じるには、お話、ストーリーがいるんです。実験やデータを超えてね。そういうのを統合して語る、大きなお話がある。それは結局、人間とは何か、とか、生きている意味とは何か、ちゅうことですわ。でもね、心理学者はお話嫌いなんです。だいたいまともなお話を書ける人おらへん。私の論文とか読んでもね、「何じゃこりゃ、ただのオハナシやな。中塚のんは宗教や」言うてね、心開いて謙虚に学ぼうという姿勢がないんです。ごっついとらわれがあるんですわ。おのれがいままでしてきた研究とか勉強とか、そういうものにしがみついて、色メガネかけて人の業績見よる。心にね、とらわれの垢いっぱい付けとんです。だから、世の中がみんな汚れて見えよる。きれいなもんまで汚のうに見えよります。そんで、おのれの心が垢で汚れとることがわからん。自分が汚れとんのに、相手が汚れとる、言うてる。そのことを指摘してあげると、どえらい感情的になって、カリカリ反論してくる人、ぎょうさんおりますわ。私、うらみとかねたみとかで言うんやないのにね。ほんま、難儀なもんですわ。まあ、おいときますけど。

精神、自己と他己

生命はね、人間にまで進化して、初めて精神を獲得したんですよ。字で書きますとね、心が「精」と「神」に分かれたんです。「精」は、自分を大事にしようという心ですわ。私はこれを「自己」言うてます。そして「神」の方、これはね、字の通り神様ですわ、仏さん、仏性、如来さんです。限りない他者への関心であり、愛です。これは、「自己」に対応させて「他己」と名付けてますわ。人間はね、誰でも生まれながらに、他己、仏さんを

宿してこの世に生まれてくるんです。

人間は、どうしても他人に関心が向くんです。ほっとこう思うてもね、どうしても気になってしまう。損得とか言うこと抜きにしてね、人のことが気になります。いい意味でも悪い意味でも、ちゅうことはありますけど。

動物はこういうことないでしょ？ イヌとかサルはねえ、ハラ減った、エサくれんかなアとかね、遊んで欲しいなあとか、散歩連れてってくれへんかなあとか、そういうときには、飼ってる人が近づいていけば、そりゃもう最大限の関心示して、大騒ぎしますわ。でもね、そういう欲求が満たされてしまうと、もう後はそばによっても、完全に無視しとるでしょ？ 目えつぶったり、そっぽ向いたりしとってね、「ヘイ、何ぞ用でっか？」ちゅうような顔はしませんわ。

人間そんなことありませんよ。なんぼ用事がのうてもね、目の前にいる人をまるでモノ見るような目つきで見たりしません。何らかの関心払うでしょ。前通る時は「すみません」「ちょっと失礼」言うたりしてね。勝手に他者への関心わいてくるのが、人間なんです。それが他己なんですわ。

サルからヒトへ

人間はサルから進化しましたね。子どもでもよう知ってます。人間とサルを分ける一番重要なポイントはね、他己のあるなし、精神が二重性を帯びているかどうかですわ。これは、脳の構造とも関係あるんです。脳の写真とか絵ね、見はったことあるかと思えますけど、一番大きなのが「大脳」です。心の働きは、大脳が担ってます。そしてこの大脳はね、左右半球言うて、上から見ると右脳と左脳に分かれとんです。そしてね、この右と左の大脳半球では働きが違うということがわかってる。よく言われるのは、右脳が直観的、イメージ的で、左脳が論理的、言語的、というようなことですね。まあ、そういうことが実験でわかるとる。

私はね、この、左右大脳半球が、精神の二重性に対応しとんのじゃないかという仮説を立てとるんです。右脳が「自己脳」ですわ。左脳が「他己脳」です。これね、精神分裂病とかうつ病というような精神病、それから自閉症いう、子どもの頃からの発達障害があるんですけどね、そういった精神疾患や精神障害、その症状や医学的データから見ても、十分に説得力ある仮説になっとんですよ。まあ、あんまり言うたら専門的になりすぎますから、

この辺でやめておきますけど。もしご希望だったら、論文にしていますから言うてください。差し上げます。

ええとね、サルから進化して、ヒトが「人間」になったちゅうのはね、この大脳半球機能が左右に分化したちゅうことが決定的やと、オーストラリアにね、エックルスという脳生理学者がいてはるんやけど、もう亡くなりましたがね、世界的に有名な、ノーベル賞もろうた学者ですわ、このエックルスも、同じことを言うてます。

アフリカで地面掘ると、サルなんか人間なんかようわからんホネが、化石になって出てきますわね。いつまでがサルで、いつからが人間なんか、はっきりとはわかってません。まあ、その中でも、だいたい五百万年前にアフリカにおった「アウストラロピテクス」ちゅうのが、「猿人」言うて、人間の直接の祖先やいうことになってるそうですわ。

テレビとか見てますとね、チンパンジーが石使って木の実割ったり、草でシロアリ釣ったりしてます。けっこう上手に道具を使いよんですわ。でもね、こういう行動は群れによって差がある言うんですな。できる奴とできん奴があるんです。知っとる奴はできる、知らん奴はできん。ところがね、アウストラロピテクスは石器を作ろうとしたそうですが、どいつもこいつもみーんな使えたそうです。そこでね、アウストラロピテクスは、「言語コミュニケーション」と「知覚の能力」いうのが、よう発達していた、と、こないに言われてます。

ヒトから人間へ

猿人の次に出てきよんのが、五十万年ほど前の「原人」ちゅう奴です。「北京原人」とか、「ジャワ原人」いうのがおります。その原人が進化して、十数万年前には「旧人」ちゅうのが出てきます。「ネアンデルタール人」いうのが有名やそうです。ネアンデルタール人はね、仲間が死ぬと、遺体を埋葬して、周りを花で飾ったそうですわ。何でそないなことがわかるか言うたら、遺骨と一緒にね、花粉の化石がドッと出てきよんです。

人類は、進化の過程でね、二本足で歩いて、言語をしゃべり、道具を作り、火を焚くいうような「人間らしさ」を身につけてきた、ちゅうことがわかってます。でも、その中でも決定的なのがね、仲間が死んだら涙を流し、長老や勇者を尊敬してね、善を愛して悪を憎む、大自然の力を敬う「精神」を宿したことなんですわ。本読んでもそないに書いてあります（注：『クロニック 世界全史』講談社）。

この精神の基礎にあるのがね、「こころ」なんです。哲学的に言うたらね、「他者性」言うんです。私の言葉で言えば他己ですわ。他己の有無が、人間と動物を決定的に分けてんです。

ネアンデルタール人がね、話し合っって法律作っって、「今日から、お墓には花を飾るで。みんな守るようにな」言うたわけではありませんわ。どこそこに埋めようやとか、どんな花がええやるとかは相談したかも知れませんがね。風習そのものはいつの間にやら、当の本人たちにもわからんうちにできあがったもんでしょ。

物質と生命との間に断絶があると同じように、生命と精神との間にも断絶があるんですよ。字がわかったりね、パソコン使えたりする「賢い」サルあるでしょ。そういうのをぎょうさん集めてきてね、ひとまとめにしておいとったら人間らしいことをするようになりますか？ 死んだのが出たら墓作っって葬式出してやるとかね。そんなこと絶対にありませんよ。誰でもそう思うでしょ。サルはいくらぎょうさん集めてもずうっとサルのままで。人間が飼ったとしてもね、人間になるちゅうようなことあれへんですわ。

でもね、逆のことはあるんです。つまりね、人間は動物に育てられると、動物になってまう。「オオカミに育てられた少女」いうお話、ご存じの方いてはるでしょ。これね、1940年代に本になりましたけど、インドのジャングルでね、姉妹が発見されてん。素っ裸でね、髪はぼうぼう、爪は伸び放題、四つんばいで歩き回って、人が近づくと「ウーッ」うなって歯をむき出すちゅうような姿でした。牧師の夫妻に引き取られてね、手厚く育てられました。でもね、人間と同じ生活を送るようになって、生肉食べてね、言葉はなかなか覚えられん、夜になると目がキラキラ光ってね、遠吠えするいうような、本当にオオカミそのものの特徴をたくさん残しとりました。2人とも長生きできませんでね、とくに1人の方はまもなく死んでもうたんやと思います。

不幸言えば不幸なことでしたけどね、自然が行った実験でしたわ。この出来事があるって、人間は、動物が育てれば動物になってまうということが証明されたんです。こんな事が起こるのは、あらゆる生き物の中で人間だけです。例えばイヌ飼っててね、「このイヌ自分のこと人間や思うてるわ」いう話よくありますけど、それでもね、行動が何となくそう見えるだけで、イヌが本当に人間らしく振る舞ったり、そういう努力したりしてるわけやないでしょ。いくら家族同然にかわいがっても、イヌは死ぬまでイヌのままですわ。それから、イヌの母親がネコの子育てても、イヌらしくはならんでしょ。やっぱりネコらしく育ちます。ところが、人間だけが、オオカミが育てればオオカミに、チンパンジーが育てれ

ばたぶんチンパンジーに育ってしまうんです。

動物的人間

もう少し言いますとね、動物的な親が子育てしよったら、動物的な子に育つ、ちゅうことですわ。じゃあ、動物的な親でどなんやと。それはね、人間らしい愛情をかけん親です。

子どもの気持ちを汲み取ってね、あ、いま楽しいんやな言うて一緒に喜んであげる、ニコニコしてあげる。ああ、この顔は悲しんだのやな、思うて、子どもの悲しみを、親である自分自身の悲しみとして一緒に受け止めてあげる。そうやってこころを通わせ合うことをね、私はこころの響き合い、心理学的にむずかしゅう言うたら「情動の共有」、とも呼んでますけど。人間の子育てでは、これが決定的に大事です。子どもの成長をものすごう左右する。

動物的な親の、動物的な子育てちゅうのは、だからこれと正反対にすることですわ。子どもとこころの響き合いがない、情動を共有せん。ママ、パパ、こんなんおもしろいでしょ、見て見て、言うて子どもがニコニコ近づいてきても、「フン」言うて知らん顔しとる。あるいは「やかましいな、いま仕事しよんじゃ」とか叱りつけて追い払ってまう。それとか、子どもが泣いていたり、オナカやアタマが痛い言うてたりしても、まるでモノをみるようなツメタイ視線を投げてほったらかしにしとく。まあ、いちおう表面上はね、相手をしてあげとつても、実はこころここにあらずで、上の空で対応しよるだけ。かけがえのない、大切な我が子や、ありったけの愛情かけてやらな、いうあったかい気持ちで接しとらんのです。

まあ、動物的な親にも、子どもは自分のモンや、いう思いはあります。それは文字通り持ち物、所有物、まあせいぜいよくてもペット、ちゅうところでしょうかね。自分が子どもために何かするんやない。子どもが親を癒し、慰め、励まし、尽くすのを期待しとるんです。親がジコチューなんですわ。スキンシップや言うて、やたらに子どもにベタベタする親もおりますが、あれ別に子どもをかわいがとんのやないんです。親がね、自分の心理的安定を得たりストレスを解消したりするために、子どもを利用しとるんがほとんどですよ。子どもは癒しグッズ。こんなんだから、自分の思い通りにならん子は腹が立つ。何でワシの言う通りにせえへんのやと。これが虐待を生むんです、動物的な親が、自分のこ

としか考えよらんところに虐待が起きとる。まあ、残念ながら、いまは、日本の親が世界で一番程度悪いですなあ。

こうやって、動物的な親に育てられた子が、動物的な人間になり、そしてまた動物的な親となって動物的な子育てをする。こうして、動物的な人間が拡大再生産されとるのが日本の現状ですわ。

動物の中のドーブツ

日本人はね、昔からよう動物に例えられてきてます。まあ、これは日本人に限らず、仲の悪い外国人同士は、たいてい相手をののしるんに、動物に例えますけどね。有色人種が白人をバカにする時には「ホワイト・ピッグ」言うたりする。戦前、戦中、アメリカ人が日本人を侮辱するには「あいつら、イエロー・モンキーや」と。

戦後、日本が高度経済成長迎えたら、国際的に何て言われたか。これ、有名ですよ、
「エコノミック・アニマル」。日本人ちゅうんは、金のことしか考えんアニマルや、言われた。かつて池田勇人首相がね、フランス行って、ド・ゴールと会談した。そしたら、その後でド・ゴールが言うたことには、「何やあいつ、あれで一国の首相やて？ トランジスタ・ラジオのセールスマンやないか」と。貧しくて必死になっってもドーブツや言われるし、金持ちになってちっとばかり偉そうになったらなっただ、またまた金に汚いドーブツや言われる。日本のサラリーマンは、ウサギ小屋に住んでるウサギや、いやいや働きバチやで、言うて、とうとう昆虫にまでされてしもうた。立つ瀬ないですなあ。

人間性の感じられないのが動物です。知識があって、言葉がペラペラしゃべれて、手先が器用で、金儲けがうまかったら人間のかと。全然そんなことないんですね、外国人はそういうふうに日本人を評価してるんです。金さえあれば、おのれの好きなように出来るちゅうて、人のところに土足で上がり込んでくるような奴はケダモノ以下や、日本人はこないに見られとる。

バブル絶頂期のころね、日本の企業がアメリカに出かけて行って、何とかビルやら、何とかタワーやら買収しまくったでしょ。アメリカ人怒りましたね、何じゃあいつら、ワシらの魂を金で買いくさった、それがまともな国際人のすることかと。それから、親のすねかじりの女子大生が、パリやらローマやらに押し掛けて、ヴィトンじゃグッチじゃフェラガモじゃ言うて買いあさる。外国じゃ、そんなブランド品は成熟した大人の女性、まあ言

うたらええオバサンが持つモンでしょ。それを、ろくに舌も回らん小娘がキャアキャア言うて提げて歩きよる。空港で、ヴィトンのバッグに腰掛けてカップラーメンすすっとる。ほんまのアホや、恥さらしやなアと。

宗教、思想、哲学が、人間性の根幹を形づくるんです。それを失うことは、人間であることを放棄することと同じなんです。日本だけが、世界で真っ先にそれをやった。民主主義だけを信奉して、金儲けに突っ走ってきたんです。

そして、今じゃとうとう、金儲けすら飽きてしもうたんだか何だか、まともにせんようになってる。何にもやる気が起こらんで、毎日ゴロゴロとぐうたらに過ごして、たまに自分の好きなことをチョイチョイとするだけ。頭ン中空っぽ、ラクして楽しけりゃいいやと。どう生きるかとか、世の中のために何かしたいとか、そういう人間らしい反省や自覚が皆無です。他人に関心がないし、自分のことすらわからない。

これはもう、エコノミック・アニマルどころじゃないですよ。そんな段階はもうとっくに通り越してしもうた。自分のエゴでしか動きよらん、エゴノミック・アニマルと言うべきか、それとも、ちゃんと英語で、動物の中の動物、純然たる動物ちゅうたら、アブソリュート・アニマルとでも言うんでしょかね。

赤ちゃんという仏さま

人間の赤ちゃんはね、ものすごく未熟な状態で生まれてきます。自分で何にもできへん。ポルトマンという人は、そのことを「生理的早産」と呼んでますけどね。でもね、何にもわかつたらんというのは間違いです。そのへんのことは、育児書なんかにもよく書いてありますから、皆さんよくご存じだと思います。

でも、大切なことが書かれてなくて、ほとんど、イヤまったく知られとらんなアいう気もしてるんです。もちろん私は仕事として、業績として世に問うとんですけどね、なかなか広まらんということはある。それはね、さっきから人間には自己と他己というふたつの心、それがひとつになって精神なんです。その自己と他己というのがあるとお話ししてます。それでね、生まれたばかりの赤ちゃんというのは、この自己と他己のふたつが、完全にひとつになってる、難しい言葉で言えば統合されてますねん。これね、実は人間として、最高の姿なんです。仏教で言えば解脱、悟りの境地ですわ。キリスト教で言うたらね、「神の御国」言いますけど、神の国が心の中に実現されとる。赤ちゃんは、仏さんなんです。

赤ちゃんはね、一生懸命生きようとしてますわ。お腹空いた、オッパイちょうだい、おしめが濡れた、気持ち悪いけん換えて、暑い、脱がせて、寒い、着せて、言うて泣きますね。親の都合も何もない、二十四時間、いつでもかまわず欲求が起これば大きな声で泣きますわ。「生の衝動」が、そのまま、ストレートに現れてます。でも、これ、わがままちゃうんです。生きようとする意志が、そのまま、ありのまま現れてるんですね。だから、欲求が満たされれば、ピタッと泣きやみます。もうご機嫌ですわ。ニコニコしてる。不平不満言いません。布オムツいやや、紙にして、とかね、たまには母乳じゃなくて粉ミルク飲んでみたいわ、とかね、よけいなことで機嫌悪うなりません。そして、これかわいそうな話ですけどね、もし世話されんで、放っておかれれば、黙って死ぬだけです。ひもじいとかね、苦しい言うて泣くでしょうけど、泣くだけですわ。だんだん弱って、スーッと死んでいく。だあれも恨みません。腹も立てません。何でこんな目に遭わないかんのやろ、不幸やなァ、くそっ、生まれ変わって絶対親に仕返ししたるわ、とかね、思わないんです。生きるのも、死ぬのも、ありのままです。よけいなこと言わんし、思わん。一切の執着、とらわれがないんです。心に垢が付いてへん。

そして、人を差別、区別しませんわ。誰と目が合うてもね、ニコニコして喜ぶ。選り好みありません。ごっつい人相悪くてね、街歩いてるとみんながよけて通るような人でもね、上手にあやしてくれればキャッキョウ言うて笑いますわ。誰に対しても、完全に心開いとんです。大人でそんなことできる人いますか？ おりませんよ。私出会うたことない。誰でも多かれ少なかれ自分の都合でね、人を差別する。利用する。赤ちゃんの心に、いっこもかないません。

こんなふうにな、赤ちゃんの心は自己と他己が統合されとんです。人間として最高ですよ。このこと、案外知られてない。赤ちゃんは自己中心的や、人のことがわからん、心の理論がないんや、言われてます。

ただね、どの赤ちゃんも、いつまでもそうではない。誰でも必ず、自己の方が優勢になってきます。第1反抗期いうのあるでしょ。だいたい2,3歳頃になるとね、親の言う通りせんようになってくる。何でも自分でしたがりますわ。手伝ってやったり、「こうしたら？」言うたりすると怒る場合もある。このころはね、自由が必要なんです。野放しにせえ、言うんじゃありませんよ。少し離れてね、温かく見守ってあげないかんのです。それが、親としての愛ですよ。

どうもそれが、近ごろ逆になっているように見えますわ。ちゅうのはね、保育園や幼稚

園に行き出すでしょ、みんなと同じにできなイカン、何でも上手に、速くせなイカン、小学校入る前に、ちっとは賢くなって、読み書きもできるようにならなイカン、言うてね、子どもが小さいのをいいことに、ギョッと抑え付けて、精神的にですよ、精神的に抑え付けて、親の言う通りにさせる。ああせえこうせえ言うてね、親の思い通りにさせる人が多い。これ、親のエゴですわ。子どものためにしよるんやない。子ども、おかしくなりますよ。でもね、ほとんどこうなってるんです。本当の愛情持つのはね、難しいんです。親が、自分のエゴを捨てないかん。なかなか捨てられんです。難儀なもんですわ。

なぜ捨てられんか。親が自己中心的だからです。執着、とらわれがあるからです。これがない人ね、おらんのですよ。1人もね。解脱した人は別です。解脱せん限りね、どんな人にも必ずとらわれがある。程度の差があるだけですわ。そしてね、自分に執着があるいうことに気付かん、これこそ最大の執着です。とらわれです。自分がわからん。客観的に見えてへん。そして、正しい思うて悪をなします。自分ではええことしとる思うて、実は悪いことしよる。これ、一番の極悪人なんです。

小学生には統制を

第1反抗期過ぎますとね、小学1年生になる頃から、また子どもは素直になってくるんですわ。これね、自然にこうなってくるんです。ちゃんと育てればね。だから、小学生時代にはね、大人が子どもを統制して、正しい価値を教えてやる必要があるんです。それに、無理に押し付けんでも素直に吸収するんですわ。精神はうまくできとんです。

小学生から本格的に農業したら、効果ありますよ。意味もあります。百姓はね、しんどいですよ、難しい。大人がね、先頭に立って指導するんです。こないするんや、言うてね。子どもはね、大人って偉いなあ、言うて尊敬しますよ。こんなえらいこと、ようできるなあ、ボクできへんわ、言うてね。しんどくても、我慢してしてみせる。威張り散らさんでも、勝手に尊敬します。大人のすることをね、よう見させて、同じように手伝わすことが大切です。

学校はね、なかなかパツとは変わらんでしょ。変わらないかんのですよ、本当は。それこそ早うせな、子どもがみんなグータラになって、日本つぶれますわ。でもね、どうしたって時間かかる。法律や、なんやかんや言うてね。まずはね、親がすることです。お父さん、お母さんがね、農業は生きる基本やいうことをちゃんと自覚して、家庭菜園でええん

ですよ、できる範囲で、自分の食べモン自分でこさえて、感謝して食べる。私は日本中の人がみな、1人残らずこれをせんとイカン思うてます。そしてね、子どもに手伝わずんです。親がやる気になれば、子どもはついてきますよ。

いまの小学生、だいたいこれと逆のことされよるでしょ。民主主義のおかげですわ。皮肉ですよ、これ。つまりね、まず何でも勉強第一でしょ。勉強かて大事ですよ。一生懸命勉強せないけませんわ。でもね、しょうもない知識ばかりアタマに詰め込んで、肝心の人間性はスカスカです。屁理屈こねるような悪知恵がつくだけですわ。そしてね、自由や、自主性や言うて、好きなことさせて、好きなこと言わせよる。

いまの小学校ね、ペラペラしゃべる奴が成績ええんです。わかっとらんでもええ、できんでもええ、中身なくてもええから、とにかくペラペラしゃべれば、「ん！ 自分の意見もつとる。表現能力ある。やる気もある。関心態度 や」言われてね、通信簿ええ点つくんですわ。これ何ですか、無茶苦茶ですよ。わかっとってもね、できてもね、しゃべらんと評価低いんです。「消極的や」とか言うてね。もっと積極的にならな、とか説教してね、うるせえちゅうんですわ。しゃべらん自由もあるやろうかと。あつかましくて、図々しくて、ええ加減なこと言う奴が、よく評価されるようなシステムになっとんです。そんなんダメですよ。

まず自分の意見持ちなさいと。それはね、人の言うことになんか耳傾けたらいかんで、教えることですよ。何で素直な子が育ちますか。みんな傲慢で、エゴイスティックになりますよ。小学生にはね、大人の言うことは聞くもんや、目上の人には従うもんやいうことをね、徹底してわからせないけません。

ただね、愛情がなかったらダメです、大人にね。どついて、しごいて、何でもとにかく言うことさえ聞かせとったらええちゅうんやないんですよ。どうもそのあたりが誤解されそうでね、恐いんですけど。言うこと聞かせるというのはね、大人の思い通りになるロボットやペットを作るちゅうようなことではありません。「人間になるいうんは、こういうことやで」ということをね、愛情をもって、情熱をもって、そして身をもって、大人が子どもに示すんです。そこにはね、権威が生まれますよ。子どもが勝手に言うこと聞くようになります。

権威もないのにね、ギャンギャン騒いで言うこと聞かせようとしても、そりゃ無理ですわ。これはね、親や教師の、人格の問題なんです。しつけや教育のね、テクニックや知識の問題ちゃうんですよ。大人が人格磨いてね、子どもに、その人格のすべてで接するんで

す。大人の人格と子ども的人格の響き合いですよ。私はそれを、もうずっと前から「響育」言うてるんです。響いて育つ、です。教え込むんじゃないんです。やらせなやらんようじや、もう教育やないですよ。勉強でも仕事でもね、自分から、勝手に、進んでするように育てなかったらダメです。

中高生には自由を

小学校も高学年とか、それから中学生くらいになるとね、第2反抗期になるでしょ。思春期ですわ。この頃はまたね、自由が大事です。人間にはね、精神の自己が充実する頃と、他己が充実する頃が、交互に訪れるんですよ。反抗期の頃は自己期ですからね、自由を与えて、子どもの行動を認め、理解してやらないけません。ほっとけ言うんやないんですよ。どうも誤解されるんでね、強調しときますけど。

これもね、いまの中学や高校、逆のことしよんですわ。無茶ですよ。統制加えなイカン小学校時代に、自主性や何や言うてほったらかしにしといてね、中学校来たらいきなり制服やら校則やらでがんじがらめにする。放課後にワルサしたらいかん、とか言うて、強制的に部活に入れさす。部活言うたら、そんなんやろうがやるまいが自由でしょ？ 本来は。好きな子、したい子がしたらええんです。それをね、悪させんようにヘトヘトにしたろう思うのか、誰もかれも朝から晩まで練習さしてね、土日は試合です。ロクな自由あらへん。まあ、程度の差はあるでしょうけど、無茶苦茶にならん方が変ですわ、かえってね。

思春期はね、生き方や人生について考える大切な時期ですよ。自己に意識がグーッと集中しとんです。大人があれせえこれせえ言うてね、指図して、効果や意味があるわけないんですよ。じっと温かく見守ってね、信頼して、認めてあげる。そして、大人自身がね、日々人格を高める努力しとんのやと。生きるっちゅうこと、働くっちゅうことはね、おのれの欲望満足さすためにしとんやなくて、人様や社会のために尽くすことが素晴らしいんや、そのために日々頑張っとなのやで、いう姿をね、黙ってみせることです。

子どもが頼ってくること、方向性を聞いてくれることがありますよ、時には。その時にこそ、誠心誠意向き合って、行き先を示してやるんが大事なんです。くだらんことにゴチャゴチャ手出ししたり、口出ししたりするのは、百害あって一利なしですわ。

賛成！ 反対！

こんなふうだね、子どもから青少年は、自己と他己の間を揺れながら大きくなっとなすよ。それぞれの時期に合うた、教育やしつけのあり方があるんです。ところがね、いま言うたように、いまの日本ではたいていそれと正反対をしよる。これはね、悪うなりますよ。わざわざ悪うにしとんです。

結局ね、民主主義しか頼るモンがなくて、本当は何が正しうて何が間違うてるのか、何が必要で何が不必要なのか、誰にもわからんのです、いまは。

民主主義はね、みんなが「いい！」言うたことが正しいんですよ。「あかんなあ」て大勢の人が言うたらね、間違いになるんです。いつでも価値はひっくり返ります。相対的なんです、すべてが。絶対的なものはどこにもない、ひとつもない。「あるで！」言うてもね、一笑に付されます、「あいつだけや、あんなん言うのは。アホやな、ほっとけ」言うてね。

例えばね、小泉首相が靖国神社に公式参拝するかどうかで、大騒ぎになったでしょ。自民党総裁選の時から、公約でそない言うててね、それで内閣支持率8割9割行っとなんやから、支持した連中みな公式参拝賛成ちゅうことですわ。まっとうに考えればね。大衆は無責任やから、「いや、そんなこと知らんな」言うかも知れませんがね。

小泉さんの前の森さんね、この人が「公式参拝するで」言うてたら、どないなことになったか。もう袋だたきですわ。火を見るより明らかでしょ？ 「日本は天皇を中心とした神の国や」言うて、引きずり降ろされたようなもんやったやからね。でもね、靖国神社は天皇家の神社みたいなもんなんです。菊の御紋章ついとんやしね、明治維新の英雄だった西郷隆盛も、西南戦争で政府、つまり天皇ですわ、天皇に逆らったら祀られんのです。

つまりね、森さんも小泉さんも、ひとつも違うたこと言うてへん。まあ、当たり前ですけどね、小泉さんは森派会長なんやから。同じことを、同じように言うても、Aさんが言うたら大反対、Bさんが言うたら大賛成。何ですかこりゃ。ワヤですわ。無茶苦茶です。でもね、それが民主主義の本質なんです。正しいも間違ごうてるもない、好きか嫌いか、もしくはね、トクするかソンするかで決めてええ、判断基準はそこにしかない、好き嫌い、損得で決めよ！ いうのが、民主主義の本質なんです。

だからね、子育てや教育も、好き嫌い、損得でされとんです。小さい時から、ガリガリやらさな、言うたらワーツとそっちへ行く。「英語力は3歳までが勝負です」とか言うてね。いや、自由放任、伸び伸び子育てが一番や言われたら、またそっちへワーツ。野生児

みたいな手の付けられん子が、ぎょうさんおるでしょ。こないだ近所の人が、自分とこの子の参観に幼稚園行ったら、水遊びをしょってね、親もみーんな水かけられた言うんですわ、子どもにね。服ビショビショです。それで先生らも喜んで笑っとる。私おったらね、その子の首根っこつかまえて、ホース背中に突っ込んで、ダーッと水出したりますわ。「気持ちええやろ？」言うてね。大人なめたらあかんのです、幼稚園の子がね。恐がらさなあかん。

小中学校の教育も、フラフラしとりますわ。民主主義っちゅう根っこだけは、変わらんようですけどね。ゆとりが大事や、言うたら授業けずって子どもに好きなことさせる。学力低下しとるで、言うたら、もっと勉強させな、ってアタフタする。どないなとんですか。ほんま、こういうのを相対地獄言うんです。基準はどこにあるのか。将来金稼げるようになるか、ラクしてええ生活できるようになるか、せいぜいこんなとこでしょ。そんなんじゃね、悪い方へ悪い方へ行きますよ。

社会科

民主主義を教える授業は、まあいろいろでしょうけど、一番中心になっとんのはね、皆さんわかりますか？ 社会科です。社会科はね、民主主義を教えるために、戦後になってできた教科ですよ。

大学へ行って教員免許取るためにはね、規定の授業履修して、必要な単位を取らなあきませんわ。「教科教育法」ちゅうのも当然必修です。これらの授業受けなんたら、教員免許取れません。

ある大学の先生から聞いた話なんですけどね、その先生の研究室に来てる学生さんのことです。私も会ったことあるんですけどね、よう勉強する、ええ子ですわ。人の話もまじめに聞く。こういう子先生になったらええなあ思いましたね。

それでね、その学生さんが、「社会科教育法」いう授業取ったんですわ。さっき言いましたように必修科目です。卒業と免許のためには、単位取らなあかん。そんでまあ、その授業受講したんですがね、その社会科の先生が、私この先生は知りませんけど、結構無茶なことを言わはるらしい。まあ、無茶いうのはね、民主主義では常識になってることなんですけど、思想には、正しいも間違ってるも、いいも悪いもないんやと。こう言わはるんです。まあ、民主主義ではそうですわ。

ということはね、つまり釈尊やキリストがおっしゃること、ヒトラーや東条英機が言うこと、現代で言えば麻原彰晃が言うこと、これらはどれも、真偽、正邪がないちゅうことですわ。どれもええんやと。でもね、釈尊やキリストは聖人、ヒトラーは歴史的な戦争犯罪人ですわ。そういう点はどうなるのか言うたらね、誰が正しいか、どの思想がええかちゅうことは、各個人が判断するんやと。しっかり勉強して、賢うなって、自分で考え、自分で決められる人間にならなイカン、その判断力付けさすんが社会科の授業やと。だから、社会科で正解教えたらいかん言うんです。自分で決めさすんが大事やと、まあ先生はだいたいこないなことを講義でおっしゃったらしいですわ。

それでこの学生さん、講義聞いてそうかなあ思うてね、納得できんかった。誰が何考えても、何言うても、それが全部ええいようなことがあるんか。やっぱり正しい基準、価値判断のもと、いうのがあって、それに照らして物事を考えて、決めていかないかんのやないかなあ、こないに思うてね、授業最後のレポートに、そういう考えを正直に書いたそうですわ。先生こないにおっしゃったけど、僕にはどうも納得いきません、僕はこない考えたんです、言うてね。

そしたらね、その学生さん、授業評価不可だったんですわ。不合格ということです。こういう必修の授業はね、めった落としません。1回も講義に出て来んかったとかね、レポート出さんかったとか、出したけどホンマにメチャクチャで救いようがないとかね、まあ、そんなだったら落ちることもあるかわからん。彼には、全然そういうところがない。まじめに授業受けとったしね、レポートもきちんと出してる。それも、そんな、落ちないかんような出来の悪いレポートやないですわ。むしろええ方です。ちゃんと講義を聴き、内容を把握し消化した上で、自分の意見を論理的に述べとんです。ただひとつね、先生の意見と違うとった。この一点です。このことだけで、彼は落とされた。

落とされましたけどね、やっぱりこの授業の単位取らな、教員免許がとれん。教育学部でね、教員免許取らんかったら、意味ありませんわ。もちろん卒業にも関わる。最近はね、教員も採用が減って、これまでの「教育学部」いう看板降ろしてまう大学が増えてきた。教員養成、言うて学生集めても、教員にならん卒業生ぎょうさんおりますからね。でも、ちょっと前は違いました。

不可と優

まあとにかく、彼も仕方ないんで翌年もう1回取りましたわ、同じ授業。前の年と同じやったそうです、先生の話はね。まあそらそうでしょう。それでその年もね、彼はまじめに講義受けて、まじめに考えましたよ。しかし、どうしてもその先生の言うことはわからん。わからん言うか、納得できん。聞けば聞くほど、おかしいなあ、思えてくる。そんなんやったら、世の中無茶苦茶なりよるやないかと。それでね、その年の講義の終わりも、やっぱり成績評価はレポートでつくことになって、その子は、また、前の年と同じようなこと書いたんですわ。民主主義思想には、根本的に問題があるんやないかと。そしたらね、また落とされた。2年連続ですわ。こんなんね、常識では考えられへん。よっぽどそのレポートがアタマに来たんやろかねえ。

ほんま仕方ないんやけどね、もう彼もいい加減アホらしゅうなって、授業何ぞどうでもよくなったんやけど、何しろ卒業できへん、単位取らんことには。3度目の正直です。彼、このときにはね、4年になっとったんです。最後のチャンスですわ。

3年生や4年生なりますとね、特定の先生について、卒論研究するようになる。いわゆるゼミいうやつですわ。それでね、彼は私の知り合いの先生についたわけです。それで、彼は先生にコトの次第を相談した。2度も落とされました、言うてね。

その先生、うん、キミのレポートようかけてる思うわ、言うたんです。ワシも書け言われたら同じようなこと書くやろ、と。これはな、もうしょうないワ、不本意でもな、その先生が気に入って、喜びそうなこと書いたらと。ウソでもええんや、もうキミ十分勉強したやろ、後はもう単位が取れるかどうかいうだけのこっちゃ、とにかく通ったらええんやからな、言うて。

そして、3年目の講義ですわ。昔、「3年目の浮気」いう歌あったけどね。ホンマ、珍しいでっせ、3年も同じ講義受けさせられるなんてね。内容は、やっぱり変わりません。民主主義では、特にすぐれた思想はない、個人個人がそれを選べるのが大切や、ということです。

皆さんは、どないに思われます？ この先生の言わはること、私は無茶や思いますけど、いまの世の中では常識ですわ。みんながこう思うて、その通りに行動してます。でね、このエピソードのおかしいのは、おかしい言うたらこの学生さんに気の毒やけどね、まあ、おかしい話ですわ、それはね、この先生が、何を考えても、何を言うてもええんで、と口ではおっしゃってます。どんな意見もええんや、それが民主主義で保障された言論の自由

やと。そしたらね、この学生さんの意見もまた、ひとつの意見やないですか。この先生の考え方とは違うてますけどね、立派なひとつの意見ですわ。ええ悪いなはずです。それがどうして不可ですか。この先生が結局言わはるのはね、絶対な意見なんてないんや、みんな、どれも信用したらいかんで、ただな、こう言うてるワシの考えだけは絶対じゃ、ええかみんな、よう聞いて逆らうなよ、ワシだけが正しいんじゃ、と、こういうことですわ。口に出しては言うてませんがね、つなげて、まとめて言うたらそういうことでしょ。気にいらん奴には単位出さんのですから。言うてるとことと、しとることがメチャクチャですよ。

まあとにかくね、3回目のレポートになりました。学生さん、ゼミの先生の指導通りね、今度は講義の内容をたたえるレポートを書いた。民主主義の大切さがようわかりましたと。思想に優劣がないのも、教わった通りに思います、自分で考えて、自分で決めるというのが大切なんですね、僕も教師になったら、この大切さを子どもたちに伝えたいと思います、ま、だいたいこんなようなこと書いたんでしょ。

評価はね、優が付きましたわ。

民主主義の独裁者

この話ね、ホンマ、おもしろいんです。私も始めて聞いたときにね、話してくれた先生と二人で大笑いしました。私の知り合いの人にも何人が聞かせたんですけどね、みんな「ブーッ」てね、噴き出して大笑いですわ。「何じゃそりゃ。目茶苦茶やなあ」言うてね。

ただね、私一つだけ気になる言うか、皆さん、この本質がほんまにわかってくれはったんのかなあってね、思うことあるんです。ていうのはね、皆さん、たいていの人が、このエピソードを、この社会科の先生がよくよく変わったお人、まあ、ずいぶんわがまま言うかね、自分勝手な先生やなあと、だから、あないなむちゃくちゃしはるんやなあ、ちゅうような次元で捉えてはる思うんですね。

それもまちがいやないんです。言うたらなんですけど、わがままな先生ですわ。でもね、今の世の中で、この先生が、1人だけものすごく変わったお人が、言うたらね、そんなことないんですよ。今はね、みんなが、これはもうだいたい例外なく皆さんが、この先生みたいになっとんです。

人のこと信じられへんのですわ、心からね。誰のことも信じられない。でね、自分に都合のいい意見は採り入れる。都合悪い意見は無視ですわ。なのにね、自分のことだけは信

じてもらいたいんです。「ワシの言うことはホンマやで。みんな、信じいや」言うてね。自分のこと信じて来ん奴は、もう敵なんですわ。自分に迫ってきて、自分を脅かす敵としか思えない。だからね、排除すんです。学生やったら、単位やらん。何でワシの言うこと聞けへんのや、言うてね。

民主主義を先頭に立って説いとる人がね、一番独裁的になっとる。専制君主ですわ。どないになっとんのですかこれ？ ごっついギャグ的言うかね、ブラックユーモアですわ。でもね、これがマジの世界になっとんのです、いま。怖いんですよ。その怖さが、あんまりおわかりいただいてない。私声に出して言うんですけどね、肝心の部分は聞く耳持たん人がほとんどですわ。

やっぱり民主主義ええもんやいう、子どもの頃からの固定観念があるからね、そんな簡単にはひっくり返りません。後から「それ間違ってるで」ってね、言われても、染みついたものは落ちへん。それが垢なんですわ、心の垢。垢通してももの見たらね、きれいなモンが汚のうに見えてね、汚いモンはますます汚く見えますわ。そうなるとね、汚いモンがきれいとかないになっちゃうんです。きれいやないか、ワシ好きなんやこんなんが、言うてね、そしたらもう説得できへんでしょう。理屈が通じん世界になっちゃうと。

民主主義は自分勝手せんようにね、話し合いや多数決のルールもあるでと、こないに考える人もあるでしょう。ちゃんとしとるやないか、と。何でそれに従われへんねん言うてね、迫ってくる人おんですわ。

たとえば小さな部署の会議でね、7人で物事決めよる。ある人はAという案がいい言うてね、ある人はBがええ言うて提案する。そんでね、決着つかんと多数決やいうことになるんですわ。A、4票、B、3票、よって多数決の結果、A案の採用です言うてね、決まってしまう。何ですかこれ。7人しかおらんのにね、あくまでも話し合う努力せんで、簡単に多数決や言うてね、1票しか違わんのに決めてまう。私本当にこういう目に遭うたことあるんです。ちょっと待てやコラってね、怒ったんです。何で話し合いせえへんのやと。そしてたらね、多数決で決まったやろう、アンタ民主主義のルール知らんのか、こないに抜かす奴おってね、私怒りまくりました。少数意見尊重するんが本当の民主主義やろうと。7人しかおらんのに多数決とるようなバカなことしてね、何が民主主義やと。何で徹底して話し合いせんねん言うてね、怒りまくったんですわ。でもね、聞く耳持つ奴がおれへん。アホばっかりですわ。馬鹿馬鹿しいけん、もうほっときました。

民主主義はね、人間には理性があって、その理性にもとづく限り、必ず真理に到達する

いう考えが根本になっとなですわ。でもね、それが大間違いなんです。人間はね、理性で生きとるわけやない。理性言うたら、「アタマ」で考えたことですわ。アタマはね、心理学の言葉で言うと、認知能力とかね、言語能力です。これ確かにね、動物から人間に進化して、格段に進歩した能力です。人間独自の能力でもあります。だからね、動物にはなくて、人間にしかないこの理性に基づいておれば、決して間違いを犯すことなく、正しい方向に進んでいけるちゅうように考えられてきたんです。歴史的に見たら、1,600年代のイギリスに、ホブズという学者がおりましたけどね、この人あたりがこういう考えの創始者ですわ。「社会契約論」言いましてね、人間、ほっといたらお互いがお互いにとってオオカミになるけん、「契約」いう、つまり理性に基づいた約束事やね、それを結んでお互いが安全に暮らせるようにした言うて、それが国家の始まりやいう考え方です。ロックとかね、ルソーいう、有名な学者がこの思想を継承、発展させて、民主主義の基礎を作ったんです。

あたまところ

理性、つまりアタマですけど、その基礎にはね、ころがあるんですわ。人間はね、ころで生きとるし、考えや価値判断にも、ころがものすごい影響を及ぼしとんです。いくら理性で「こうや！」思うてもね、ころは勝手に動くんです。たとえば気にいらん上司の下で働かないかんことあるでしょ。理性ではね、ちゃんと上司たてなイカン、ニコニコ対応せなイカン、きちっと仕えて業績あげなイカンいうてね、わかっとなですわ。理性言うてもいいしね、知識言うてもええ。知識ではね、知っとなです、ちゃあんと。でもね、いざ、その人の前にたつと、勝手に顔が引きつりよる。昔どえらい怒られたようなことが勝手に思い出されてきてね、ムカムカ腹が立ってまう。最近の若い奴、辛抱すること知りよらんけんね、腹立ったら我慢せんと、すぐに辞めてしまいますわ。

まあ、こんなふうにな、理性でわかっとなでも、ころはその通りなりませんねん。誰でもね、ちょっと思い出せば、いくらでもこういう経験あるんちゃいますか。

でもね、民主主義はころを無視する制度なんです。何でも理性で割り切って考える。タテマエ優先の世界ですわ。ころいうホンネでね、ゴチャゴチャ言うとなったら、何にも決まらん、進まんちゅうことね、タテマエで何でもパッパッと割り切るんです。

これはね、アメリカやヨーロッパみたいな、キリスト教の世界によく合うた制度なんです。キリスト教ではね、「唯一絶対なる神」いうて、たった1人、絶対な神様がいてはっ

て、あらゆることは神様が決めはる。神様は絶対で、万能です。決して間違いを犯さん。絶対に正しいんです、いつでもね。

その神様の命令をね、人間はアタマで、つまり理性で受け取るんですわ。こころいらんのです。人間が勝手にね、こないしたいなあ、とかね、こんなんがええなあ、言うて思ってもね、その通りにしたらたいてい間違えますわ。もっと美味しいモン食べたいなあとかね、ええ家住みたいなあ、ええ車乗りたいなあ、あっ、ええオンナやなあ、最近ではね、ええオトコやなあ言うて、女性も積極的なんですわ。そしてね、お付き合いしたいなあ言うて仲良うなる。

いやいやまあどうでもええんですが、人間がこころのままに振る舞ったらね、ロクなことにならんと考えられるわけなんですわ。人間は誰でも、必ず間違いを犯すと。だから、神の命令する通りに行動すること、言われる通りの生き方をすることが絶対に大事や、いうことなんです。神様の言わはる通りにしとったら間違いないと。神がね、汝、人を裁くことなかれ言わはるからね、裁いたらいかんのです、許さないかん。汝の隣人を愛せよ言わはるからね、人と人とは愛し合わないかん。神の命令だからするんです。

これはね、真理なんですよ。許し合うこと、信じ合うこと、愛し合うことはね、絶対なことなんです、誰もがその通りにせないかん。欧米ではね、このキリスト教思想の力が、ものすごく絶大やった。ある意味、人々を抑圧しとったんです。そういう中からね、ご存じの方いてはると思いますけど、デカルトという哲学者が出てきた。この人はね、近代哲学の父、とか、近代的自我の確立者、いうように言われてますわ。

このデカルトが、あらゆることは疑わしい、と言うた。絶対なモンがある言うたってね、どこにそんな証拠あるんやと。証拠ないモンは信じられへんやないか言うてね、あらゆるものを疑ったんです。あれも本当かどうかわからん、これも本当かどうかわからん言うてね、どんどん疑っていった。そしたらね、最後にたった一つ、どんなに疑っても絶対にその存在を疑えんものが残った。それは何や言うたらね、「疑っている自分」ですわ。あれ変やなあ、これわからへんなあ言うて、ああじゃこうじゃ考えている自分というもの、これだけは絶対に確かな存在やと。そしてね、こう言うた、有名な言葉、「我思う、ゆえに我あり」ちゅうやつです。自分だけは絶対やと。これが近代以降、哲学、科学を根底から支えた思想です。

信仰と自我の両輪

この哲学的な思想がね、それまでの神による抑圧、束縛から人々を解放する働きをした。でもね、キリスト教への信仰心が捨て去られたわけやないんです。マックス・ウェーバーというね、有名な社会学者おられますけど、この人の書いた『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』という本ありますわ。プロテスタントいうたらキリスト教の新教ですね。旧教がカトリックです。プロテスタンティズムの倫理は、節制・努力・勤勉ですよ。この思想、教えがね、強力な自我意識と一緒に車の両輪になって、資本主義を発展させてきた、というのがマックス・ウェーバーの考えです。これが一番明らかなのは、アメリカでしょ。メイ・フラワー号という船に乗ってきてね、新天地アメリカをどんどん切り開いた人たちがおった。信仰心と民主主義思想があったんです。まあ、信じる心とね、それからガッツ、ハングリー精神ですわ。それがアメリカの国民性として、脈々と受け継がれてきとる。

ただね、やっぱり次第次第に、人々から信仰心が薄くなってきてますよ、キリスト教社会でもね。人間がエゴイスティックになってきてね、倫理とか規則、規範いうものが次第に力を失ってきとる。

たとえばね、フロイトという人おったんです。精神分析学、いうのの創始者でね、今でも精神科治療は、このフロイトの精神分析学の影響を圧倒的に受けてますわ。この人ね、ヒステリーとか神経症とかの患者さんを専門的に治療したんです。そしているんなことをするうちにね、そういう症状は、主に性的なエネルギーが、社会的な規範や道徳なんかに抑圧されているのが原因やないかと、そのひずみが精神的な、それとか身体的な症状として出てくるんやないかという考えに至った。そして面接などの手法でね、その抑圧を取り除くという治療を行った。

フロイトの考え方は、いろいろと批判もありましたがね、基本的には世界中で受け入れられました。そしてね、性の解放運動なんか非常に大々的に行われるようになった。自由恋愛、フリーセックス、そういうものをね、抑圧するから神経症になると。あらゆる抑圧を取り払ったときに、人間は精神的な健康を取り戻すというようなね、ちょっと極端な書き方かも知れないけど、まあ、そういうことなんです。こういう考え方が常識になる。

私に言わしたらね、フリーセックスが広まって人間が精神的に健康になるなんてね、馬鹿馬鹿しい考えですよ、情報公害もええとこです。人間が墮落するだけですわ。でもね、これが長年たつうちに定着してるでしょ、社会に。いま、エイズが大流行してますわ、世

界中にね。感染爆発が止まん。薬害エイズもありましたけどね、蔓延の大多数は、ふしだらな性行為が原因です。これみんながやめただけでね、エイズは激減します。ほとんどゼロになりますよ。みんなわかつとんです、そのことね。わかつとつても止まらない、やめられない。「やめられない止まらない、かっぱえびせん」、ですわ。それとかね、「わーかっちゃいるけどやめられねえ」です、スーダラ節ね。スイスイスーダラダッタ、スラスラススイスイ。

若者にね、エイズ教育する。何て言って教えるかご存じですか？「セックスするときは、必ずコンドームを使いましょう」言うて教えるんですわ。どう思われます、これ。私無茶苦茶や思いますよ。そうじゃないでしょう。「ふしだらな性行為を決してしないように」言うて聞かせないイカンのと違いますか。それ以外にないんですよ、本当は。でも、それを言わない、教えない。なくなるわけありませんわ、いつまでたってもね。

エイズの治療薬もね、開発されてます。でも、安うに作らない。儲からないからですわ。高いまんまだとね、アフリカとかの途上国が買えない、もっと安うにしてくれ言うて頼んでますわ。でもならん。アフリカ怒ってます、人権問題や言うてね。でもね、どうして乱交やめられんのですか、ふしだらな性行為を。そういうことしたらいかん、人の道に外れとんのやで、言うてね、警鐘ならしとるんですわ、エイズはね。そういう反省なしでね、コンドーム使えとか、薬を寄せ言うのは、本末転倒ですよ。

でもね、民主主義の原理原則で考えたら、誰にでもね、いつでも、どこでも、誰とでも、いつまでも、セックス楽しむ権利がね、自由に、平等にあるんです。こんな無茶しとんのは人間だけです、言うときますけど。1年365日発情期ですわ。それで、民主主義のどこを叩いても、ふしだらなことしたらイカンという原理原則は出てこん。

宗教は、ちゃんとね、禁じてます、そういうことはイカン言うてね、厳しく教えてる。キリスト教では「汝姦淫するなかれ」言うでしょ。仏教ではね、不邪淫戒という戒律がありますわ。いま、誰が真面目にこんな教え守りますか。世の中どんどん悪くなりますよ。自由と権利ば一っかり主張してね。

こんなふうに見ますとね、民主主義社会の中で、理性、アタマ、タテマエ、が揺らいできて、こころ、ホンネの部分が噴き出して来とる、ちゅうことがわかる。そしてね、みんながエゴイスティックになって、欲望の赴くままに、好き勝手してます。で、滅茶苦茶しよっても、民主主義では金と力があつたら絶対に勝ちですから、多数決や何かで強引に物事決めてまう。それが民主主義のルールやろ、言うてね。ええも悪いも、正しいも間違ご

うてるもないんです。強い者だけが勝つんですわ。理性のコントロールなんてすっとなでしもうてね、みんながここに振り回されてます。とくに欲望にね。自分のところがぜんぜん抑えられへん。信仰心がだんだん失われてきて、人々の他己が弱くなってる。これが世界的な傾向になってます。

和の精神

日本はね、もともとどうやったか。欧米には唯一絶対な神様がいて、その命令の下に理性的な社会を作ってきたわけですけどね。それが日本ではどうか、ということです。

日本にはね、唯一絶対な神様というのはおらんかった。揺るぎない規範がね、ガッと人々を束ねていたんやなくて、人と人がね、こころでつながっていたんです。それはね、「和」の精神ですわ。「和を以て貴しと為す」です。聖徳太子が言わはったことばですね。

和というのはですね、訓読みにすると「なごやか」とか「やわらぐ」とかいうでしょ。それからね、仲良うする、仲良うなるという意味もありますわ。辞書引いてみますとね、「人と人の声が合う」とも書いてあります。「ご唱和ください」言いますわね、乾杯の時なんか。

社会の基本は和だと。これはね、こころとこころを通じ合わせて、お互いに仲良うしましょうちゅうことですわ。相手のこと思いやってね、あなたが嬉しいと私も嬉しい、あなたが悲しいと私も悲しい言うてね、通じ合っ、響き合う、これが和の精神です。

絶対な規範がね、タテマエとしてあって、「仲良うせえ！」とかね、「人を裁くな！」とか言うて、人々をガッと抑える、束ねる、これが欧米的キリスト教社会でしたけど。これつまりね、神様がいてはって、それを媒介にして、つまり神様を中心にして、人と人がつながりあっとんです。神様おらへんかったらみんなバラバラですわ。「人 - 神 - 人」いうようにね、関係ができとる。だからね、欧米は個人主義なんです。個人個人が自立して、独立してるちゅうのはね、てんでんばらばらに好き勝手しよる言うんやなくて、その自立した個人を、神が束ねて、それで社会が成り立っとんです。理性でつながりあった、タテマエ社会ですわ。

日本はね、こうじゃないんです。人と人がね、こころによって、直接に、ダイレクトに結びついてきた。「困ったときはお互い様」とかね、「相身互い」「以心伝心」とか言うてね、わかりあい、譲り合いが基本ですよ。「自分勝手言うたら世間様が迷惑する」と

かね、「お互い様やないか、無理言うなや」とかね、そんなん言うて、ちょっとずつ譲歩して、うまくやってきたんですわ。「こう決まっとんから、こうなんや！」ってね、バシッとタテマエがあったんやない。まあ、ホンネで付き合うてね、ホンネで語り合い、分かり合う、ホンネ社会ですわ。「人様のこと考えたら、そんなわがまま言われへんで」いう感じでね。「そやなあ、わかるわアンタの気持ち」言うて、仲良うにしてきた。

風土

これやっぱりね、昔からその人々が暮らしてきた風土、それがね、精神性、国民性に、ものすごい影響しとんんですわ。和辻哲郎という人の書いた『風土』ね、有名な本ありますけど、そういうことですよ、やっぱり書かれているのはね。

キリスト教の生まれた地方ね、イスラエルとか、中東、昔やったら小アジアとか言われたあたりも入るんやろ思いますけど、砂漠地帯ですわ、荒涼とした土地やないですか。岩や石がゴロゴロしてね。風がヒューヒューいうて吹くようなところでしょ。そういうところで、人々はね、主に遊牧で生計たててます。家畜つれてね、テント張って、移動生活です、草と水求めてね。大所帯になったらたぶん移動もしんどいやろから、だいたい家族単位くらいでね、ごくごく小さな集団で移動しとったんやないですか。

そういう中で暮らしていると、自分の身内以外の人間に会うことは、めったありませんわ。たまにね、広い砂漠の真ん中でパッと出会う。そうするとね、一番先に大事になるんは、「こいつは、果たして敵か味方か？」ということですよ。下手すると殺されて、財産みな巻き上げられるやわからん。緊張感あった思いますよ。

穏便に済まそう思うたらね、まず、お互いが「自分は何のなにがしや」ということをはっきりさせんといかん。アイデンティティの確立ということですね。アイデンティティ言うて、時々出てくる言葉ですけど、「自分は自分や」という思いです。「ワシはワシや。こういう名前でこういう身分で、こういう家族もつとる。オマエだれや？」言うてね、お互いがお互いのことをはっきりさせる必要があります。

それからね、掟、ルールが必要になりますわ、「お互いに手出しせん」、いうね。これね、お互い仲良うしましょうや、というような、まあ言うたらナマヤサシイもんちゃいますねん。もっとドライな、カサカサしたルールです。「やるんやったらやってもええんで。でもな、やめといたらどや。オマエもその方がええやろし、ワシもな、面倒起こしたアな

いねん」いう感じです。

たとえばね、中東地方の遊牧民社会には、こんな話があった言われてます。それはね、その人たち、やっぱりテント生活してる。時々そこにね、敵対する部族の旅人が迷い込んでくるそうです。下手に野宿なんかしよったら山賊やら追いはぎやら、何が出るやわからんでしょ。日が暮れたらね、砂漠は気温が急激に下がるし、もう進退窮まって、どうぞ一夜の宿をお恵みください、言うてテントを訪ねてくる。そしたらね、宿主はみんなプライド高い人やから、泊めてやるんですわ、敵であってもね。よっしゃ、客人、ワシのテントに入ったらもう安心や、この中ならな、何があっても大丈夫や、ゆっくりくつろいでくれ、言うてね、丁重にもてなす。ヒツジつぶしてご馳走こさえたりなんかするんやないですか。そういう度量の広いところを感じさせるんです。そしてね、次の朝ですわ、旅人がお世話になりました言うてね、テントから一歩出たとたん、背後からスツと近づいて、一刀両断、バツサリやるちゅうんです。ワシは確かに請け負った、ワシのテントの中にいる限り、安全は保証すると。そこから出たらね、もう関係ありませんわ、何が起ころうがね、何されようが知ったこっちゃないんです。殺られるほうがトロくさいんやと。

社会的な掟、社会契約というのはね、こういうもんなんです。相手の立場とか、気持ちとか、そんなんは関係ない。純粹にルールだけが存在して、それにのっとるだけですわ。そこにね、余計なノイズが入る余地はない。タテマエだけが、厳然と存在しとんです。中東の遊牧民がね、現代でもこうかは知りませんよ、でもそういうこと、そういう時期はあったそうです。

日本はね、ぜんぜん違いました、こういう風土とね。砂漠地帯じゃなくて、温帯モンスーン、季節風ですね、風が雨を運んできて、いつも湿度が高い。植物がよう育ちます、うっそうとした森になりますわ。そしてね、国土が狭いんです。しかも山がちでね、斜面を切り開いて、段々の田んぼ作って、そこに貼り付くように、ぎょうさん人が暮らしてきた。一度田んぼ作ったらね、もう移動しません。何代にも渡ってね、そこを守って、育てて、生きていく。定住生活です。そうになるとね、集落、地域社会全体がもう身内、家族同然ですわ。何にも言わんでもね、いちいちアイデンティティの表明せんでも、みんなが、あ、アイツはどこそこの誰それや、オヤジオフクロこんなんや、どこそこからこないな嫁もろたんや、子オはこんなんやなあ、出来悪いねんこいつが、いやいや、どうでもええんですが、そんなふうにな、お互いにみーんなわかっとなる。知り合うとる。

そしてね、農業は共同作業です。個人プレーやない。みんなで力を合わせて、同じよう

に働かんと能率悪い。こういう社会でね、何が一番大切になるか言うたら、みんなが仲良くすることですわ。いちいち争いごとしよったら、田んぼの仕事できへん、みーんな飢えてしまいます。少々のごとは我慢してね、お互い譲り合って、自己主張ひかえて、ものごとはみんながええように決める。1人や2人、うるさい奴が「これがええんやないのか」言うて強引にしよう思うてもね、「いやいやそなん言うたらな、アンタはええか知らんけど、みんなが迷惑するやろ。そんな無茶言うたらイカンのやないか」いうて、話を丸く収める。なかなか決まらんかったらね、長老の出番になって、「それはなあ、こうしたらどや」言うて仲裁する。みんなも長老には権威を感じてね、そやなあ言うてその裁定にしたごうたんですわ。

あくまでもね、人と人がコミュニケーションして、こころを通じ合わせて、お互いが分かり合った上で社会を運営していく。こういう形がね、縄文時代くらいから、連綿と続いて、聖徳太子の時代になって、それが「和」や、言うて社会の、政治の基本として明らかにされた。そしてそのことがまた、日本人のこころの支えとしてね、ずーっと受け継がれてきたんです。いま、21世紀になってもね、この言葉知らん日本人はおれへんでしょ。その通りするかどうかは別ですけど。

「夫婦相和シ」

「和」ちゅう言葉はね、もう日本では死語ですわ、ほとんどね。戦後になって、徹底的に嫌われた。軍国主義を支えて、戦争を遂行させるもになった思想ちゅうことですな。教育勅語にもあったでしょ、「夫婦相和シ」言うてね、夫婦でも誰でも、みんな仲良くすることが大事や言うて、小学生になったらとにかく丸暗記させられた。

戦後になったらね、そういうのがよくなかったんやいうことになった。自主性がない、自立心がない、独立心がない。誰かが、まあ軍部、天皇ですね、そういう人が「こうや！」「こうせえ！」言うたら、自分のアタマで考え、判断することなしに「そうやそうや！」言うて、みんなでワースと一つの方向に突っ走る、これは民主主義が教えられていなかったからやと。「和の精神」言うて、みんなと同じことしか教えんし、させん。出る杭は打たれる、長いものには巻かれる、郷に入れば郷に従え、こんな事ばかり言うとなつたのがケシカラン。

新しい民主国家日本では、「個の確立」が大事やと。これができん限り、日本はいつま

でたってもアカン、いつ戦前軍国主義、国粹主義に逆戻りするやわからん、いうことでね、和の精神やらいうもんは徹底的に排除された。何千年にも渡って日本人固有の精神基盤やった思想が、ほとんど一瞬にして捨てられたんですわ。そしてね、捨てたはいいけど、人々の新しい精神的バックボーンになるものは、何にもなかった。心のよりどころ、支え、つまりは信じるものですわ、信仰です。それが、何にもなくなってしもうた。あるのは自分だけです。民主主義でね、個を確立して、何でも自分で判断し、自分で決めえ言われる。何にも信じるな、信じられるのは自分だけやと。そのためによう勉強して、賢うなりなさいちゅうことですわ。それから、日本中廃墟になって、今日の食べ物にも事欠くありさまやったから、とにかく豊かになることやと。人のことなんてね、言うたり考えたりしてる場合やなかったんです。そしてそれが50年以上続いてきたんですわ。世代が交代するにつれてね、そういう風潮はますます色濃くなります。親が、自分が第一やで、言うて子を教育するんですからね、その子はどうしたって親以上にエゴイスティックになりますわ。その子がまた親になるでしょ。エゴイズムはますます濃縮されていきます。その結果ね、今のような社会になっとんですよ。

エゴイスティックな小心者

でもね、人間はエゴイズムだけでは生きていかれへんのです。そういうふうにはできとんのですわ、精神はね。人間に他己があるというのは、人を求めな、そして人と仲良うせな、人間は生きていかれへんということです。

でもね、民主主義では、人と仲良うすることなんか後回しやで、言うんです。そないト口くさいこと言うてるからダメなんやと。たとえばね、一番近い例で言えば、中国や韓国との外交摩擦があったでしょ、教科書問題とかね、靖国神社参拝問題とかで。あのときね、新聞なんか読んでると、大学教授やら評論家やらが出てきて、ごっつい意見載せてますわ。「外交は友好が目的か」言うてね。国際政治の舞台は仲良しクラブやないんや、お手手つないで友好友好、そなん言うて、そら腰抜けのするこっちゃろ、しっかり国益つかんでこいとね。中国や韓国かてね、本気やないんやと。マジで日本との関係が悪化したらね、連中やって困るんや、どうせ脅しやあんなモン、日本もピシッと言うたりと。それでちいっとばかり関係冷え込んでもね、すぐすり寄ってくるで、見ててみいや、こないですわ。これ、危ない思いますよ。

大きなレベルの話やったらこうですけどね、日常生活でもこれの縮小版ですわ。とにかく見え顔見せたらつけ上がるけん、きびしゅうにしたらないかん、ちゅう感じでしょ。人は言うてることと思うてるのが違うんや、やたら信じたらいかんで、それが大人や、いような調子ですわ。仲良うにするんが大事思うけど、言うたらね、説教されかねませんわ、甘いでそら、言われてね。

そのくせね、自分は人から仲良うにしてもらわんと耐えられんです。不安で不安でたまらん。ワシに敵意もつとんのやないか、ワシを陥れたる思うて画策しとんのやないかってね、疑心暗鬼にさいなまれる。これね、おのれに執着しとんですわ。何でも「ワシがワシが」言うてね。ワシの人生、ワシの財産、ワシのオンナ、ワシの子ども、ワシの子孫、これが大事や、すべてやと。これが傷つくことは我慢ならん。みんな、ワシのことは大事にせえ言うんです。自分は人様のこと配慮せんのに、人からは配慮してもらいたがる。前ご紹介しましたね、大学の先生、社会科の。この人典型的にそうなるでしょ。みんな、好きなこと言うてええんで、何考えてもええ、でもな、ワシにだけは逆らうなよと。ワシに逆ろうた奴には単位やらんで、と、こうでしょ。

エゴイスティックで傲慢なのね、実はビクビクしとんです、傷つくのが怖い。自分に執着すればするほどそうなりますわ。不安に襲われる。そういう不安から逃れるにはね、おのれにとらわれるのはやめて、執着捨ててね、人様にこころ開くしかないんです。現代人にはこれができない。こういう話するとね、「そやなあ」言うて聞いてくれはりますけど、いざ言うたら実行できへんです。

たまらん、もっとくれ！

でもね、人間、不安を抱えたままでは、なかなかおちついて生活できん。何とかそれを解消しようとしてます。自己に閉じてるとね、人様との関係で安定を得ること出来ませんでしょ。そうになったら、自己の欲望を追求するしか他にないんです。欲望を満足させて、それで安心を得ようとする。人間の欲望にはね、3つあります。それは、食欲・性欲・優越欲ですわ。

食欲にはね、物欲、金銭欲も入ります。それから性欲ですが、これには生命延長欲、長生き欲ですね、そういうのとか、自分の子孫が末永く繁栄してもらいたいという欲も入ります。食欲と性欲は動物にもありますけどね、優越欲というのは人間に特有ですわ。人より

金稼ぎたい、ええ家住みたい、ええ車乗りたい、ええ会社勤めてぎょうさん給料もろうてええ地位につきたい。子どもにも、ええ学校行かせてええ企業に就職さす。人より上行くということが大事なんです。そうやって人を見下すと、おのれの心が安らく。でもね、こんな虚しいんですよ。いくら欲望満足させてもね、満足したな、思うた次の瞬間から、もう飢え渴きが始まっとんのです。「もうこれでええ、いっぱいや」いうことはね、絶対にありません、欲望追求する限り。暑いさなかにね、ビール1杯グツと飲んだら、そらうまいですわ。ついもう1杯、もう1杯となるでしょ。欲望満足さすのはね、これと同じなんです。もうええちゅうことないし、真の満足は得られない、その場だけ、刹那ですわ。そしてね、ついついぜいたくになるでしょ。ビールやったらね、もっとうまいのあるんちゃうか言うて、ついいろいろと試したくなる。もっともね、うまいものを、うまいなあ言うて味わうのは、悪いことやないんですよ。ただ、それに執着しだしたらイカン。「どうしてもこうでなけりゃ我慢できん」とか言うてね、とらわれが出てきだしたらいけませんわ。

いまね、日本中、世界中がすごいでしょ、欲望満足さすのにね、奔走してる。物欲、性欲はね、例を挙げだしたらきりがなし。エイズがあつたって関係ありませんわ。そして、グローバリズム、市場原理至上主義でしょ。この流れはね、ちっとやそっとでは変わりようがありませんわ。グローバリゼーションに対抗する力もありますけどね、たとえばサミットでデモ隊が大騒ぎして、ジェノバでしたか、あそこであつたときには初めて死者が出ました。でもね、そういう反対勢力も、言うたら怒る人いるんでしょうけど、同じ穴のムジナですわ。今のグローバリズムは強者の論理やと。弱者切り捨て、そして貧富の差がどんどん開く、そんなん許せんちゅうわけでしょ。つまりね、ワシらにもええ目見させんかい、こない言うてるんですよ。オマエらばかり金ぎょうさん稼いでゼイタクしくさって腹立つな、ワシらにも分け前寄せ言うてるんです。原理はね、何にも変わっていないんですよ。そんなモン同士が争ってね、何かええ方向に進むか言うたら、まあ、万に一つもそないなことはないでしょうね。

そしてね、優越欲求もすごいですわ。これね、まあいろいろと例ありますが、一つ目立つのはスポーツの大隆盛です。オリンピックとかね、ワールドカップ、世界選手権なんかで、もう国同士の争いがすごいでしょ。国民もみんな熱狂してる。このときばかりはね、日本でも、日の丸君が代にあんまり非難の声が挙がりませんわ。

この熱狂する心理はね、どういうことか言うたら、スポーツヒーローにね、自分を重ね

合わせてるんですわ。子ども見よったらよく分かるでしょ。イチローの打撃フォームね、あの、バッターボックス入ったときにバットをクルッと回してね、ピタッと止めたあとに右腕のソデをちょっとつまんで引っ張る。あの格好がね、アメリカの野球少年の間で大流行ですわ。「このフォームにしてから調子いいんだ」言うてね、嬉々としてインタビューに答えてる。まあ、子どもは可愛いですよ。本当になりきってね、あこがれの選手と同じになって、頑張ろうとする。

ヒーロー願望

いまはほとんどの大人も、ヒーローを求めてね、自分をそこに投影する。そしてそのヒーローが、憎い相手をコテンパンにやっつけてまうのを見てね、溜飲下げるわけです。優越欲求を代わりに満たしてもらっとんです。

こういうのはね、結局世の中を悪い方に導いてますわ。人々を墮落させてます。墮落の文化ですよ。国によってはね、オリンピックでメダルとって帰ってきた選手は破格の待遇で、報奨金は出るは、家は建ててもらえるは、あと何にもしなくても一生食うていけます。でもね、そんなことがどれだけ人間をダメにしてるか、社会を悪うしてるか。私に言わしたらね、国際試合でメダルとって帰って来るような選手は、罰金刑です。銅百万円、銀三百万円、金は一千万円の罰金。日本の競技レベルがた落ちですな。でもね、スポーツなんかが強くなるより、人間性がまともな人が世の中に多くなることの方が、ずっと大事なことじゃないですか。

こないなこと言いますとね、スポーツ好きの方は怒りはるでしょう。まあ特別スポーツが好きやなくてもね、だいたい世の中の99.99%の方は、何言うてんの中塚いう人は、ちゅうて一笑に付すか、最初っから聞く耳持たずで無視なさる。まあ、無理もないんです。でもね、ちょっと冷静になって考え直していただいて、私の言うことにも心開いて耳を傾けてもらえればね、私がそんなに荒唐無稽な無茶苦茶言うてるんじゃないと、お分かりいただけたらと思うんですよ。

だいたいね、近代オリンピック創始者のクーベルタン男爵、この人なんて言いましたか。「参加することに意義がある」いうてね、この言葉知らん人、いないくらいでしょ？ 子どもやって知ってますわ。でもね、現代になって、この言葉のどこに真実味があるんです？「メダル取ることに意義がある」、ほとんどこう言い換えた方がええやないですか。

まあ別にね、一生懸命がんばった人が、ご褒美にメダルもろうても、ええ言うたらええんです。そないな人に罰金言うたら、そらちょっとあんまりやないか、と、こうなるんやったらね、お布施言うたらどないですか、「こないなもんいただいて恐縮です。お布施させていただきますわ」言うてね、お金払わせてもらう。

だいたい好きな運動ばかりさせてもらってね、何も生産的なことせん。「夢売の商売」言うたら、まあ言えんこともないんでしょうが、非生産的であることは間違いないですわ。それで、税金やら、助成金やら、企業からの協賛金やら、何億、何十億ちゅう莫大なお金使ってスポーツに打ち込ませてもらっとんでしょ。その上メダルまで取らせてもろうてね、ええ思いさせてもろうて、申し訳ないと。そない誉めてもろうたり、チャホヤしてもらうというのはお門違いやと。私らそなん違うんです、もったいないことや。そしたらせめて、世の中にお布施させてください、私らだけええ思いさせてもろうたらもったいない、どうぞこのお金、みなさんのお役に立ててください、言うてね、なにがしか、いや、たくさん払うてもええんですよ、お布施をする。こないなことになったらね、世の中も少しはよくなると思いますわ。それがいまは正反対でしょ。アマチュアやなくてプロスポーツの話やけど、有名な人は、法外な収入得て、贅沢三昧して暮らしとる。脱税する奴までおる。間違ってますよ。

ノーベル賞廃止

金メダルの話出ましたからね、ついでにお話ししますけど、ノーベル賞いうのがあるでしょ。スポーツやったらね、オリンピックや世界選手権で金メダル取るんが最高の荣誉、学問の世界ではね、やっぱりなんちゅうてもノーベル賞が最高です。日本人が取ろうもんならね、それこそ大騒ぎで、まあニュースの賞味期間が短くなっただいのようなご時世でもね、ノーベル賞の話題なら2ヶ月くらいもつんやないですか。とにかく、世界最高の権威がある学術的な賞やちゅうことは間違いない。

でも私に言わせれば、ノーベル賞が世の中よくしとんのか、いうことなんです。反対ですわ。あないな賞があるおかげで、世の中どんどん悪くなりよる。まあ、いまの常識にはちいと、いかだいが反した意見なんでね、「またまた、あんなこと言うて」って、マユツバで聞く人もおいででしょうけど。

まあ確かにね、ノーベル賞取ったような発見や業績が、一見すると人様のお役に立った

ようなことはありますよ。例えば、第1回のノーベル物理学賞、これはご存じの方多いと思いますけど、あのX線発見したレントゲンが受賞してる。レントゲン写真撮れるようになったおかげでね、それまでとうてい治せなかったような、それから治るまでにどれくらい手間や時間がかかったような病気やらケガやらが、的確に、楽に治せるようになりました。多くの方が苦痛から救われた。これ事実です。

それから、そうやねえ、近いところでは、この間白川英樹さんがノーベル化学賞とりはった。新聞なんか読んでみると、白川さんの受賞理由は、簡単に言うたら、電気を通すプラスチックを開発した、ちゅうことです。プラスチックが電気を通すと、どないなええことがあるんか。いろいろあるみたいですけど、例えば身近なこと言うと、銀行や郵便局行って、お金預けたり引き出したりするのに、機械でやることあるでしょ、窓口行かん。あのとき、いちいちボタン押ししたりせんでも、小さいテレビみたいのがあって、その画面をピピッとさわるだけで、そこに映っとるマンガのお姉さんがお辞儀したりして、用事が済むやないですか。あれは要するに、プラスチック製の画面が電気通す仕組みになってるから、あんなふうにできるわけです。まあ、機械に慣れとらん人にとっては、ボタンやキーボード押すよりもわかりやすくて、便利ええですね。タッチパネルいうやつですわ。

こういう、科学や文明の進歩に貢献した研究やら学問やらに敬意を表して、賞を与えるんやと。そしてみんなで榮譽をたたえて、感謝しましようちゅうんやね。しかしねえ、ノーベル賞モノの発見によって世の中がどんどん快適になって、便利になって、その結果、世の中がよくなっとんのか。

世の中が本当によくなるにはね、暮らしている人々の人間性が高まらんことにはどうにもなりませんよ。誰もがええ人になって、みんなの人格が高潔にならなければね、本当にええ世の中、ええ社会が来たとは言えん。生活がどれだけ便利になったって、それで人間としての幸せが実現されたちゅうようなことではないんですよ。

ノーベル賞があって、いわゆる「文明」と言われるものが進歩することで、世の中が本当によなってるのか。これ、反対のこともあるんですよ。いらんこと、余計なもんが進んでしもうたおかげでね、かえって世の中が悪うなり、人々が不幸になるちゅうようなことが、実際に起こり得る。

これはね、ちょっと冷静になって考えてみたらわかることなんです。たとえば一番象徴的な例がね、韓国の金大中大統領に、ノーベル平和賞やったことですわ。朝鮮戦争以来ね、半島が南北に分裂して、北朝鮮は国際的に孤立しました。国土全体に飢饉が広がったりね、

それなのに政府の役人は贅沢三昧で暮らしとるとか、テポドンというミサイル、太平洋まで飛ばしよったとか、日本人拉致疑惑の問題とか、まあとにかくいろんなことがある、北朝鮮めぐっては。アメリカはね、イラクと並んで、北朝鮮はテロ支援国家や、ならず者国家や言うて、名指しで批判する。

そういう中で、南側の韓国は、太陽政策やいうことで、冷たく敵対するんやなくて、できるだけ友好的な姿勢で、じっくりじっくり北側と対話する方針を貫いてきた。そのことが功を奏したのかどうかね、ようわかりませんが、ついこの前、歴史的な南北首脳会談が成立したと。半島統一への一步前進で、それは、即、世界平和に直結する大成果や、いうことで、その功績を以て金大中大統領は、ノーベル平和賞を授与されたちゅうわけです。

でもね、金大中氏がもろうて、なんで金正日氏はもらわれへんのですか。南北首脳会談は、対等・同等な立場で話し合われたんやないんですか。片方だけがノーベル賞で、そりゃ誰がどう考えても不公平な話やないですか。

結局、欧米を中心とした、西側資本主義社会のイデオロギーが、もろに出とる。あの、手エつけられんアカンタレの北朝鮮相手にして、ようがんばった。うまいこと粘って、よう誘い出したな、案の定つられて出てきよった。もう一押しな、頑張るって言うこと聞かせえよ、無茶言わんように、よう手なずけてな。褒美にノーベル賞やるけん、もうひと踏ん張りや、頼むで。つまりはこういうことですよ。

そら、怒りますよ、北朝鮮は。北朝鮮やなくなつて、誰かてそないなエコひいきされたら怒ると違いますか、なめたらあかんぜよ、言うてね。ワシがせっかく会うてやったのに、何やその態度は。バカにするのもええ加減にせえ、ちゅうのが金正日氏の言い分やないんですか、たぶん。その証拠に、ノーベル平和賞からこっち、南北関係一気に冷え込んでもうて、対話ぜんぜん進まんようになってしもうた。アホなことしたもんですよ、ノーベル賞の審査委員会もね。平和賞どころやない、せっかくの平和、ぶち壊しとるやないですか。

そんでしばらくたってね、今度は北朝鮮が韓国に対して、「どないや、そろそろ話し合い再開せえへんか」言うて連絡取る。そしたら韓国の方が疑心暗鬼みたいになってしもうてね、どうも対応見るとそんな感じがしますよ。「今頃になってあんなん言うてきて、一体どんな魂胆や。こりゃ、下手に乗ったらあかんでえ」いう態度ですよ。もうごっついぎくしゃくした関係になってしもうた。信頼も友好も、平和も、そんなものどっくにすっ飛んでます。どう出たらこっちの利益になるかだけを考えて、お互いに腹のさぐり合いし

てる。

お金はええことに使いましょう

結局はね、科学者やら政治家やら、小説家やらの、名誉欲満足させて、エゴイスティックにさせとるだけですよ、ノーベル賞なんて。本当のこと言えば、世の中のためになんか、役立っとらんのです。それどころかますます悪い方へ導いて、まさに百害あって一利なしですわ。目先の便利さとかね、利益にとらわれないで、大きな目に見たら、そういうことがわかる。1日も早く廃止すべきですよ、あんなアホなもんは。実は世界中に害悪流しとるんです。

ちいとアタマの出来のええような人が、まあ、たかだかアタマがええだけですよ、物覚えが良かったりね、口がうまかったり、手先が器用だったりするだけで、人間的に優れとるわけでは、決してない、まあ、そんなような人たちが、みーんなノーベル賞欲しがって、しのぎ削っとるでしょ。名誉欲、権力欲、出世欲、財産欲むき出しで。

そんな中の、ごく一握りの人が運良く賞取れたら、何か世の中が良くなるんか。いままで毎年毎年、誰かしらがノーベル何やら賞取って、その結果具体的に、世の中がマシになっとんのか。全然なっていないですよ。便利になったことはあってもね、人間が幸せになったり、みんなの人柄がようになった、ということはない。

実名出して悪いけど、大江健三郎さんが文学賞取って、何かええことありましたか。せいぜいファンが喜んだくらいやないですか。それと、「ワシらかて偉いんやで」いうように、日本人のエゴが肥大しただけですわ。世の中の大多数の人の幸せには、ほとんど意味がない。

反対に悪うなったことはどうか。たまたま朝鮮半島の例出しましたけど、ほかにも原爆が作られたりとかね、ノーベル自身にしたってダイナマイト作って、そのためにいったい何人の人が死んだか。レントゲンの発明やってね、深く考えてみたら、本当はええ事ばかりやないんですよ。もういちいち指摘しませんけど。

結局、一部の人間の欲望満足させて、その人たちが世の中悪うする手助けしよるだけの意味しかない。だから、今すぐにでもなくすべきなんです。賞がなくなれば、欲やエゴをギラギラさせる奴がいなくなる分、ちょっとは世の中がきれいになるんやないですか。ノーベル財団のお金が余ってしょうないんやったらね、もうちょっとマシな使い道、いくら

もありますよ。私に相談していただければ知恵出します。ま、冗談ですけど。

子どもが欲しい！

こんなふうにして、欲望の追求にはきりがありませんわ。どれだけ欲望を思い通りに満足させられるかが、人生の価値、生きる目的みたいになってます。科学技術が発展してね、一昔前では考えられないようなことまで可能になりましたね。一番目立つのは、医療分野の発展でしょう。遺伝子治療とかね、臓器移植とか、そんなに珍しいニュースではなくなってます。いちいちのケースについてはコメントしませんがね、やっぱり人間の体をおもちゃにしてる部分がありますよ。

生殖医療もすごいでしょ。あんなんしてね、幸せとは何か、生きるとか何かいうことがもうめちゃくちゃになってしもうとる。自己への執着以外の何もんでもないんですわ。それがまったくわかってない。赤ん坊もね、モノ扱いです。そして商売の道具にされとる。

「誰にでも子に恵まれる権利がある」言うてね、ここでも権利、権利ですわ。

「選択の自由」いうことがね、すごく言われてます。何でも好きなように選べるんやと。子をもつのもね、どないかしてもてるんやったら、方法を好きなように選んで、もつようにしたらええやないかということです。閉経後だろうが、高齢だろうが関係ない。男同士、女同士のカップルでもね、養子縁組じゃなくて、自分の腹を痛めた子が産めるんやということになってます。まあ、男は自分じゃ産めませんな。自分の精子使うて、代理母に産んでもらうんですかね。

じゃあね、生まれてくる子に、自分の人生選択できるのかということ、どないになりますか。顕微鏡の下でね、針につつかれて人工授精で生まれたんやと。オマエはそないにして授かったんやで、科学の進歩いうんはありがたいなあ言うてね、親は子どもに話して聞かせるかもわからん。怒る子どもいてるかも知れんですね、冗談やないと。誰がそなんしてくれ言うて頼んだんや、オレ別に生まれて来たくなかったんやで、それを勝手なことしくさって、どないしてくれるねん言うて怒る。

生まれはね、絶対に自分で選べない、自分自身ではね。一方では平和で豊かな国の、そのまた大富豪のうちに生まれる。一方では内戦、飢餓が続く最貧国のね、難民キャンプの中で、父親が誰やらわからんままに生まれると。ぜんぜん選べんでしょ、生まれてくる本人には。選択の自由なんてどこにもない。人間生まれながらにして自由で平等なんてね、

大ウソですよ。これ以上ない言うくらい不自由で不平等です。

血縁、地縁

いつの時代、どんな国のどんな土地に、どんな親のもとに生まれるか、これは地縁とか血縁言いますね、こういうのは、自分では絶対に選べません、自由にはね。そして人生で出会うさまざまなこと、学校とか就職とか結婚とか出産とかね、そういうのも、自分で選択してる、と思えるもの、ちゅうかね、思い込みたいものも中にはあるや知れんけれども、実はすべてが与えられたもんです。釈尊の手のひらで孫悟空が遊ばされたと、あれが真実です。すべて仏のおはからい、自分ではからって何かしたいようなことはね、いっこもないんです。

まあこういうのはね、体験でしかわからない。いくら言うてみてもね、こうして文字にして読んでもらっても、それだけではほとんどおわかりいただけない。体験するということね、それから、私の言うてることが真実なんや、本当のことなんやってね、こころから信じてもらわな伝わりません。またこのね、信じるということが、いまの世の中一番難しいことになってるでしょ、民主主義が普及徹底したおかげでね。

しかし、それにしてもね、たとえば社会学者や精神医学者なんかで、この選択の自由をやたらに強調しはる人がいる。新聞なんかによよう出てきますわ。まあ誰や言うたらね、ここでいちいちお名前あげませんけれども、新聞や本、ちょっとよよう読んでる人なら「ああ、あの人のことやな」いうてピンと来るかも知れませんか。

そういうこと言わはる人は、1人や2人じゃないですよ。そういう意見まとめてみますとね、もう家族なんてアテにするないことがあります。父母がいて子どもがいるちゅうよような家族システムは人間には合わんのだと。そんなものに縛られているから、民主主義が目指す「個の確立」がいつまでたってもできないし、いろいろと精神的な病の原因にもなる言うんですな。そんな束縛からは自由になったらどうやと。そしてね、家族だけやのうて、いろいろな人とのつながりもアテにするなど。血縁も地縁も社縁もない、そんなものは自由に選択が可能で、加入も脱退も自由、「あちらがだめならこちらがあるサ」言うてね、まあ好きなよようを選んで渡り歩いたらええ、こんな感じです。

こんな意見、ちょっと読んでみただけで、えらい矛盾しとるということがわかる。つまりね、家族や縁に縛られるな、人はシングルでも、十分楽しい人生送れるんや言うてる本人

がね、縁を求めてあっちこっちへフラフラしとるやないですか。だれかに、自分のこと受け入れてもらいたい、わかってもらいたい、誰かと心を通わせたい言うてね、そういうつながらを求めてやまない。加入は自由やる、ワシも仲間に入れえ、脱退も自由や、もうオマエらの顔見飽きたし、気にいらんことばかり言うからオサラバやで、言うてね、さっさとどっかに行ってまう。それでまた次のところ行ってワシも入れんかい、とね。これ、わがままやないですか、ごっつい自分勝手でしょ。そんなことがどうして世間に通用しますか。

でもね、一流の大学出て、それでまた一流の大学の先生になってるような人がね、しゃあしゃあとこないなと言いますわ。新聞、テレビ、ラジオでね。本もぎょうさん出す。有名だからよう売れますわ。実はね、世の中どんどん悪うなるんです、こんな考えが広まるとね。人々の孤立と不安は、ますます深まります。でもご本人たちはいっこうにそのことにお気づきでない。それどころかね、ええことしよる思うてますわ、自分では。ええことしよる思うてね、実はこの世に悪をどんどん積んでます。そういうのがね、一番の悪人なんです。おのれの悪業に気づかんのが、一番の極悪人。必ず罰が当たります。本人が生きてるうちに、本人に当たるかどうかはわからん。本人の身内に当たるのかも知れん。もっと大きい目で見るとね、この日本、この世界全体に必ず悪果がもたらされるという言い方もできますわ。

こういうこと主張するご本人たちがね、いま現在幸せか言うたら、本人たちは否定するか知りませんが、言葉や文章からするとね、どうも幸せになっているとも思われへん。どんなに有名になってもね、社会的地位が高くてお金ぎょうさん稼ぐことができても、人はそんなことで幸せになるちゃうんです。人はね、その行いによってだけ幸せになれるんですわ。ええことしよったら幸せやし、悪いことしよったら、ほっといても不幸になるんです。そのことに気づかへんのはもっとも不幸なことでしょうね。

アイデンティティ・クライシス

「アイデンティティの危機」ということが言われます。これはね、敢えて簡単に言うてしもうたら「自分は自分や。これでいいんや」という思い、まあ、そういう自信のようなものがぐらついて、不安になるちゅうことですわ。いま、そないな人が増えてると言われてます。とくに不景気になってね、不本意ながらリストラされて、ある日突然無職、無収入に

なるようなことが珍しくない世の中です、いまは。すると、それまで会社への帰属意識でアイデンティティを保っていたような場合、それが強ければ強かったほど、自分っていったい何だったんだろうということがね、分からなくなったりするようなことが起きる。

選択の自由を強調する人はね、生きていく上でさまざまに出会うことを自分自身で自由に選択できることで、「アイデンティティの危機管理をする」というようなことを言う。一つの縁、つながりがオジャンになったら新しいところにさっさと乗り換えればいい、それで人間が自信を持って生き生きと生活していける、ということなんでしょう。

こんなんで、ええんでしょかねえ。アイデンティティという言葉、辞書（広辞苑）で引いてみますとね、こんなふう書いてある。

「人格における同一性。ある人の一貫性が成り立ち、それが時間的・空間的に他者や共同体にも認められていること。自己同一性。同一性。主体性」

まあ、ちょっと堅苦しい言い方ですけどね、辞書やから当たり前やな。この定義の中で大切なのは、「同一性や一貫性が、他者や共同体にも認められていること」というところです。つまり、アイデンティティという概念は、他者や社会に関わるものであって、自分だけで自由に、言うたら自分勝手に決められるものではないんです。

血縁も地縁も社縁もないんや、ワシはそないなモンから一切自由やで、ワシの好きな相手、好きな場所、好きな会社を好きなように選択できるんや、みんなも同じにしようやないか、こないに言うたらね、もうその時点でその人はアイデンティティを失っていることになるんです。自己に閉じてね、自分のことしか考えていない。他人は利用するだけの存在です。そんな中でいくら新しい関係をもってみてもね、根源的な不安は解消できませんわ。

アイデンティティの本質はね、逆説的に聞こえる思いますけど、自分の自由な選択とかね、自分の思いこみ、こだわり、はからいちゅうようなもんを捨てて、他者にすべてをまかせるところにしかないんですわ。その他者の中でもね、もっとも安定した、根源的な他者は、信仰の対象になっている聖人です。私はとくに、釈尊・老子・ソクラテス・キリストの四人を「四聖」と呼んでます。この四聖みたいに時間的・空間的制約を超えた「絶対他者」と言える聖人の教えにのっとって生きるときにね、人は不動のアイデンティティを得ることができるんです。

この世に生きている普通の人ね、決して不動ではありません。絶対的ではなくて、相対的です。この前言うたことと、いま言うてることが違うちゅうようなことがね、いくらでも起こる。どれほど「人格者やなあ」思えるような相手でもね、どこかに自分へのとらわれがあるんです。とらわれがあるかぎり、絶対ではない。そんな人たちの中を渡り歩いてね、都合良くアイデンティティを安定させようとしても、そら無理なことすわ。周囲に振り回されてね、ご本人の希望とは反対に、ますますアイデンティティは失われることになります。皮肉なことです。

アイデンティティの危機を克服してね、不動の安心を得るためには、信仰が欠かせないんです。しかしこれがねえ、日本以外の外国だったら、こんなこといちいち言わなならんようなことじゃないんです、正しいこととしてスッと受け取ってもらえますわ、信仰が生きてますからね。でも、日本では至難の業です。「そうでしょうか」、言うて疑問を呈するんはだいがマシな方です、たいていは一笑に付されるか無視される、ひどいと攻撃されますわ、誹謗、中傷の的になります。

日本は民主主義の最先進国で、人心の荒廃も最先端を行ってます。信仰を一番失った国がね、いま一番信仰を必要としてるんです。

PTSD

PTSD いうのもよく聞かれる言葉でしょ。ポスト・トラウマティック・ストレス・ディソオーダー、「心的外傷後ストレス障害」の略です。大きな社会的事件、たとえば阪神大震災、地下鉄サリン事件、和歌山カレー事件、O-157 の流行等々ね、こういうことが起こるたびに、この言葉も有名になってきました。それから幼児・児童虐待でね、ひどい目に遭わされた子どもが思春期や大人になっていろいろと精神的、身体的な問題をあらわにするケースも、よう報告されます。

これ、ほんまに深刻なケースもあります、温かい支援を必要としてる人は確かに多い。でもね、ここまで PTSD が大きな社会問題になるというのは、やはり日本社会が抱える病理、それはまあ言うたら信仰の喪失ということなんやけど、それが根底にあるんです。そこをきちっと見据えないで、いくら PTSD、PTSD 言うて騒いでもね、事態は一向によくならんどころか、ますます悪くなる可能性の方が高いですわ。

人間の精神には、自己と他己があります。自己は自分に閉じて、自分だけを大事にしよ

ういう心、他己は他者に開いて、他者を求めよう、愛そうとする心です。自己がどんどんふくらんで、肥大してくると、反対に他己はどんどんしぼむ、萎縮してしまいます。他己が萎縮するとね、人の気持ちが分からない。何が嬉しくて、何が悲しいのか、何を望んでいるのか、いまどんな気持ちでいるのか、そういうことが分からない。他者の気持ちがぐみ取れないとね、人間不安になります。だんだん周囲の人が敵に見えてくる。自分を脅かし、圧倒してくる存在に思えてしまうんです。

だから、周囲の人の言動に過敏になって、いつもピリピリするようになります。よく、日本人は人目ばかり気にする、いって言われますよね。外国人は自分に自信を持っていて、いつでも堂々としてるのに、日本人はコソコソ、ビクビクしていると。この、人目が気になるちゅうのはね、他己があるからやないんです。他者に関心があって、いつでも他者に心を開いているからやない。その正反対でね、自分の中に閉じこもって、その世界を守ろうと必死になってるから、それを脅かす存在として、他者のことが気になってしょうがないんです。

他人のちょっとした言葉や、何気ない仕草がね、何や自分に対する悪意の現れのように思えてくる。まるで針でつつかれてるような言うかね、焼きごてチョンチョンと当てられているような痛みを、心に感じるんです。他己が発達しておったらね、そういう外界からの刺激に対して、バリアーの役目をしてくれるんです。人様のこと受け入れて、自分からも求めるいう姿勢が普通になってたらね、いちいち過敏に反応してカリカリすることない。おっとり、ゆったり構えていられますわ。バリアー言うか、クッション、ショックアブソーバーとも言えますね。人との関係が柔らかいものになる。

他己がないとね、外界に対して自己がむき出しになってるんです。少しの刺激で傷ついて、赤剥けになって血が流れてくる。痛いやないか言うてね、怒って余計に自己でガードしますが、そんなんガードにならんのですわ。いつまでもむき出しのまんまです。痛みは一向になくならん。

こういう心理がね、PTSD にも関係しとんです。他己がなくなってね、自己がむき出しになっとる。そうすると、ストレスに耐えられないんです。心の痛みがね、いつまでも生々しいまま残る、過去のものとして風化していくことがない。自分の心に起こったこと、過ぎ去ってしまったことを、客観化できないんです。それが突然、生々しい鮮明さをもって蘇ってきて、苦悩を感じるのが PTSD です。

いま過去という話が出ましたけどね、過去を形作るのは他己の働きなんです。自分の為し

た行い、社会で起こった出来事、そういうものを客観的に捉えられるのが他己という心の働きで、そうやって客観化されたものは時間の経過と共に過去になっていきます。だから、過去は他己なんです。

反対に、未来は自己の働きによっとんです。将来に対する期待とか希望、そういうものは心の中で、自己の思いによって形作られますね。だから未来が自己になるんです。

そして、人間の心というのは自己と他己がバランスをとって、統合されて働くものですから、過去である他己、自己である未来のバランスの中で、私たち人間は現在を生きていると、こないに言うことができるんです。

PTSD の症状に悩む人にとって、ストレスとなっている過去の出来事は、その人にとって本当の意味で過去になってません。客観的なものとして捉えられていないんです。人は、過去と未来のバランスがとれていることで、充実した現在、「いま」いう時間を生きていくことができます。ところが PTSD では、過去が真の意味で過去になりませんから、現在も充実した時間としての意味がありません。ですから、何をしても無意味に思えたり、やる気や楽しさを感じるができなかつたりするんです。

いまの日本で、これほど PTSD が社会問題化してるというのは、人々から他己が失われていることに原因があるんです。他己がなくなったゆえに、社会や人との関係の中で、自分の存在を安定的に保つことができなくなって、ストレスに耐える力をものすごう弱めているということです。これは、さっき言いましたように、根本的には信仰の喪失の問題です。そういうことに目を向けないままに、ただカウンセリングをしたりしても、ほとんど無意味やと私は考えます。一時的には、多少気が楽になるとかいう効果は、皆無やないかも知れませんがね。

カウンセリング

いま、カウンセリングはたいへん盛んになっとりますが、これは、人間の精神のうち、自己の方を肥大させる方法です。ですから、いま言うたように、他己の萎縮が根本的な原因としてある PTSD などには、本当の意味で効果はありません。PTSD だけでなく、いま問題になっていること、ちょっと考えてみただけでも、いじめ・不登校・学級崩壊、それから幼児・児童虐待、引きこもり、こないなことが思い浮かびます。そして、これらの問題の根源には、みな、私の言う他己の喪失があります。ですから、自己肥大の方法として

のカウンセリングでは、ほとんど対処が不可能だと言えるんです。

カウンセリング技法の基本になってるのは、非指示的、ノン・ディレクティブちゅうことです。文字通り一切指示せん。ええとも言わんし、あかんとも言わん。「ふーん、そうなの、へーえ」ちゅうような感じで、ただ聞いてあげるんです。相づちの打ち方とか、共感してることの表現の仕方とか、いろいろとテクニックはありますけど、基本的にはとにかくええもイカンも、何も言わんで聞いてあげるということです。

そしてとにかく受け入れてあげて、共感してあげる。「ハラ立ったけん、先公ぶん殴ってやったんや」いう話になっても、「そう、ハラ立った、そしてぶん殴ったト。ふーん、なるほどねえ、そらそうやなあ」とか言うてね、聞くだけです。

これがですね、カウンセラーが不動の価値観を背後に持っていて、それに基づいた上でどっしり心理的に安定して聞いてあげるちゅうようなことやってええんです。問わず語らずのうちに、正しい方向性をクライアント、相談者ですわ、その人が理解して、満足して帰っていくということもあるかもしれん。こういうんはまともなカウンセラーと言えますわ。

でもいまはね、そうやないんです。ほとんどのカウンセラー氏がね、自分自身、何が正しゅうて何が間違ってるのか、何がええことで何が悪いことなのかわからんままにクライアントの話聞いて、それに振り回されとります。そして、ノン・ディレクティブ言いながら、つつい、知らん間に自分の価値判断、しかも間違ごうた判断ですわ、そんなんをはさみこんで、余計にクライアントを混乱させて、結局カウンセリングがワヤになってまうちゅうようなことが、実際に起きてる。

カウンセラーの個人的意見

こんな話があります。私の知り合いなんですけど、大学院の学生さんがいてはる。この人の指導教官が臨床心理のカウンセラーですわ。ええ加減な人やない、言うかね、けっこう社会的にも有名な方です。私の知り合いの学生さんは、この方のスクールカウンセリングについて、中学校の現場に行つて勉強するわけです。

ある時ね、髪をチャパツに染めた女の子のカウンセリングがあったそうです。その偉いカウンセラー氏とクライアントの女の子が向き合つてね、学生さんはその横に控えてメモをとったりする。

女の子がね、言いました、「どうして茶髪いけないんですか？ 誰にも迷惑かけてるわけじゃないんだし・・・」。

学生さんの話だと、とにかくやたらとツッパリまくる手に負えないようなタイプの子じゃなくて、何か必死に価値観を求めているような雰囲気があったそうです。そうしたらカウンセラー氏は、「いやぁ、ボクもね、個人的には茶髪反対じゃないんだけど、まあ校則があつてね、やっぱりそれに反対したらいろいろ面倒が起きるっていうか、まあ、やっぱり一応は守っておいた方がいいんじゃないかと思うんだけどね」、と、一字一句この通りではないにしても、だいたいこんなような意味のことを言うた、ちゅうんです。

この学生さんのお姉さんが、中学校の教員やった。それで家に帰って、姉妹でこの話になったそうです。そしたらね、中学校の現場の先生としては、偉いカウンセリングの先生にそんなこと言うてもろうたら困ると。

そらそうでしょう。「個人的には茶髪賛成です」なんてね、個人的意見言われたら困りますわ。その後どうやって指導したらええんです？ 「カウンセラーの先生はあない言わはったけどな、あんな先生の言うこと信用したらあかんのやで」とは、まさか口が裂けても言えませんでしょ。「やっぱりカウンセラーの先生も私と同じ考えじゃない、学校がオカシイのよ、学校が！」って詰め寄られたら、もう絶体絶命ですわ。

そしてね、カウンセリングは非指示が原則や、ノン・ディレクティブや言いながらね、この先生結局自分の価値観押しつけてはるんです。個人的意見やいいながらね、そんな大人と子どもが向き合って、しかも一方はカウンセラーで、個人的意見もヘツクレもありませんわ、本当は。それはね、茶髪はええんや、そんなん禁止を押しつける学校が間違ってるんやでいう、唯一の価値判断をそれこそ押しつけとんのです。

本来のカウンセリングやったらね、本当に、子どものホンネを徹底して引き出すような工夫と努力を引き出すべきですわ。「うん、キミ自身は、茶髪ええやないか思うわけやね？ もうちょっとその考えくわしく聞かせてほしいなあ」言うてね、身を乗り出して促してあげる。そしたら話しますよ。おそらくね、うっぷんがたまっとなって、誰かに考え聞いてほしくてたまらんような状態になつてると思うんです。

これね、わざとらしく、ミエミエでやったらダメですよ、やっぱり。本当にね、親身になって、あなたのこと心配しとるんやで、何とか力になりたいんや言うね、愛情というか、迫力がほとばしってくるようになきゃダメや思いますわ。そういうのはね、テクニックやないんです。やっぱり自分に関わる人に対しては、限りない愛情を注ぐんだというね、深

い思いがないとできんことですよ。何とかうまくしのいで、上手にカタつけて、カウンセラーとしての名をあげたら、金も稼いだら、というようなね、そんな浅ましい根性がちょっとでもあったら、この先生みたいに言うてはならんこと言うて、かえって相手を不幸に追いやるようなことになりますわ。クライアントだけやのうて、学校現場や親御さんも、どえらい迷惑でしょ。

さっきの話に戻して考えますとね、結局、自己を肥大させよう、権利の主張を拡大させてやろうというようなね、そういうカウンセリングの方向だと、間違った方向、どんどん悪化させるような方向に行ってしまうという好例だと思うんですわ。他己の回復に持って行ってあげるような、それをただタテマエをバーンと押しつけるような無茶するんやなくて、クライアント本人も、まあ知らず知らずのうちにそちらの方向に乗せられるというような形でね、上手に持って行ってあげるということが必要やると考えますね。自分は周りの人に支えられて生きていられるとか、人とところ通わすことが大事とか、やっぱり周りの人には尽くしてあげようとかね、そういう気持ちをもってもらえたらええと思うんです。

ひきこもり

とにかく、カウンセラーはいまや引っ張りだこですわ。給料安いとか、仕事キツイとか言うて、ご本人たちは憤慨してるようですけどね。

いじめとか不登校とか、あ、この話をしてる時期に、文部科学省の不登校の統計の今年版（2001年）が出ましたけど、やっぱり、やっぱり言うたら語弊があるかも知れんですけど、まあやっぱり今年も過去最高ですわ。統計取り始めて以来、一度たりとも減ったことないんですね。ついに13万人を超えて、もう1クラスに必ず1人はいると、平均とるとそういう状況です、中学校では。近い将来小学校も同じ数値になるんでしょうね。だいたいね、いろいろなこと考えてみても、不登校が減る要因いっこも見つかりませんわな。「これこれこういう理由で増えるだろう」ちゅうようなことはね、いくらでも挙げられますけど。

カウンセラーの仕事も減りません。増える一方。しかも最近ね、ひきこもりの問題があります。これはある意味、不登校より深刻とも言えますわ。不登校は「学校に行かない、行けない」ということですから、卒業の年齢になれば、たとえ未解決であっても問題はとりあえず解消します。いい悪いはともかくね。ところがひきこもりには終わりが無い。いま、精神科の先生が診ているひきこもり患者の中で、最高齢者は四十代後半だそうです。もう

少しで初老と言える年齢にさしかかるとるんです。これはね、大変なことですよ。社会の担い手として活躍すべき青少年、壮年の人々が、家や部屋に閉じこもったまま出てこない状況が広まりつつある。

ひきこもりの人口は、少なく見積もる人で五十万とか六十万言いますし、もっと多いで言う人は百万人超えとるちゅう場合もある。程度の差があるんでなかなかはっきりとは決められんらしいです。と言うのはね、ひきこもりにもいろいろあって、本当に、自分の部屋から一步も出てこない、重症の人がいる。家族の者とも顔あわせんでね、夜中、みんなが寝静まった時刻に、そーっと足音忍ばせて出てきて、冷蔵庫の中のモン部屋に持ち帰ったりして食いつないどる。もうちょっとようになると、家の中だけは自由に歩き回れるいう人もいる。それがさらによくなると、夜中にコンビニやったら行けるとかね、そんな感じになります。

だいぶ軽いのは、仕事には行かれんけれども、自分の好きなこと、たとえばパチンコとかゴルフとか、釣りとかテニスとかね、そういうのはできると、そういう人おります。そうになると、近所の人とも愛想よう挨拶してね、ニコニコしてる。近所のオジさんやらオバさんやらね、首傾げて、不思議やなあ、あそこの息子、どないなっとんのやろ、と。オトコの方が多いんですわ、女の子よりずっとね。だいたい3から4対1くらいの割合らしいです。

まあ、こんないろいろと考え合わせるとね、キリのいいところで百万人ちゅうところかなあ、いうのがよく言われる数字になってます。

ひきこもりがおるのはね、日本だけです。外国にはこういう人おれへん。たとえば精神病になってね、一步も部屋から出られんと、そういう人はおりますよ、外国にも日本にもね。昔からおる。でも、病気とかね、そういう、明らかに直接的な原因が見当たらんのに、何でか知らんけど閉じこもって出てこない、しかもそういうのがぎょうさんおる、こんなことが起きているのは世界中探しても日本だけです。特異現象ですわ。百万人言うたら、だいたい人口の1%でしょ。百人に1人はひきこもり。

しかもね、これは赤ん坊や小学生、年寄りには関係ない話です。そういう人をのけて、若年層で計算したら、割合は跳ね上がりますよ。2、30人に1人はひきこもりと、ひよっとしたらそんなことになるんやないですかねえ、わかりませんけど。

外国ではね、日本のひきこもりがそのまま英語になって、「Hikikomori」いうて呼ばれてるんですわ。自分とこの国にない出来事やからね、訳されへん。相撲が「sumo」、寿

司が「sushi」言われるでしょ。日本の特異な文化やから、そのまんまの名前になるんですわ。それだけ見てもね、ひきこもりが世界的に見て如何に珍しい現象かということがわかります。

ひきこもりは、誰でも、ある日突然なる。こんなふうに新聞や雑誌に書いてあります。まあ確かにそうかも知れん。誰でもなるんでなければ、百万人もおるわけがありませんわ。でも、外国では見当たらないんやから、「日本人なら」誰でもなる、いうようにひと言付け加えるべきでしょうね。これは、日本特有の社会病理を反映した現象なんです。

そして、これもよう言われるのは「特効薬はない」ちゅうことです。失礼な言い方やけど「つける薬ない」、いうことですね。まあ、無理に引っ張り出してもたいていは逆効果やから、そっとしておいて、自分から出てくるのを待つくらいしか方法がない。その間、おもに行われるのがやはりカウンセリングです。

カウンセラーの人たちに言わせますとね、「ひきこもることはそないに悪いんか」ちゅうんです。いまみたいだね、まあ滅茶苦茶な世の中で、平気な顔してのうのうと出歩いていられる方が異常やと。こんなおかしな社会の中やったら、ひきこもる方がまともや言うことでしょう。でも、そう考えたらね、ひきこもりを治療したり、治したりする必要はない、いうことになりますわ。そんなことナンセンスや、そっとひきこもらしてやっといたらどや、と。でもそれは、カウンセラーの存在自体が矛盾やと言うことにもなっとんですけど。

親とかね、家族にしてみたら、ウチの子、どないなってしまうたんやる言うて、心配でそれこそ夜も寝られませんわ。ええトシして、勉強も、仕事もせんとね、遊びにも行かんとウチの中でゴロゴロするだけ、それが若いモンのすることかと。世間体悪うてね、近所や親戚に何言われるやわからへん。みっともないなあってね、思いますわ。

でもカウンセラーにね、そんなふうに言うたら説教されかねません。お父さん、お母さん、何言うてはるんですか、みっともないとかね、世間体とか、そういうあなた方の思い違いが、お子さん追いつめてるんでしょと。アナタの世間体とね、お子さんの一生どっちが大事ですか、いまね、お子さんは、必死に生き方求めとんですよ、そのためにはね、ひきこもってじっと1人で考える時間も必要なんです、社会に出られるためにはね、そういう時期も必要でしょう、どうしてそれを分かってあげられないんですか。お子さんはね、いまサナギになっとんです、いつか脱皮してね、きれいなチョウチョになりますわ、サナギの時、下手にガタガタ揺すったら命に関わりますよ、それがわかりませんか。まあ、こ

んな調子です。

ひきこもりは、凶悪犯罪の温床みたいにも言われてます。部屋に閉じこもってナイフ研いどんのやないか、覚醒剤やっとな違うか、ってね。それで、有名なお医者さんの中には、青少年がひきこもってるおかげで、犯罪がいま程度でおさまってるんや、言う人がいてはります。そういう連中、いや連中言うたら失礼ですか、そういう若者がね、世の中出てきたら何するやわからん、ひきこもっていてくれるから、一応世の中平和が保ってられとんですと。そういう意味で、ひきこもりにも意味あるんですちゅうようなことですわ。ちょっとねエ、これも無茶な話や思いますけど。

ひきこもりはなぜ起こる

私は、やっぱりね、ひきこもりも、自己肥大の現れやと考えてます。ある意味、究極まで自己肥大化した結果ですよ。人々の自己肥大が日本ほど進んだ国は世界にないんやから、こう考えると、なぜひきこもりが日本にしか起こらんのかという理由も、スッキリと理解できます。

極端に自己に閉じてね、自分だけしかない、精神に。そうすると、社会や人の輪の中で、自分を安定的に保つことができなくなります。他者のことが分からない、思いやることができないんで、他者が何を考え、何を感じているかがわからへん。そうすると、他者が自分を脅かし、圧倒してくる存在になります。自己が外界にむき出しになっているんで、他者のコトバ、振る舞い、視線が突き刺さってくる、すぐ傷つく。そこから逃げるために、ひきこもるんです。

昔やったらね、そういうふうには他者から圧力や侵害を感じたら、ツッパッて跳ね返そうとしたんです、うるせえな、ワシはワシじゃ、文句あるんかい、いう感じでね。勉強できる奴はガリガリ勉強して世間に認められようとしたし、社会人になったらぎょうさん金稼いだり、出世して高い地位につくことで自己を保とうとした。まあ、言うたら、他者とのコミュニケーションがとれない不安を、自己の欲望に執着することで解消しようとした、ということです。それは、本質的な解決策ではありませんでしたが、少なくとも社会に活気がありました。みんなエネルギーギッシュやったでしょ、つい一昔前まではね。そしてみんないちおう自信を持っとった。

それがね、だいが前に話しましたけど、いまの若い人は、金も地位も名誉もいりません

と、こないに言う。欲望を満足させるエネルギーがぜんぜんないし、そもそも欲望も持たない。欲望、言うたらね、どうもあんまり良くないコトバの響きがありますけど、生きようとする力、パワーでもあるわけです。これがヘタってしまったら、生きようとする活力も湧いてこない。いま、まさに若者がそうになっています。そして、日本全体にそういう雰囲気は充満している。他者からちょっとでも脅威を感じたら、サーッと殻の中に引っ込んで、もう金輪際出てこない。

これはね、「自分」というものがないからやない。反対なんです。「自分」しかなくて、他己が失われとるから、社会やみんなの中で生きていくことができんのです。エゴイズムが極限まで進んだ結果、現れ方がひっくり返って、何にもやる気が起きない、無気力な人間が増えている、ということです。

それがね、おおかたのカウンセラーや、それから文部科学省にもまったくわかってへん。いまの子どもや若者には「生きる力」がないと。だからそれを付けて、育ててやらんとイカン言うてね、体験学習やらしたりボランティア、奉仕活動やらしたりしとる。確かにね、生きる力ないんですよ。もうへたり切つとる。でもね、その生きる力がのうなった根本原因は何なんやいうこと、それが大事でしょ。それがぜんぜんわかったらね、生きる力や、ゆとりや、ストレスをなくせ、言うてね、しょうもない対策ばかりしとる。その結果どうですか、ますます悪くなるばかりでしょ。不登校児の数ひとつ見たって、そのことは明らかですわ。

生きる力

何で「生きる力」がなくなってもうたんかなあ言うて、みんな考えますわね。おおかたの人は、「日本が急激に豊かな社会になったからだ」ちゅうようなこと言いますわ。たとえば、教育改革国民会議、いうのがありましたよね。その報告書見ても、そんなようなことが書いてある。ちょっと長うなりますけど、そこのところ読んでみます。

「日本人は、世界でも有数の、長期の平和と物質的豊かさを享受することができるようになった。その一方で、豊かな時代における教育のあり方が問われている。子どもはひ弱で欲望を抑えられず、子どもを育てるべき大人自身が、しっかりと地に足をつけて人生を見ることなく、利己的な価値観や単純な正義感に陥り、時には虚構と現実を区別でき

なくなっている。また、自分自身で考え創造する力、自分から率先する自発性と勇気、苦しみに耐える力、他人への思いやり、必要に応じて自制心を発揮する意志を失っている」

この後もまだまだ続きますけど、まあこの辺で止めておきましょうか。だいたいこんなふうだね、世の中が豊かになった反面、大人も子どももぜいたくでひ弱、わがまま、自分勝手、フヌケ、冷酷になってしもうたと言われます。

確かにそういう面もあるかも知れん、豊かさが人間をダメにするということがね。でもねえ、何で世界の中で日本人だけがこないにメチャクチャになったんやと、このことは豊かさだけでは説明できませんよ。

そら、日本は確かに世界トップクラスの金持ちですわ。でもね、ダントツの1位やない。上にはアメリカがおるでしょ。アメリカ社会の豊かさはね、日本よりはるか以前から続いています。いろんなエピソードありますよ。

例えばアメリカの中西部地帯いうたらね、ほとんど砂漠みたいなもんでしょ、雨なんかほとんど降りやらんで、年がら年中カンカラカンのええ天気、。空気もカラカラに乾燥しとる、生えるんはサボテンくらいと。洗濯モン干したら、あっちゅう間に乾きますよ。でもね、アメリカの主婦は物干し竿出すようなしちめんどくさいことせえへん。だいたい洗濯機が乾燥機まで一体型の全自動やからね、汚れもんと洗剤放り込んだら、後はスイッチ入れてほったらかしですわ。外はギンギラギンにお日様照つとんのね、薄暗い地下室中でグーン、グーン言うて乾燥機が回るとる。電気食いますよ、こんなんは。その電気はどっから来るんです？ 石油ボンボン燃やしてね、火力発電です、おおかたは。これを無駄と言わんで、何を無駄言うんですか。まあ、これが豊かな社会、豊かな暮らしということですよ。

それから南極の越冬隊ね。日本の昭和基地なんかは、昔は建物の中でもどえらい寒かったらしいです。防寒着をモコモコ着込んでね、「かなわんなあ」とか言うて仕事しよった。隣のアメリカの基地じゃあね、隊員はみんな半ソデのTシャツ1枚ですわ。「あついなあ」とか言い合うてね、休憩時間には冷蔵庫からコーラやらビールやら、ギンギンに冷やしといたやつを出してきて飲んどる。一步外へ出れば、零下20度、30度いう世界ですよ。アメリカの基地の外にはね、石油のドラム缶が山のように積んであるんです。湯水のごとく石油使うて、南極で暑いなあ言うて暮らしとる。暑い奴は外へ出るちゅうんですわ、ドタマ冷やして来いと。

いろいろ言いましたけどね、こういうのが、いわゆる「豊か」ちゅうことでもあるわけでしょ。アメリカじゃ、こんな世の中がもう百年以上続いとる。豊かさが人間をダメにするんやったらね、アメリカの方が日本よりもっともっと悪うなってなけりゃおかしいんですよ。

虐待はマビキなのか

そりゃアメリカも危険な社会です。凶悪犯罪いくらでも起こる。でもね、おおかたの人の精神状態は、日本人よりずうっとマトモでしょ。日本みたいに、理由もわからんような、不気味な殺人事件起こりよらん。虐待も、あることはあっても、日本みたいに爆発的に増えん。日本じゃ、1990年代の十年間で、虐待の発生件数が17倍に増えとんですよ。17倍言うたらね、これはもう異常としか言いようがない。

虐待で思い出しましたけど、私、このあいだ、近所でやとった小さいシンポジウムに出かけたんです。近ごろ起こるいろいろな社会問題がテーマになってました。そこでやっぱり、この児童虐待が話題になったんです。いろんな人が意見言わはりましたけどね、その中で、小児科のお医者さんや、いう人が立ち上がって、ごっついこと言うたんです。私、もう驚いたちゅうか、あきれたちゅうか、もうそれ聞いてあいた口がふさがらんった。

「みなさん、虐待虐待言うて騒いでますけどね、日本には昔っから『マビキ』ちゅう風習があったんです。日本じゃ、子どもが親に殺されるというのはそんなにめずらしいことやなくてね、まあ、ようあることだったんですわ。そないに驚いて、騒ぎ立てるようなことやない」、こんなん言うんです。

みなさん、間引きって知ってはりますよね。野菜やなくて、人間の話ですよ。飢饉の時なんか、食うモンが足りないんで、小さな子どもをそっと殺すと。いまの虐待、これと同じですか？ 日本人ちゅうのは、子どもを間引く風習を持った民族なんやと。いま、またそれが復活しとんのですと。これが、児童虐待に対する、マトモな意見ですかね。しかもそれを、小児科のお医者さんが言うてはる。恐いですねえ、こんなお医者さんのとこに子ども連れていったら、何されるやわかりませんよ。こっそり間引かれるかもわからん。いやいや、冗談キツすぎますか。

何で児童虐待が間引きですか。やっぱり間引きがあった頃にはね、「飢え」ちゅう、ものすごい切迫した状況があった。これ別に、間引きがええ、言うてるんやないですよ、

いちおう断わるときはすけど。そんでね、生まれて間もない、それこそまだへその緒がつながってるような赤ちゃんを、さっと首絞めるとか、タライの水につけるとかして殺した。「成仏してくれや」言うてね。殺してええとは言いませんけど、どえらい切実な、必然的な、止むを得ん理由があった。そして、苦しませんでしたし、怖がらせませんでした。生まれたんやら何やらわからんうちに、ひと思いにあの世に送ってもうたということですね。

いまの虐待はどうですか。テレビやら新聞やらでいろいろと手口教えてくれますからね、だんだん残虐化してる。なるべく痛がらせて、苦しませて、泣かせるようにエスカレートしてますよ。

たばこの火ィ押しつけるんか、熱いやろなァ。風呂の温度を60度くらいにしといてザボンとつけると。ははあ、ヤケドのあとも残らんから、医者にも警察にもバレんでええわ、よし、今度これ試したろ。ん、なにになに？ ペットボトルに砂つめて、それでぶち殴る。ほほお、本格的やなァ、大きゅうなったらそれでいくか。ワシは大ピンにするけん、ママは小ピンや。こんな感じになっとるんやないですか。恐ろしいですよ。

それからこのお医者さんね、こんなふうにも言うてました。動物には、劣弱な奴をいじめめる習性があるんやと。だから、少々トロくさい子が親から虐待受けるんは、ある程度当然のことでもある、ちゅうことです。これがね、小児科のお医者さんが言うことですよ。わたし、もう聞いててね、だんだん背筋が寒うなってきました。どないなっとんやこの人、ってね、ホントにもう顔をマジマジと眺めてしもうた。

このお医者さんの言うてることはね、事実を誤認しとるだけやのうて、虐待をますます増やすような発言ですよ。アメリカ人が聞いたら、椅子から転げ落ちるでしょうね。そんで一言、「ユー・アー・クレイジー」とこう来る。

ええとね、それから、ひきこもり。こんなんはもう、完全に日本だけです。豊かさとは、まあほとんど関係ない。豊かな社会だから、ひきこもっても餓え死にせんで生きていられる、いうことはありますけどね。親が、ドアの外にカップラーメンやらコンビニのサンドイッチやら置いてくれるんですから。親が、「そんなん甘やかしてええんでしょうか？」言うて心配すると、カウンセラーが「いや、してあげんとダメですよ」て指導する。こういうのも、外国人から見たらとうてい理解できんのやないですか。

とにかく、豊かさがひきこもりを生む、とは必ずしも言えないでしょ、世界中の状況を客観的に見てみれば。

根本的な問題はね、他己がなくなった、ということです。人を信じられん、人に心を開

けん、愛情を感じられん、関心を持てん。だからね、社会の中で自分を保っていられなくなって、その結果生きる力ものうなってしまうんです。自己と他己はふたつでひとつですからね、他己が失われて自己だけになってしまえば、早晚その自己もつぶれてしまうんですよ。

それなのにね、いま行われとる対策は言えば、自己がへたっとる現象だけ見て、それを回復さしたるというようなモンばかりです。他己の回復を目指すのが根本の解決策なのに、そのことにぜんぜん気づきよらん。自己肥大の結果、いまの状況があるということがわからんで、どんどん自己肥大の上塗りみたいなことばっかりしとる。ますます悪うなるのが当たり前ですわ。

ストレスは消えない

学校や家庭での生活からね、子どもにかかるストレスなくせとか言う。アホかっちゅうんですわ、私に言わしたらね。人生ストレスの連続ですよ。ごく普通の人があね、生きてる以上は、苦の連続です。四苦八苦という言葉、みなさんもようご存じのことと思います。

これは釈尊が言わはったことですがね、四苦というのは、生・老・病・死(しょう・ろう・びょう・し)、です。人間にとっては、生まれがすでに苦であると言われる。これはね、前にもお話ししましたが、人間だれ1人として、生まれを自分で選ぶことはできません。いつの時代に、どこの、どういう社会状況の中で、どんな親のもとに生まれるのか、すべてが一方向的に決められています。おのれのはからいが入り込む余地は、これっぽっちもない。どうしてこんな世の中に生まれてしもうたんやろ。どうしてウチの親はあんななんや。こんな貧乏な家に生まれとうなかつた。いやいや、金持ちの家なんかロクなことはない、ワシの欲しいのは自由や。どうしてワシはこんな顔に生まれついてしもうたんやろか。なんでオレにはあんな兄弟姉妹があるんや。等々、生まれについて悩み始めたらキリがありませんでしょ。生きることのスタート地点から、すでに苦悩は始まっているんです。避けたくても避けようがない。

また、避けようがないのは老いていくことも同じです。だんだん体力が衰えてきて、容貌も、ピチピチ、いうわけにいかなくなる。年取ってきてから、腕の皮膚なんかをつまんでね、しばらくじっとそのままにしてからパッと離すと、シワが寄ったそのまんまになってしもうて、なかなか元に戻りませんわ。若い頃やったらね、すぐピッと元通りになるで

しょ。そういう腕のシワとか見てね、「ああ、うれしいなあ、ワシもこないになれたんや」で、喜ぶ人は、まずおれへん。誰でもたいてい、ああ、こないになってしもうたんかワシも、言うてね、多かれ少なかれ寂しい気持ちになるもんですわ。ワシのシワ、ワシのシワ、何やら呪文みたいやな、今晚寝られなくなりそうや。

病気もまた同じことです。だれでも好きこのんで苦しい病気にかかるわけやない。それなのに、本人の願いや思いとはまったく関係なく、向こうから病が勝手にやってくるわけです。かないませんわな。

死ぬことは、あらゆる人間にとって、絶対的で、終局的な否定です。自殺願望のある人は別として、おおかたの人は、もっと生きていたい、いつまでも人生を楽しんでいたいと思うのに、必ず死んでいかねばならん。これはホンマに、決定的な苦しみです。

人間は生まれ落ちたその日から死に向かって1日1日を進んでいきます。「正月は 冥土の旅の一里塚 めでたくもありめでたくもなし」いう、一休さんの歌がありますわな。私たちは、行き着く先に死が待ち受けとることを知っとんのに、そこに向かって否応なしに進んで行かされます。絶対に後戻りができんし、立ち止まることも許されん。1日生きたことは、1日死んだことでもあるわけです。あらゆる生き物の中で、おのれの死を自覚するのは人間だけです。それこそ、生きることの根源的な苦悩を構成するものとも思えます。

生老病死について、いつでも日常的に意識している人はめったにないかも知れませんね。どれかに直面した時はじめて、その苦悩の重さ、大きさに打ちひしがれるようなことが多いんやると思います。釈尊は、この四苦と、さらに日常的な苦悩を四つ加えて、八苦と言わりました。

その、加わった四つの苦のね、一つめは「愛別離苦（あいべつりく）」です。愛する者と、いつか必ず別れなならんという苦しみです。すでに味わった人も、まだ決定的な別れには直面しとらん人もいてはる思います。これはなかなか、想像しただけでは、実際の苦しみは分からんでしょうね。まさに「断腸の思い」言うもんがありますわ。ただの一度も、愛する人との別れを経験せんというような人生は、絶対にありません。

その反対が、「怨憎会苦（おんぞうえく）」言います。生きていれば必ず、怨みに思い、心底憎い相手とも会わねばならん、いう苦しみです。これも、経験してはる人もおいでれば、まだそんな目に遭うたことはない、いう人もおいででしょう。

三つめは「求不得苦（ぐふとっく）」です。どんなに欲しくても、いくら求めても、そ

の望み通りには得られん事、得られん物がある、いう苦しみです。

四つめは「五蘊盛苦（ごうんじょうく）」です。「五蘊」というのは、人間の心身を形成する五つの要素、という意味で、それは仏教では「色・受・想・行・識（しき・じゅ・そう・ぎょう・しき）」というふうに言われとります。つまり、体も心も、人間の存在そのものから、苦しみがさかんに起こる、ちゅう意味です。いろいろと反省してみると、確かにそうやなァと思ひ当たるふしがおありやないかと思ひます。

まあ、こんなふうにな、生きてる以上、必ず出会わなければならん苦しみちゅうもんがある。そこからは、必然的に心理的ストレスが生じます。ストレスのない人生というようなモンはあり得んのです。そうである以上ね、大切なんは、ストレスを無くすことやないんですよ。そないなことはできん相談ですわ。必要なのは、どんなストレスが降りかかってきても、それにグツと耐えて、はね返すくらい、強靱で、タフな心を持つことですよ。何で、世間ではそないなふうにな論じられんのか、私にはどうも信じられんのかやけどね。

「センス、遊びなはれ、酒も飲みなはれ」

私、教員養成系の大学に勤めてはる知り合いの先生いてはりますけど、そこにはね、小中高校の現場の先生も留学して行きはるんです。そうするとね、こないなこと言う先生がおるそうですわ。

あのね、「みなさん、現場でさぞお疲れでしょう。ここで2年間ね、思いっきりストレス解消して、リフレッシュして帰ってください。テニス、ゴルフ、ええですよ、やり放題。海あるでしょ、釣り行ってください、よう釣れませ。フランス料理、ワイン、うまいとこ紹介しますわ。ほなその後カラオケ行きましようや。え？ 何？ 修士論文？ そんなもん心配せえでも大丈夫です。ええ本貸しますけん、締め切り1ヶ月くらい前になったらね、チョチョイのチョイと書けますわ」、こんなんです。

遊べ、怠ける、墮落せえ言うて教えとんです。これね、私がうまい話作った思ひますや。普通ならそうです。でもその大学じゃあね、これがマジの世界になつとるらしいんです。恐いことですわ。

すでに教員としてね、子どもさんを預かってはる、まあプロの教員、こういう人たちをね、わざわざ現場から離して、もう一度集めて再教育すると。このことにはね、果たしてどんな意味があるのか。何を目的とすべきなのかというのは、ものすごく重大な問題ですよ。

大学院ですからね、2年間ですわ、その貴重な2年間でね、何を身に付けさせるのか、身に付けてもらうのか。

そこではね、授業のテクニックとか教育技術、そんなもん勉強したかて、ほとんど無意味ですよ。実際に子どもがおらんところでね、ああじゃないこうじゃない言うて、いくら授業のお話しをこねくり回したかて、そんなん結局、皿と箸だけ並べて飯食う練習するよなもんでね、いっこも身になることない。やっぱり大学院はね、学問するところですよ。でも、それじゃあ言うて、山ほど本を積み上げてね、片っ端から知識を詰め込んだら勉強した値打ちあるんかということになったらね、やっぱりそれもおおかたは無駄なことですよ、ナンセンスです。詰め込んだ知識なんてすぐに忘れるしね、仮に覚えとって現場に帰ったら1年もたたんうちに風化します。

まあこんなふうにな、やらんでもええこと、やらん方がええこといくら一生懸命にしようてもね、何にもせんより悪いことがあるかもわからん。しかしねえ、それにしても、この2年間は何しよっても自由やいう感じでね、遊びまくるようなこと、こんなんは絶対にあってはならんことですよ。もしそんなことしよる奴がおったらね、「コラお前、何を心得違いしよんじゃ！」言うてね、怒ってやらないけません。何千万も税金の無駄遣いしよるようなことをね、許しとつたらいかんのです。

それをね、大学院の教官自らが、やってはならんことをせえ言うて勤める。わざわざ悪の道に引きずり込みよんですわ。どないなとんですかこれ？ こんなんでね、どうして日本の教育が、学校が、子どもたちがようなるんです？ 墮落した現場の教員をね、大学の教員がまたよってたかって墮落させよる。日本が悪うなるのは、必定ですよ、こんなんではね。

病人教師

まあ学校の先生がね、ストレスためとんのは、そら事実です。いろんな職種の中でもね、うつ病やらの精神疾患にかかる率は、教員が群を抜いて高いんです。ストレスや病気で、療養休暇を取らざるを得ん教員も、激増してましてね、新聞やらニュースやらでよう報道されてます。子どもは言うこと聞かん、親からは尊重されん、仲間同士はバラバラでいがみ合いに足の引っ張り合い、上司は管理ばかりしてうるさいことしか言わん、こないな調子でね、教師は八方ふさがりですよ、いま。

学校がそんな半病人みたいな先生ばかりやったらね、確かに子どもたちの教育も口く
なもんにならんでしょ。かと言うて、先生たちに「時間やるけん充電してこい」ちゅうこ
とで、2年間遊びにやってリフレッシュさせると、そんなんで本当に解決になりますか。
サラリーマンの世界やったらね、「何甘えとんじゃ、アホかオマエは」言われておしまい
ですよ。2年間遊び呆けて現場に帰ってきたらね、浦島太郎になってしもうて、ますます
適応できんようになるんが関の山ですわ。そんな奴に限ってまた、指導主事じゃ、教頭じ
ゃいうて出世するんやから、そんなんなったら救いようがありませんわな。

一番大事なんは、ストレスから逃れさせることやありません。まったく正反対でね、ど
んなストレスがかかってきてもビクともせん、タフで強靱な人間性を磨き上げることで
すよ。そして、それはね、くだらんディスカッション繰り返したり、しょうもないこと書い
てある本読んで、いらん知識を詰め込むようなんでは不可能なことですわ。いろいろね、
大切な、せなならんことあります。でもまあね、そのことをここで説明し始めても、私の
話聞いて、この本読んでくれはる方が学校の先生ばかりとは限りませんからね、詳しく
には言いません。ついですけどね、学校の先生ほど本を読まん人種もおらんそうですわ。
出版社の編集の方がおっしゃってました。

かいつまんで言いますが、大事なのは、まずおのれの間性をよくよく見つめ直すこと
です。これまでの知識とかね、こだわり、思いこみ、好き嫌い言うようなもんを捨ててね、
こころとアタマを空っぽにして、謙虚にものを見つめ、学ぼうと努めることですわ。それ
から、ええ師匠、ええ仲間に出会うことが大事です。これは出会い、ご縁なんでね、必ず
自分の願い通りになるちゅうわけに行きませんけれども、ひたすらに求めておればね、そ
ういう出会いに恵まれることはあるもんやと思います。それはいま一番に言うた、おのれ
のはからいを捨ててこころを開くいうことに関係してますわね。

アタマを空にする

まあそれでもね、この、はからいやこだわり捨てる言うのが、まさに「言うは易く、行
うは難し」、ですわ。よし、今日からこだわりを捨てよう、言うてね、決意してみたかて、
まあ十人おったらたいい十人はその通りにできやらん。これはね、いくらアタマで考え
てみても、できることちゃうんです。反対にね、いまアタマ空っぽにして、言いましたけ
ど、知識や理屈でどうにかしようというようなことを一番に捨てないけません。そんじゃ、

何にもせんでポーッとしとったらええんか言うたら、それも違うんですよ。このためにね、瞑想を中心とした、宗教的修行があるんです。座禅とかね、ヨーガ、それから般若心経あげたり、写経したりする。キリスト教やったら、1人静かに神に祈ることですね。これは、たまにしたらええちゅうもんやない。三度三度ゴハン食べるんと一緒に、毎日、欠かさずにやらなんだら意味がないんです。

こういう修行はね、人間が精神的健康を保って、本当に人間らしい生き方をするためには、絶対に欠かせないことです。でも、いまこんな事言って、それをまじめに聞く日本人は、まずおりません。たいていはウサン臭そうな目つきになってね、「なんやろこの人、妙なこと言うて、オウム真理教かもしれんな」いう感じで身構える。「付き合いお断り」て、顔にバーンと貼り紙して、もう口聞かん。

でも、そんな反応示すんは、世界中探しても日本人だけです。外国の人にとっては、何教であっても、毎日神様にお祈りするんは当たり前のことですよ。日本人が「先進国や」言うて昔っからマネしたがとるアメリカ人やヨーロッパ人やって、食事の前には神に感謝の言葉を捧げるし、学校の授業にもお祈りの時間があります。

修行が大切ですよ、て言うた人がバカにされるような国は、この日本だけですわ。このこと一つ考えてみても、日本がどれほど世界の常識から外れた、墮落した国かちゅうことがようわかるんです。

こんな風にお聞きいただければお分かりいただけると思いますけど、これは何も学校の先生だけに関係する話やありません。それこそ老若男女、あらゆる日本人に当てはまることなんですわ。いまより少しでも日本をマシにしよう思うたらね、みんなが信仰取りもどして、一生懸命修行するような、そういう社会にならな、絶対に無理ですわ。私の言うてるようなことがね、ごく当たりの、常識として通用するような世の中にならんといけませんよ。

何もね、滝に打たれるとか、毎日6時間座禅しろとか、そういうことを言うてるんやないんです。寺に行けとも、教会へ行けとも言うてません。自分の家でね、1日15分、15分でええんです、じっと静かにね、こころを落ち着けて瞑想する。そしてそれを十年、二十年と続ける、こんだけしたらもうええちゅうようなことはなくて、一生続けるんです。1日15分の静かな時間が確保できんような人は、この世におりませんよ。要はやる気です。何が何でもやり遂げるいう、根性ですわ。

ゆがんだ鏡

修行はね、こころの汚れ、私はよう「垢」言いますけど、この、こころの垢を落とす営みです。どんな人でもね、それまで生きてきた全部の時間をかけて、ゆっくりゆっくり、こころに垢を付けて来とるんです。生まれたての赤ちゃんには、垢ありませんよ、まったくね。ありのままです。仏さんと同じです。でもね、育って行くにつれて垢がつき始める。そうすると、この垢を落とすのも、付けてきたのと同じくらいの、長い長い時間がかかるんです。ポンとスイッチ押したら、シュッとリセット、ちゅうわけにはいかない。一生かかる言うても、間違いやないんです。

こころを鏡にたとえることもできます。生まれたての鏡はね、すっきりと澄んでいる。そして、きれいで真っ平らです。だから何を映しても、ゆがみもひずみもなく、曇りもなくね、ピターッとありのままに映る。ところが時間がたつにつれてね、あっちが曲がったり、こっちが欠けたり、それから汚れや曇りが付いたりしてきます。そうするとね、そこに映ったものは、実物通りの、ありのままやないでしょ。ゆがんでたりね、肝心の部分が映らんかったりする。まっすぐなもんが曲がって映り、曲がるとるもんがまっすぐに映る、ということも起きますわね。

こころに、そういうゆがんだ鏡を持ったままやとね、ええもんが悪く見えて、悪いもんがよく見えるんです。間違ってるもんが正しく見えて、正しいもんが間違ってる見える。しかも、そんなふうには違って見えてるということが、本人にまったくわからんです。自分の好みに合うてれば、本当はダメなもんでもええように思えるし、反対に好みでなければ、ええもんでもダメに思えてしまう。悪人でもウマが合えば「ええ人や」思うて友だちや恋人や連れ合いにするし、ええ人でも自分の気に入るようなことをしたり言うたりしてくれんと「やな奴やな」言うて、毛嫌いしたりいじめたりするんです。素直に育てられた小さい子どもは、こういうことあんまりないでしょ。それは、こころのゆがみが少ないからです。まっすぐで、汚れてない部分がぎょうさん残とる。大人になればなるほど、こころはどんどんゆがんでいきます。

修行は、このゆがんだこころをまっすぐに直すことです。出っぱり引っこみを平らにして、欠けたところは補ってね、汚れや曇りをきれいにとる。

本当にまっすぐになっとんのか、きれいになっとんのか、それがちゃんと分かるためには基準がいるでしょ。家建てるんでも、大工さんがちゃんと水準器当てて水平・垂直出しますわ。「大丈夫、まっすぐや。ワシの目に狂いはない」とかええ加減なこと言うて、目

分量で家建てるような人、おりません。人の目とかね、判断、感じ方というのは、その人その人によって、どこかしらにかたよりのあるもんです。そういうのを「相対的」言うんです、絶対やない。だから、絶対的なモノサシがいるんです。

物の傾き具合とかね、寸法、重さなんかは、水準器や定規を当てたり、ハカリに載せてみたりすれば、正確に計ることができます。でもね、人間のところは物とちゃうから、そういうわけにいかない。人のところは何を基準にしたらいいか。

それが、聖なる人の教えなんです。前にも話したように、私は釈尊・キリスト・老子・ソクラテスの、歴史的な4人の聖者を「四聖」と呼んで、その教えを絶対的なよりどころとして考えています。この方々のおっしゃったこと、書かれたことは、絶対的な真実です。いろいろと詳しく解説した本やら論文やらを私も書いていますから、ご希望の方はご連絡ください。こうした教えにのっとって生きていく限り、間違いを犯さず、正しい、充実した人生を送ることができるんです。

知識

聖書やお経、哲学書に書かれた教えを、知識として知っておっても、それでは何にもなりません。知ったたらその通りにできるか、言うたら、そんなことないでしょ。人を差別することはええことか悪いことか、聞かれたら、おそらく百人中九十九人までは、「そら悪いことや」と答える。そういうことはちゃんと知ってますよ。じゃあ、その九十九人が絶対に人を差別せんかと言うたら、まずそんなことはない。知ったることと実行できることとの間には、深い断絶があるんです。

聖書のことばで言えばね、有名な「右の頬を打たれたら、左の頬を差し出せ」というのがあります。これ、信仰のない日本人でもけっこうよう知ったる。欧米人なら、小さい頃からこの教えを叩き込まれてますわ。じゃあね、この教えを本当に実行する人、できる人、かつてこの通りにした人が、世界に何人おるのかと。キリストがこう言わはってからね、二千年の間に、本当にこの通りできた人が、果たして何人おったでしょうかね。現代では、もう間違いなく、1人もおりませんよ、世界中探してもね。キリスト教信者であることを公言する人ですら、守ってません。核弾頭が飛んできたら、すぐさま迎撃ミサイルが発射できるように、軍事衛星で目撃らせとるやないですか、先進国ならどこでも。それから、何か紛争が起きそうになったら、すぐに経済封鎖して制裁加えます、絶対に許さんでしょ。

アメリカのテロの時も、大統領はテレビ演説で、「絶対に許さん。いつでもやり返す準備はできてるで」ちゅうて、まなじり決して言うてるでしょ。

右の頬を打たれそうになったら、パッとその腕ねじ上げて押さえ込んでね、立ち上がれなくなるまで徹底的に痛めつける。これがいまのやり方ですよ。左の頬差し出すなんてとんでもない。

国同士の話やなくて、個人レベルでもほとんど同じです、事情は。やられたらね、2倍、3倍にしてやり返してる。よく言う「目には目を、歯には歯を」ちゅうやつね、これは「同態報復法」言います。自分がやられた分、そっくりそのままならやり返してもええと。目エやられたら目エやり返す、歯アやられたら歯アやり返す、そこまではええ、それ以上やり過ぎたらそれは違法や、いう決まりですわ。

いまは、ほとんどこうなっとらん。目エやられたら目をやり返し、それから歯もやって、ついでにアタマどついて足引っ張る。コテンパンにやりますわ。日本じゃ、電車の中で目が合った、いうだけでね、別にイチャモンつけたわけでも手エ出したわけでもないのに、「何やオマエ、文句あるんか」言うて死ぬまで暴行加える。素手で殴り殺すんやから、並みの神経やないですよ、異常です。そんで警察に捕まってね、「こんなんしてええ思うとったんか？」て取り調べ受けると、「いいえ、悪いことした思うて反省してます」とか言う。悪いこと知っとってもやるんです、人間は。

タテマエとホンネ

何で、したらイカンこと知っとってもやってしまうか。一つには、人間が理性で生きるんやなくて、こころで生きとるからです。理性はタテマエ、こころはホンネです。ホンネの前には、タテマエはすぐに吹っ飛んでしまう。

二つめには、他人や社会より、自分を優先するからです。私のことばで言えば、自己ばかりが肥大して、他己が枯れとるからです。宗教が生きていれば、その教えが他己の支えになります。支えがなくなると、他己はあっちゅう間にしぼんで、見えなくなってしまう。他己がしぼんだ分、自己がのさばってきます。精神はそういう仕組みになっとんです。

宗教が残っている社会でも、民主主義の力が強いと、他己はだんだん枯れてきます。キリストが「やられてもやり返すな、我慢しなさい」言わはって教えを垂れても、信じる気持ち薄くなっていると、その通りに受けとれん。「そんなんでできるわけないやろうが。

できんのが人間や。できんでもええんや」言うて、開き直るようになる。誰のことも信じられへんで、おのれだけを信じて、それでええつもりになっとる。

これが進むと、キリストやお釈迦さんの言わはること実行しよったら、命がいくつあっても足りへん、世の中ムチャクチャになってまうとか言うて、聖人の教えを非難するようになります。文化人や有名な人が、そないに言うてますよ。テレビやラジオでしゃべったり、雑誌や本でエッセイ書いたりしてる。宗教者はできもせん無茶を言うんやと。その通りにできっこないんやし、したらいかん。ただ、ときどきそういう言葉も聞いて「ふーん、そないな考えもあるんか」言うて、ちょっと立ち止まってみる。そういうために宗教はあるんや、宗教いうたら、そんな程度のもんやで、こないに言うんです。

キリストや釈尊の教えを信じる気持ちか、これぽっちもない。それだけやなくて、そういう聖人より、自分の方が偉いんや思うてます。ワシの方が賢いんや、見てみい、ワシのファンこないに大勢おるやないか、言うて、まあ公言はしとりませんが、ひそかに心の中で思うて悦に入っとる。こういうのを、凡聖逆謗（ぼんしょうぎやくぼう）言うんです。何にもわかっとらんタダの凡人が、聖なる人をバカにするということですわ。正真正銘、ホンマの罰当たりです。必ず地獄に堕ちますわ。本人はわからんでも、社会全体を地獄へ導いてます。

自分の頭の上に、自分で上ろうとしてるようなもんやな。ひっくり返ること知りもせんで、ええ気なもんですわ。しかも、自分がひっくり返る時に、必ず周りの人を巻き添えにしよる。ホンマの悪人です、こんなんは。

砂の上に打ち捨てられた魚

こんなふうだね、こころはやっかいなもんなんです。釈尊は、こころのことを、砂の上に放り捨てられて、バタバタはね回る魚にたとえてはります。どんなにジッと抑えておこう思うても、こころは勝手にはね回ってしまうんです。一生懸命勉強して、本もぎょうさん読んで、ええ大学に行く。そしてインテリばかりが集まる職場に就職して、難しいことばかり言うたり考えたりして暮らすと。そういう人のこころが、安らかに静まっているか言うたら、ぜんぜんそんなことないでしょ。

例えば女子高生と淫行してつかまった裁判官いてました。裁判官ちゅうたら、まあ最高のインテリでしょ、世間では。それが、「若いコと付き合うて、刺激が欲しかったんです」

と。逮捕した警官がね、「オマエ職業何やねん」聞いたら「ハンジです」答えた。「ハンジ？ 何やハンジで。裁判官や言うんか。ウソついたらいかんで、ウソ」ちゅうて、信用せんかった。調べてみたらホンマやったんで、もうあきれて声も出んと、こんなんですわ。だいたいね、アタマええちゅうことになっとる奴ほど、ズル賢く、ワル賢くなって、バレんように欲望満たしとるやないですか。外務省や警察の不祥事なんて、最近のええ例です。アタマが発達するほど、それに比例してこころ汚うになってしまうもんなんですわ。

こころをコントロールしてね、間違い犯さんように、悪いことせんようにして、ほんまの人間らしい、ええ人生送るには、こころを整える修行する以外にないんです。さっきから同じことを何度も繰り返しとるようですけどね。でもね、私もう十年以上、このことを言い続けてきて、本当に、こころから、そうやなあ言うて、実行してくれはる人に、ほとんど出会わないんです。たいていの人はね、私が話をしたり、文書いたりすると、「いやあ、ええこと言うてくれはる、勉強になります」言うてくださいます。でも、それまでなんですわ。そこから先の、もっと大事な実践の部分になかなか至ってくれはらへん。失礼な言い方やけど、右の耳から左の耳に筒抜けですもん。

これも前に言うたことやけど、私、何もね、ものすごい特別なこと言うてるんやないんですよ。昔の日本やったら大勢の人が当たり前にしとったこと、まあ、多くの日本人が本当に敬虔やったのは、千年以上さかのぼらんといかんと思いますが、とにかく日本にも、そういう、みんなが聖なるものにしたがうちゅう時代があったんです、そこに還りましょと。

原始的で不合理な生活せえ、と云うんやないんです。気持ちの、精神の上で大切なものを思い出しましょということなんですわ。それから、現代でも日本以外の世界の国で、いろんな国民がしとること、それを日本にも取り戻しましょと、こういうことを言うてるんです。

これを実行してもらえるにはね、私の話が真実やと、本当のことなんやと信じてもらわなければなりません。信じるいうんはイチゼロの世界やからね、つまり、信じとったらイチで、信じんかったらゼロでしょ。中間、グレーゾーンがありませんわ。

私もいままでいろんな人に出会うてきましたけどね、「中塚先生の言わはることを信じたら、自分いうもんがのうなってしまう気がする」、こないに言うた人が何人もおりました。怖いんですね、私を信じるんが。「おのれを捨てなさい」言いますから、それまでの自分の人生が全部否定されて、依って立つところが何にもなくなってしまうような不安が

あるんでしょ。でも、本当はね、そない必死にしがみついているもんは捨てて、すべてをまかせることができたら、そこに、本当の自分、いうもんが立ち現れてくるんですよ。これはね、言葉でなんぼ説明してもそれこそわかってもらえませんが、これ以上は言いませんけど。

自閉症

やっぱり、言葉でわかってもらいうんはね、至難の業ですわ。ほとんど不可能に近い。私、もう二十年以上ね、研究者、心理学者として一生懸命に学問してきました。もちろんいまでも続けてます。これまでに書いてきた論文、それから学会の発表、別に自慢で言うんやなしに、かなりあります。少ないちゅうことはない。

中心になっているのは、自閉症という発達障害です。子どもさんの障害の中でね、一番わからんのがこの自閉症です。原因がわからんだけやのうて、自閉症でそもそも何なんか、そのことがわからん。自閉症には、多くの場合知的な障害が一緒に出てきます。じゃあ自閉症言うたら知的障害かと。でも違うんです、IQ ものすごく高くて、有名大学に行くような自閉症児がおる。少し前に、「レインマン」いうアメリカ映画あったでしょ。ダスティン・ホフマンが自閉症者の役しとったんですけど。映画の中で、この人が、床にバーツと散らばったマッチ棒の数を、一瞬で数えてみせるいうシーンがあった。そういう、ずば抜けた能力を示す場合もあります。何でそういうことになるんか、説明ができません。

自閉症が発見された頃は、親、とくにお母さんの子育ての仕方がまずくて自閉症になるんやと言われとりました。いろんな研究でこの説は否定されましたけど。でも、いまだにそういうこと言うてる学者も、中にはおります。世間でもそないに言う人がある。

私は、それこそ何十本も論文書いて、自閉症とは何なんかいうことを発表し続けてきました。自閉症は、私の言う他己、その中でも私が「人の心を感じるころ」と呼んでる、「感情機能」の障害です。この考え方で、自閉症児の症状や行動が、すべて説明できる。まあ、専門的なことは控えておきます。ご関心ある方は、どうぞご連絡ください。

しかしね、私の自閉症説は、残念ながら広まりませんわ。まあ、私自身には、説を広めて有名になったら、いう気持ちが全然ありませんから、そのこと自体はどうでもええんです。でも、私の考え方の共鳴してくれはる人が増えたら、自閉症の研究がもっと進歩すると思うんです。そしたら、自閉症児にも、その家族にも、もっと幸せになっていただける。

世の中も、ずっとマシになると思います。その願いだけがあるんですわ。

障害者差別

いまでもね、相変わらず障害児やそのお父さん、お母さんは、世の中からごっつい差別されてますよ。養護学校なんちゅうもんが残っとんのはね、先進国の中では日本だけなんです。

みなさん、養護学校て見たことありますか？ 行ったことありますか？ そういう経験ある人、かなり少ないんじゃないですか。町出歩いててね、小学校やら中学校やらはそこら中にありますけど、養護学校はめった見かけませんよ。それはね、たいていの養護学校が、とてもやないけど歩いては行かれんような、どえらいへんぴな山ん中とかね、そういうところに、ポツーンと建てられとるからです。1人で学校通うんが難しい障害児ですよ、そういう子たちをスクールバスで集めて、山ん中に隔離しとんです。これは差別ですよ。どこへでも自分の足で歩いていける健常な子たちの学校をね、山の上に作ったらどうですか。どうしても養護学校建てたいんやったらね、駅前に作ったらどないですか。何でせんのですか、そういうことを。

そもそも、何でわざわざ養護学校なんちゅうもんがいるんですか。ぎょうさんある小学校、中学校にね、障害児も一緒に通ったらええやないですか。私がこないに言うとな、「いや、養護学校の方が一人ひとりに合うた教育ができる」こない反論する人がおりますよ。じゃあね、いまの小学校や中学校では、一人ひとりに合うた教育ができへんのですか。してへんのですか。文部科学省はそういう教育せえ、って言うとるやないですか。矛盾してますよ。

それからね、こないなことを言うた人もおった、「養護学校には、親のニーズがあるんや」てね。これ言うた人、障害児教育の大学教授ですよ。私これ聞いてね、こいつホンマのアホやなアって、心底あきれました。いまでもよう忘れん言葉です。

何言うとなや、ちゅうことです。考え方がね、まるっきり正反対ですよ。世の中が障害児を受け入れんでね、差別しよるから、養護学校があるんやないですか。なくても十分にやっていけるもんをね、わざわざ作って差別を助長しとんです。どこの世にね、好きこのんで我が子を隔離したい親がおるんですか。

以前、私が研究で知り合うた自閉症児のお母さんね、その子幼稚園児やったけど、小学

校は地元のところには行かせん、言うたんですよ。幼稚園は近所のところへ行っただけで、そこでさんざんな目に遭うてると。幼稚園の先生がね、ごっつい差別的な扱いを、その子とお母さんにしよったんです。詳しいことはよう言いませんがね。先生が、ですよ。私あきれて声も出んかった。小学校では、もうあんな目に遭いたくないと。バスに乗せてね、誰も知らん遠くの養護学校へ通わせると。そこなら、まあ、同じような友だちばかりやし、知り合いやら誰やらから、やかましい、傷つくようなこと言われんでも済むからと。涙ながらに話してくれましてね、私もほんまに、暗澹たる気分になりました。

これのどこが「親のニーズ」ですか。泣く泣く、嫌々、言うたらちょっと言い過ぎかも知れませんが、本当は、地域の学校に、近所の友だちと一緒に仲良く通って欲しいなあ、こういう思いをね、多くの親御さんが持ってはるんですよ。それなのにね、そういう親御さんたちの代弁者になって然るべき大学教授が、それと全然反対のことをしゃあしゃあと抜かしよる。世の中の差別を温存し、助長しよる。許したらいかんことですよ、こういうのは。

ハンセン病

養護学校残しとんのは日本ぐらいやしね、しばらく前に裁判のことでいきなり報道されるようになったハンセン病の差別問題、ああいうことが起きとんのも、先進国の中では日本だけなんです。NHKのテレビでやとりましたがね、もう、大正時代の頃には、国際学会で、「ハンセン病は遺伝性ではなく、感染力もきわめて弱い。隔離して治療する必要はまったくない」ちゅうことが共通認識になっとったんです。ところが日本では、その後何十年にも渡って、隔離が温存され、差別が残った。これ、何でや思われます？ みなさん。

ハンセン病治療の権威やった人がね、昔、こないに言うてます。「ハンセン病患者を世の中に出しても、村八分にされて、ホームレスになるだけやで。そんなんやったら、治療施設に隔離しといてやった方がええんや」てね。まあ、そのころは「ホームレス」という言葉はなかったと思いますけど。

これね、障害児は養護学校に通っとたらええんや、いう発想と同じでしょ。障害あるような奴がね、通常学級におってみい、みんなにいじめられてな、邪魔モン扱いされてかわいそうやろ。そんなくらいやったら、養護学校入れといてやった方がええやろうが、ちゅう考えですよ。

こういうの、正しい意見ですか？ 間違ってますよ、ムチャクチャです。ハンセン病患者や障害児は差別されて、いじめられて当然なんやということでしょ。ハンセン病にかかるとてもホームレスなんちゅうことなくて幸せに暮らせるような、障害があってもみんなと仲良う学校に通えるような、そういう社会にせんとイカンのと違いますか。

何で日本にだけ児童虐待があるんか。何で日本にだけ引きこもりがおるんか。何で日本にだけ援助交際があるんか。あ、この間ニュースでやってましたけどね、お隣の韓国でも、援助交際が社会問題になり始めているそうですわ。韓国も、だんだん日本みたいになりますねえ。本家本元の日本じゃ、今もう、ほとんど誰も援助交際のことを問題にしてませんけど。当たり前すぎて、ニュースバリューがなくなってしもうた。面白くないと。

それから、何で日本にだけハンセン病患者の差別が残ったんか。何で日本にだけいまだに養護学校があるんか。こういう問題は、深いところで一つにつながったんやと思います。こういうのは、私の考える自己と他己いう、人間の精神の仕組みで説明できると考えてます。ただ、ハンセン病とか、障害児の処遇というようなことは、歴史的なことも合わせてよう考えんといかん思いますので、ここでは、もう詳しくには言いません。いまちようどそのこと研究する言うてる学生さんがあるんで、いっしょに勉強して、いろんなことがわかったら、またみなさんにお話聞いてもらおうと思うてます。

自己・他己双対理論

いまから十年と少し前、ちょうど坊主になったのと同時にね、この「自己と他己」いう考えが私の中に生まれてきて、それから何年かをかけて、学問の形として整理をしました。難しい言葉で言うたら「自己・他己双対理論」、て名付けてます。以来ずっとね、この理論を中心にして学問を続けて来とります。いろんな分野にこの理論応用して来ましたらね、どれもこれもよう説明がつくことがわかった。

パスカルがね、「人間とは考える葦である」、と言うた。それからキエルケゴールは、「人間とは精神である」、と言うてる。人間の存在は、精神そのものなんや、ちゅうことです。つまり、人間が生きて、この世でいろんなことをしとるちゅうのは、精神の働きそのものや、いうことですね。

私の自己・他己双対理論は人間の精神を明らかにした理論やから、この世に起こる、人間の精神が関わった問題には、まず例外なく応用できるというのが、当然言うたら当然でも

あるんです。人間の精神が関わる問題、ちゅうたら、いわゆる人文科学です。宗教学・哲学から始まって、私の専門の心理学、精神医学、それから教育学・倫理学、政治学・経済学・法律学・社会学、まあ思いつくままにざっと挙げてみても、こんなようなんがありますわ。いろいろな分野の研究をね、毎年論文にして世に問うてきております。これを続けてね、私は「人間精神学」いう、いままでの学問分野をまとめることができるような、新しい学問体系作ろうと、こないに考えてるんです。

さっきも言いましたけどね、なかなか言葉ではわかっていただけない。表面的なところは、知識として理解してもらってもね、心底信じてもらうんは至難の業です。だいたい私の言うようなことは、知ってもらったかて、それだけではほとんど何の役にも立たん。腹の底沈めてもらうて、その中身を実行してもらわんかったら、意味がないようなことばかりです。だから、よけいに受け入れてもらえんのでしょけどね。

私個人の思いとしてはね、受け入れてもらわんでもええんです、別に。自閉症の話のところで言いましたがね、広まらんでも一向にかまわない。ただ、やっぱり研究者の使命としてね、文字として、言葉として、学問いう形としてきちり残しとくいうことはやります。それが世の中に受け入れてもらえんのやったら、それは別にそれでええ。残念やけど、仕方ないことですわ。でもね、私の言うような方向に社会が進まんかったら、おそらく早いうちに人類は滅びますよ。あんまりノストラダムスみたいなことは言いたくないんやけどね。

特に日本はね、世界のトップランナーとして、一番先に、もう地獄の2丁目あたりまで来とんですよ。いや、3丁目かもわからんな。これ、本人たちの知らん間にね。おおかたの人、気付いてませんわ。ここから引き返すのは、かなり難しい、ほとんど不可能に近い。私が言うてるのは、引き返しましょう、ちゅうことなんです。

別に私、自分がね、みなさんをどうこうしたいとか、言うこと聞かせて、マインドコントロールしてええ気分になりたいとか、そんなんやないんですよ。みなさん自身が、いまよりちょっとでも幸せになってくれはったらええなあと、いまの世の中ね、不安や寂しさや、疑問や悩み抱えて苦しんではる人が多いでしょ、実際に。そういう人たちがね、ちょっとでも救われて、生きてる意味や幸福を感じてくれたらええなあ思うて、ただそれだけで言うてるんです。

でも、そういう気持ちも誤解されることが多いんです、残念なことね。この間も、ある学生さんのお世話を少しさせてもらうたらね、その身内の人たちが、よってたかって私

のこと警戒すんですわ。そのお子さんにね、オマエな、中塚いう人にだまされとんので、言うて。何かのな、見返りのために利用されるに違いないんや、今日び、赤の他人が、なんで無償のお世話なんかしてくれるねん、そないなこと、あるわけがない、だまされて、利用されて、用事が済んだらポイヤ、そうに決まっとる。だいたいこんな感じですよ。私、もうアホらしいんでね、黙ってましたけど。

これね、言うたら悪いんですけど、その方たちがね、人を利用することしか頭にないんです。自分の投影、英語でプロジェクション言いますけど、自分の姿を私に重ね合わせて、もの言うとんですわ。自分のことしか見えてなくてね、他人様のお世話させてもらうという人間があること信じられない。自分がそないなこと、思いもよらんことだからですよ。自分の色メガネかけてしか、人のことが見えん。だから、人の正しい姿がわからん、ゆがんで見えてまう。だから不安で、恐くて、人のこと信じられへん。これはね、結局自分のことも正しくわからん、ということです。人のことをよう信じられん自分ちゅう人間が、本当は間違っとなのやいうことに、全然気付いてないでしょ。

しかしねえ、こないな人をいくら説得して、こころ込めて説明したかて、たいていは骨折り損のくたびれもうけで終わるんですよ。何にも実りがない、徒労に終わります。私もヒマではないんでね、無駄なことに時間取られるんはなるべくゴメン被りたいなあ、思うんです。

ひびきのさと

若い方に私のところ来てもらうてね、一緒に働き、一緒に学問し、一緒に寝起きすると。そういうことができへんかなあ思うて、いまいろいろと考えて、準備もしよんですよ。そういうね、村、言うんかな、コロニー言うたらええのか、そういうんができたなら、「ひびきのさと」って名づけよう思うてるんです。みんなが心を響かせ合って、仲良うに生きていけるところにしたい、と思うてね。

私、もう十年以上もね、どないなことしたら、世の中のお役に立つことができ、みなさんに幸せになっていただけるかなあと、どないなことが、具体的に、実際的にみなさんのお役に立つんかなあってね、いろんなこと考えてきとるんです。お寺作ってね、いろんな方にお参りしてもらうて、それから障害児や障害者をお預かりして一緒に修行するとかね、それから子育ての悩みや子どもの発達についての相談をするとか、家庭・家族の問題

を研究して支援事業するとかね、考えてきました。実行もしてきてます。これから先も、そういう仕事が発展していくかも知れん。

まあそういう仕事の中でもね、何を一番中心にしてったらいいのか、ちゅうことをいろいろ考えるんです。するとね、やっぱり若い方に頑張ってもらえるようなお手伝いするんが一番かなと。いまは、日本人が老いも若きもみんな、生きる手がかりういか、指針、こころのよりどころですね、そういうもんを失ってしまって、真っ暗闇を手探りで進むような、そういう状態になっとる。なんでそないになっけしもうたか言うたら、それはいままで何べんも繰り返してきたように、信仰を失ったことが根本的で、決定的な原因です。でも、そのことがなかなかご理解いただけない。

まあ、とにかく支えがないんです。支えなんてなくてもええわ、言うて、刹那に生きる人、欲望を満足させるだけが生きがいやと思うてる人が大多数。そういう中でも「自分の生まれてきた意味、生きてる意味て何やろう」て、真剣に悩む人が少しはいてるかも知れませんが。

失業率

最近の新聞見ますとね、失業率がいままでで最悪になっとる言うて、連日報道しとる。これ、もっと増えるでしょうね、今後。小泉首相は「構造改革進める中で、失業率が高まるのはやむを得ん」ちゅうことを、ずーっと公言し続けてますから。そんで、まだ何もせんうちに、失業率最悪でしょ。何にもせんてそうなんやから、ちいっとでも何か具体策があったら、それを引き金にして、さらにドーッと高まることになりますよ。

失業者の中にはね、リストラされて、やむにやまれず辞める人も、そらおるでしょうけど、最近若い人がね、希望退職制度利用して、どんどん辞めていく。マツダとかね、松下電器とかのことが、だいぶ話題になったでしょ。希望退職募るとね、会社がびっくりするくらい申込者が殺到して、あっちゅう間に締め切らんといけなくなる。若い人はね、辞めた後のこと、何も決めとらん場合がほとんどですよ。あてがあるわけやない。そらそうですよね、失業率が上昇しとんのやから。再就職せん、できんのかも知れませんが、そういう人が多い。

とにかく辞めたいんです。明確な人生設計持って辞める人が、そんなに多いとは思われへん。仕事が面白いと思えん、会社への忠誠心なんて、まあサラサラない。それで、いま

辞めれば退職金2倍3倍上積みやと。そうになったら、あ、そうでっか、ほなすぐに辞めますわ、言うて、パツと辞める。とにかく辞める。辞めるだけは辞めといて、後のことはそれから考える。

実際にね、パートやらフリーターやらで、食うていだけやったら、どないしても生きていけますわ、いまの日本やったら。仕事のうて、明日の米もなくなって、飢え死にするちゅうようなこと、日本ではまず起こらない。

何十年か後にはわかりませんよ、失業者がゴロゴロあふれて、社会が荒廃して、治安が悪化して、そこへもってきてさらに食糧危機が来る。日本でも、そこらに餓死者が転がるとるちゅうようなことが現実になる可能性があります。

まあ、今はとにかくそういうことありませんわ。無職になっても飢え死ぬことはない。そしたら、先はどないになるやらわからんけど、とにかく今の仕事がイヤや、辞めとうてしゃあない、一千万か二千万か、まとまったお金くれるんやったら、ハイどうも、言うてサッサと辞める。

公務員にも勸奨退職制度あって、利用する人けっこう多いようですね。学校の先生でも辞める人が多い。わたしの知ってるある人ね、この人教員でしたけど、三十代半ばで仕事辞めた。年齢的に退職金の上積みはありません。不利な条件で辞めた。でも退職する時ね、職場の人や知り合いの教員が、大勢うらやましがったそうですわ。「アンタ辞めるん？ ええなあ、ワシも辞められるもんやったら今すぐ辞めたい」言うてね、ええなあええなあ言うた人がぎょうさんおった。うらやましがられても困りますわ、って、その本人は苦笑いしとったけどね。ホンネでは、先の生活なんかどうでもええ、とにかくいま、この状態から脱出したいんや、ちゅうことなんでしょうかね、みんなの考えがそうなとる。

刹那

過去も未来もない、今がよかったらそれでええと。非常に刹那的になってます、多くの日本人が。これ、危険なことですよ。社会がものすごく不安定に、流動的になる。価値観もメチャクチャ、今もう充分メチャクチャになってますけど、それがさらに加速度的に進む。昨日イカンかったことが、今日はええことになとる、反対に今日はみんながええちゅうてるのが、明日はイカンことになるかも知れん。

そういうこと、けっこうありますよ。例えば不登校とかね、引きこもり。一昔前だった

ら、学校行かんで部屋から出て来んなんてね、相当に異常なことやった。大人がみんなアタマ悩ましてね、どうしたらええやろうか、どないしたら出てきて、学校行くようになるやろかってね、必死になって頑張った。今どうです？ 悩んでる人もいてはりますけど、不登校や引きこもりも、その子にとっては意味あるんや、無理に引っ張り出さんで、堂々とこもらしといてやったらええんや、こういう意見の方がずっと多いでしょ。ちょっと前なら考えられんですよ。価値観が簡単にひっくり返る。

援助交際やってね、本人がええちゅうてしとんのやから、まアほっといたれと、そういう風潮があるから、これだけ蔓延しとんです。若い女の子が、なんちゅうフシダラなことを、言うて怒る人が、ほとんど、いや、まったくおらへん。だいたい「ふしだら」なんちゅう言葉が、もはや死語ですわな。若い子に「ふしだら」言うても、「え？ フシアナ？ フジヤマ？ 何それ。イミわかんない」ちゅうて抜かしよるかも知れん。十年、二十年前やったら考えられんことです、こんな状態は。児童虐待も、学級崩壊も、今じゃ、あつて当たり前ですわ。

若者がね、みんなグータラに、怠けモンになって、そのくせわがままでエゴイスティックで、ぜいたくになつとる。一生懸命に働きたくはないけど、ラクして楽しく一生過ごしたいと、それが生きる目的やと。ほんまええ加減にせえちゅうて、どついてやらないけませんわ。まじめでやる気のある、ええ子もね、こういう悪の雰囲気にはジワジワジワジワ汚染されてしまう。人間誰しも相対的やからね、悪いモンの中におれば悪うになってまうんです、本人の好むと好まざるとにかかわらずね。それは、反対に、ええモンの中におればよくなる、教育の可能性があるちゅうことでもありますけど。

しかし、全体的には、どうしても悪い方に傾いてますなあ。私は何とかそれを止めたい思うてるんですけど。それには、やっぱり若い人に自分を磨く場を提供するんがいいんかなあと。

前門のアメリカ、後門の中国

この前、毎日新聞にね、岡本行夫という外交評論家の方が文章書いとった。この方外務省のOBでしたね、なかなかよう切れる、イキのいい意見言わはる。テレビにもよう出られてます。現状認識がね、けっこう正確。キッチリ、シビアに見てはる。

その新聞記事ですけど、岡本氏はこないに書かれてる。日本にとって、今、「前門のア

アメリカ、後門の中国」やと。もとなつとることわざは、「前門の虎、後門の狼」ですよ。前後から敵にはさまれるように災難受けて、もう絶体絶命や、ちゅう意味です。

私が最初の方でお話しした通りですよ。アメリカはね、戦後六十年近くかけて、遠大な計画をもって日本を我がものにしようとしてきてます。その計画はもう九分九厘実現してますわ。もう後一押しのとこまで来てます。

そして中国ね、工業技術の凄まじい発展があるでしょ。もうメイド・イン・ジャパンでは勝てん。価格の面ではもちろん、品質の面でもね、かなわなくなりつつあります。今度はオリンピックの開催も決めてね、ものすごい自信深めて、国中がもうガーッと盛り上がつとるでしょ。教科書問題とか、靖国参拝問題とかでもね、かなり高圧的に接してきてます。唐家?外相が、日本の首相に対して、靖国には行かんように「ゲンメイ」したと。あれは「言明」や、イヤ、そうやないで、「厳命」言うとなや、なんちゅうこと言わすんじゃ中国に、ちゅうて国内からも怒りの声が上がったりする。とにかく中国がそんなんです、いま。

大国二つにはさまれて、日本はもう沈没寸前ですわ。何年か、何十年か後に、日本がアメリカの51番目の州になる、または中国の県になる、北海道はロシアに取られ、九州は韓国に取られる、こないなこともあるかわからん。

私はね、そうなるんやったらなってもええ、思うてます。別に、日本が日本としていつまでも残って、発展し続けて欲しいなんてね、いっこも思わん。国なんちゅうものに、こだわりも、執着も、何にもありません。なるようになったらええ。もともと世界は一つなんです。みんなが仲良うに暮らせるんやったら、国がどうのこうの、言うてやかましゅうに騒ぐ必要はまったくない。

ただね、外国が日本に入ってきたら、日本はええようにされて、うまい汁みーんな吸われてもうて、搾取され尽くすに決まっとんです。利用されるだけ利用されると。そないなことになったら、みんなが不幸になります。日本だけやない、日本をええようにした外国も、結局は巡りめぐって罰が当たって、不幸になるんです。それは、世界の滅亡を早める道でもあるわけです。そんなことは、避けられるんやったら避けた方がええ。わざわざ自分らで自分の首を絞めることないんです。

岡本氏がテレビに出て、若者とディスカッションしとった時、ある学校の若い先生が、「日本が発展していくことが、そない大事ですか?」と質問しはった。経済大国になんか、ならんでもええやないかと。岡本氏は明確な答えを避けてはりましたけどね。もし私がそ

の場におったら、質問者に対して、逆に聞き返したい。「じゃあ、アナタは日本がどうなったらええと思うてるんですか？」とね。

経済大国なんて、ならんでもええやないか。ああなるほど、結構なこと言わはりますな。それじゃあ、どないな代案があるんですか。経済発展捨てる代わりに、日本は今後どないになっていったらええんですか。え？ 代案はない。どうなってもええやないかと。毎日命がつなげて、そこそこ楽しくに暮らして行かれればそれでええ。日本より大きな国にええようにされて、蹂躪されて、踏みつけられてもガマンすると。え？ そりゃ困る、言わはるんですか。でもね、いま日本がつぶれたら、ほぼ100%の確率でそういうことが起こるんですよ。アナタにはその覚悟ないんですか。将来の見通しがのうて、覚悟もせんのに、どうなってもええ、言わはるんですか。ムチャやないですか、そないなこと。自分で自分のこと、無責任やと思いませんか？ 教師でしょ、アナタ。

日本の役目

日本が食いモンにされて、その結果世界も悪い方へ傾く。そういう事態を避けるために、我々は何をしたらええのかということが、いま問題なわけです。岡本氏の結論は、アメリカや中国に負けん国際競争力を、日本が付けることや、こういうことです。いまは、岡本氏だけやなくて、99.999%の日本人が、同じように考えとる。何にも考えとらん、ボートした人をつかまえて、「日本がアメリカや中国に勝つことは、ええことやと思いますか？」て質問しても、まあ、おそらく全員が「そら、ええでしょうねえ」と答える思いますよ。

でもまあ、そうなれる可能性は、限りなく0%に近い。まず無理ですよ。いま日本を見渡して、アメリカや中国をしのぐような要素が、どこにあるんですか。残念ながらひとつもありません。日本の国際的地位や競争力が、今以上に高まるなんてことは、まあ、絶対に不可能でしょうね。何でそないに言えるんかちゅう具体的な根拠については、いままでさんざん紹介してきましたから、もう繰り返しませんけど。

まあ、もしね、奇跡のようなことが起こって、日本が世界一の超大国になって、アメリカや中国をアゴで使うと、そんなことが現実になったとして、じゃあそれで、日本や世界がよくなるのかと、あらゆる人々が幸せになるのかと、こないに言うたらね、それもありますわ。日本が外国にええようにされる代わりに、日本が外国を搾取しまくるようになる。これ、原理何にも変わってへんでしょ。するもんやされるもんが入れ替わったちゅう

だけですわ。どっちにしたって不幸であることは同じなんです。金持ちになってええ思いができるということと、本当に幸せに生きるということは、全然違うんですよ。

今の日本みたいに、民主主義が唯一絶対な思想にされとるうちはね、問題の根本が解決されることないんです。民主主義はね、数と力を絶対とする制度でしょ。この二つを好きなように持つ勢力が片方にあれば、絶対もう片方に、これらを持ってない、搾り取られる集団が形成されてしまうんです。いま日本は、いちおう数と力を持ってる側に所属しとると。でもね、じわじわと反対側に移りつつあるでしょ、移らされてる、いうかね。

実際、アメリカのCIA、中央情報局、ここは、あと十年ちょっとで、日本は世界のトップグループから滑り落ちる言うて、予測してますよ。もう少しそれが早まることやってあり得る。ま、そんなんは、はっきりとはわからんことですけど、可能性がものすごく高いことは確かですわ。

いま起こっとんのは、金と権力のシーソーゲームみたいなもんでしょ。誰かが取ったら、誰かが取られるんやと。そんなことを繰り返している限りね、絶対に進歩も幸せも来んちゅうことは、ちょっと考えてみたら誰でもわかるやないかと、私は言いたいんです。

誤解のないように付け加えておきますとね、じゃあ、かつてのソ連のように共産主義国家になって、私有財産制を否定すればいいのかと。もちろん、まったくそんなことではないんです。富の平等な分配と言ってもね、それは、私の言う他己が基盤になっとるわけじゃない。人様や社会のこと考えてね、進んでお布施するちゅうことではないでしょ。私有財産否定、共有財産制度もね、結局は自己肥大、エゴの拡張が、違った形で現れたことに他ならないんですわ。そういう社会が内側から崩れたというのは、歴史が証明してますよね。

生まれ！ 戻れ！

こんなんしとったらいかんで、と。それは人間の人間らしさから遠ざかる道なんやで、というのが、二千年以上前から続いてきた、宗教の教えなんですよ。老子とソクラテスという偉大な哲学者も、そう教えてくれはるんです。日本はそういう教えを捨てたら、わずか五十年ちょっとの間に、ものすごいスピードで社会が崩壊してきてます。

欧米先進諸国も、何百年か、民主主義、それから資本主義やね、これと信仰を両立させて発展してきましたけど、信仰がだんだん捨てられてきましたから、だいたい日本の後を同じようについてきてますわ。

最近のアメリカの様子見よったら、ようわかるでしょ。無茶苦茶にエゴイスティックになっとる。地球温暖化防止会議とかね、ミサイル防衛構想とかで、他の国の言うことに、まったく耳を傾けん。莫大な金と、強大な軍事力をカサに着て、外国をみんな従えようとしてますわ。むっちゃ傲慢です。キリストの教えが、完全にすっ飛んでます。

まあ、勝つ見込みないからええちゅうたらええんやけど、そんなアメリカに経済で勝つことが、ええことですか？ そないな努力することが、人間として正しいことですか？ 断じてそんなことないんですよ。それは、人間として、墮落することです。悪を為しています。そんなこと、したらいかん。滅亡を、自分の手でわざわざ早めるだけです。

滅亡への一本道をひた走っているトップランナーが、他ならぬこの日本なんです。私たちはね、この地獄の3丁目から後ろを振り返って、「おーい、こっから先行ったらあぶないでえー、みんなー、戻れー、戻れー、ついてきたらアカンぞおー」言うてね、呼びかけてやらなイカンのですわ。ワッセワッセ言うてついてくる、アメリカやら中国やらヨーロッパやらにね。それが、これから先のね、世界の中での日本の役割であり、日本自体が生きていく道なんです。これ以外にはないんですわ。私たちが生きていく道は。

こないになってしまった日本やからこそね、世界に示してあげられることもあるんです。信仰を失った国が、どれほど荒れ果てて、無惨な有様になるか、今すでに日本はその姿を世界中にさらしてます。まあ、そういう自覚のある日本人は少ないのが現状なんやけど。そういうことをちゃんと自覚してね、そこから引き返す道を、世界に対して具体的に示す。それこそ、いまの日本が世界にできる最大の貢献なんです。金をいくら持っとるとかね、いくらだしてやったとか、まあそういうことあっても別にええですけど、もっとそれ以上にね、人間としての精神文化のあり方を、ホンマに正しい生き方ちゅうのはこうなんや、いうことをね、世界に示してあげる。

民和主義

幸いなことにね、日本には、ええ精神文化の伝統があったんです。今じゃもうすっかりすたれてしもうて、だあれも見向きしませんがね。和が大切や言うて、みんな仲良うしましょうと。かつてそれが大切にされた時代があった。お互いにこころ通わせてね、コミュニケーションして、そのおかげで本当に平和がずうっと続いとった。もう千年も前のことですけど。

でも、キリスト教は今から二千年、仏教はさらに二千五百年の昔から今に至るまで、それこそ延々と人々の心を支え続けて来とんですよ。千年前やから、「そら古代やな、現代に通じるかいなそんなもんが」、言うて、簡単に切り捨てることはできません。遺跡ほじくり返して、おもしろがって喜ぶだけが、歴史を学ぶ意味やないんですよ。

今、歴史がブームですけど、単に好奇心、知的好奇心言うたら聞こえはええですけど、結局のところ、野次馬根性ですわ、そういう野次馬根性を満たすだけの対象に成り下がるとるでしょ。墓をあばいてね、世間にさらしモンにして、壁にきれいな絵が描いてあるなァとか言うて騒いどる。そんなもんが見つかったからって、なんやっちゅうんです。考古学者の飯のタネになってるだけですよ。そんなんだから、石器を自分で埋めて、また自分で掘り出して、ええもん出てきましたとか言うて、有名になろう、金も稼ごうちゅうような不心得モンが出てくるんです。歴史が、何の意味もない。おもちゃにされとる。

歴史の中に、人間の精神のあり方を見出さなきゃダメですよ。例えばね、だいたい千五百年くらい前、古墳時代というのがあった。日本中にぎょうさん古墳作られましたよね。私の生まれ育ったのは岡山の笠岡いうところですけど、近所に大きな古墳いくつもありましてね、子どもの頃は遊び場にしてみました。

有名なのは、大阪に仁徳天皇陵というのがあってでしょ。これはもうとてつもなくでっかい。エジプトのピラミッドより、秦の始皇帝の墓より大きい。それをまた自慢にして、日本民族の優秀性がどうのちゅうて言う人もおりますけどね、まあそれはええですよ、とにかく大きいことに違いはない。

だいたい社会科や歴史の授業で教えられるんはね、当時の権力者が、日本では天皇ですけど、そういう人が、自分の力の偉大さを天下に知らしめるために作らせたんや、ということです。まあ確かにそういう面はあったでしょうね。それで、民衆を駆り集めてきて、無理やり働かせて作った、半分奴隷扱いでやらせたようなもんやと、だいたいこんなふうに言われることが多いんじゃないですか。

しかしね、ブルドーザーもない、スコップもツルハシもない、ろくな道具がない大昔にね、あんなとてつもない大工事を、何万人もの人が、それこそ何十年もかかってやり遂げたちゅうのは、これは果たして強制労働だけで説明がつくんかいな、いう考え方もあるんですよ。やりたくもない仕事を、無理やり、嫌々やらされるような有様で、そんな工事が続くもんだらうか、と。仁徳天皇陵だけの話やないですよ、日本中に何千、何百とあるでしょ、古墳は。何でそんなことが可能やったのか。

これはやっぱりね、人々の間に信仰心が生きとったということが大きいんやろうなあ、と思うんですよ。神、仏という、人間を超えた絶対な力に対する信仰があった。それは権力者も同じです。そういう教えにしたがって権力者は政治を行い、民衆の心も非常に安定しておったと。権力者が尊敬されとったと思いますよ、ものすごく。だからこそ、古墳のような大工事が可能やったんやないでしょうか。

戦国時代になったらね、例えば信長にしても秀吉にしても、それから家康だって、部下や庶民から心底尊敬されとったわけやないでしょ。誰もが、目ギラギラさせて、その地位にとって代わったる思うてチャンスをとった。ヘタな時に手出しするとやられてまうから、表面上は服従姿勢を見せとったに過ぎません、誰でも。面従腹背ですよ。まさに、人が人に対してオオカミになとった。

古代にはこういうことなかったと思いますよ。もちろん政権争いもあったわけで、皆無とは言いませんけど、規模はずうっと小さかった、比べものにならんくらいね。だいたい民衆が下剋上でノシ上がるなんてことは、ぜんぜんなかったでしょ。すごく社会が安定して、平和が保たれとった。

これやっぱりね、社会に暮らす人々の他己が発達しとった、「他己社会」やったんやろなあと思うんです。聖なる教えを信じてね、その教えのもとに、みんなが仲良うに暮らす。これ理想の形です。そして、自己肥大させる「自己社会」ではこうはならん。民主主義ばかりを信奉しとるうちは、ダメやということです。私は、民主主義に代わる「民和主義」ということを考えとんです。民和主義が実現される世界を作りたいと。

晴耕雨読

そのためにね、まず思想・学問としての基礎をしっかりと作る。これ、今やとることです。それと同時にね、さっき言いましたけど、若い人にも来てもらって、一緒に実践活動できる場を作ろうと。その準備も始めてます。勉強と労働を二本柱にした共同生活ができたらええなあ、とね。

農地購入しましてね、できるだけ自分で食べるモンは自分で作ろう思うて、百姓してます。これ、前に言いましたよね。主食になるものとして、ジャガイモ・サツマイモ、それから大豆、カボチャ、サトイモなどを作ってます。あとはいろんな野菜。そのうちコメも作るようにします。でもコメは農業機械がいるんでね。最低でもトラクター・コンバイン

・田植機、この三種の神器がいるでしょ。お金かかるんでね、いつ買えますかねえ。

現金に換えられるものも作ろう思うてね、今はやってないんですけど、サトウキビ作ったこともあります。香川の、私の住んでるあたりはね、「讃岐和三盆糖」言うて、上等な砂糖が特産なんですよ。近所にもものすごく親切な人いはってね、いろいろと指導してくれはった。消毒やら何やらもね、「ついでにしといたで」言うて、知らん間にしてくれはる。しかしねえ、サトウキビ、これ無茶苦茶たいへんでしたわ、エライの何の。取り入れ全部手でしましたけど、関節がブーツと膨れあがってしもうてね、しばらく、何日間かね、もとに戻らんかった。あとで別の人に聞きましたらね、取り入れの機械、今はええのあるんやいうことでね、その方貸してくれそうなんで、それならまたしようかなあって思うてます。

まあ、サトウキビやなくてもね、百姓はしんどいですよ、エライエライ。特に私、有機農法に徹しよう思うてやってますのでね、できる限り化学肥料使わんようにしてる。どうするか言うたらね、カヤ、ススキですよ、これをたくさん育ててね、刈り取って肥料にする。お盆頃の暑い盛りにね、刈り取って運んで、それから「かいば切り」という道具でザクザク切って、作物の間に敷き詰める。ぎょうさんありますから、鶏糞と石灰混ぜて堆肥も自分で作る。パンツがジュッと絞れるくらい、汗びっしょりですよ。仕事の後、ビール1リットルくらいは、あっちゅう間に飲めてまう。サトウキビの指導してくれはる方がね、「カヤは最高の有機質肥料やけんね、ええことしはるわ。しかし、本職の百姓もせんことを、ようやるなあ」言うて、誉めてくれはります。

そらそうなんですよ。百姓で稼ぐ人がね、私のするようなことしとったら、仕事になりません。やってもやっても、収入にならん。それにだいたい、体いかれてしもうて、仕事どころやない。私も、かいば切りザクザクやったあとね、ちょっとやり過ぎたかなあ思うたら、腕が上げにくいことありましたよ。

食糧危機

別に脅かすためだけに言うんやないですけどね、食糧不足、食糧危機、これ、近い将来に絶対来ますよ。来るかも知れん、ちゅうような生やさしい段階は過ぎました。100%、必ず来ます。今はね、スーパー行けば、ありとあらゆる食べ物がドーンと山積みになってますから、私がこんな言うても、真実味がほとんどないと思いますけど。

いま、日本の食糧自給率、ものすごく低いでしょ。先進国中最低です。輸入に頼ってないのはコメだけです。でも、このコメにしたってね、外国からの圧力があって、今よりもっともって関税率下げんならんようになる。

輸入米がドンドン入ってきたらね、日本の稲作農家はもうお手上げですわ。もう絶対になかない。コメの国際流通価格はね、日本の国内価格の十分の一なんです。つまりね、国内やったら1トン30万円ですけど、国際価格は3万円です。こんなんでもね、どうして太刀打ちできますか。

人間、食わなければ生きていかれん。農業はね、人間の生きる基本です。そのことにね、自由経済・市場主義の原理を適用することが、どだい間違ってるんです。お金の価値だけで、食糧をやりとりしたらいかんのです。それは結局、人の命を金でやりとりすることに等しい。

外国ではね、とにかく人件費をかけるで作物作る。広大な土地をね、大型トラクターでドドドッと耕してね、地下水ジャンジャン汲み上げて、スプリンクラーでザアザア撒く。そして化学肥料をどっさりやる。ものすごくようできますわ。単位面積あたりの収穫量がやたらに高い。

しかしね、それも数年なんです。ある年を境にね、だんだん穫れんようになる。土地が痩せてくるんですわ、こういう同じような作り方してるとね。地下水がなくなって、化学肥料漬けになった土地は、急速に砂漠化していきます。土がサラサラになってまう。そして雨がドッと降ると、土がみーんな流れていってしまうんです。それから、風がパーッと吹いたら、砂嵐になって飛んでいってしまう。こういう土壌流出はね、アメリカとかで、ものすごい深刻な問題になってます。そうやってしもうたら、もう何にも作れせんわ。こういうやり方を「土地収奪農業」、言うんです。土地を酷使して、土地自体の力や栄養分を奪い取るように作物を作ると。そりゃね、もちませんよ。そんな無茶したら。

仕方ないんでね、また新しい土地開墾するんですけど、そこでもまた同じことする。地下水使い放題、化学肥料やり放題。そしてさらに砂漠が広がるんです。こんなんしとったらダメやってね、みんなわかつとんですよ。でもね、やめられない。やめられないとまらない。どこの国でも、農民がね、安いもんを大量に作って出荷せな、食うて行かれんからですわ。農業を市場主義が支配しとる限り、砂漠化の悪循環はいつまでも続くんです。このまま行ったら、あと何十年かで、地球上の耕地はほとんどが砂漠になります。

そうやって、自国民だけで食うていくのに精一杯になったら、どうして貴重な食糧を日

本になんか売ってやらないかんです？ 通貨制度もおかしくなって、現金が価値を持たんようになるかも知れんし。

麦・大豆・トウモロコシ、肉・魚・エビ、バナナ、みーんなストップされて、日本国中たちまち干上がってしまいますわ。売ってやってもええで、とか言われて法外な値段ふっかけられて、ちいとばかり恵んでもらうと、そんなんになる可能性もある。それでスーパー行ってみたら、食パン1斤二千円、豆腐1丁千円、牛肉は百グラム一万円、とね。デフレや、半額セールや、ハンバーガー安いな、牛丼もええな、こない言うていられるのも今だけですわ。

こういう危機感が、今の政府にはまったくないでしょ。口では言うてますよ、食糧自給率上げなイカン、てね。でも言うてることとしとることが全然合うてません。農業も振興せな、とか、いちおう言うだけは言いますけど、反対側向いたらすぐに「日本の産業に国際競争力つけないかん」ちゅうて、競争力の弱い部門は切り捨てるんやと。そしたら農業は真っ先にカットの対象でしょ。大規模農業で、外国に太刀打ちできるんやったら、百姓してもええで、とか言うてね。「だいたい日本はな、技術立国なんや、先進国なんや。工業やサービス業で稼いでな、食いモンは外国から買うたらええんや」と。新聞にそんなようなことを書いとる人もおる。そないなことができると、本気で思うとんでしょかね。ちょっと信じられへん。

まあ、WTO ね、世界貿易機関。ここの考え方がこうなっとんですけど。結局、大国に都合のええ論理なんですわ。それが日本にも通用すると考えとる人が多い。これはね、たいへんな心得違いですよ。危険極まりない。

食べ物は、人間の命を左右します。「言うこと聞かへんのやったら、食いモン恵んでやらんで」、こない外国に脅されたら、「そんな殺生な」言うて、言いなりになるより仕方ない。今のようなグローバル社会では、食糧が、最終的で決定的な外交カードなんです。それを握られとる限り、命を預けさせられとるようなもんですわ。

産業はどうなる

農業はいま、世界的に危機なんですよ。地球上から耕地がなくなっとんです、砂漠になってしもうてね。そんで国内見たらどうですか。

放りっぱなしで荒れ放題の田んぼや畑がある。山もそうなっとる。企業を見たら、仕事

にやる気と情熱失って、早期退職でサッサと辞める人が急増しとるやないですか。引きこもって出てこん者もゴマンとおる、若いのがゲータラしとって働かん。株価は下がる一方、失業率は上がる一方。そんでお隣の中国見てみたら、二十歳ソコソコの若者が目の色変えて電化製品組み立てとんですよ。おかげで収益倍増、会社は大躍進。

日本の製造業は、もう完全に負けてますよ。今のところは過去の遺産で食いつないどるようなもんでね、あと何年かしたら、世界のシェアがひっくり返る可能性がある。IT や、IT や言うて騒いで、頼みの情報通信分野はどうか。高速インターネットの接続率ね、韓国は9割行っとるでしょ。それからソフト開発ではインドの方がはるかに進んでる。IT ではアジアの中でさえ日本は3番手、4番手じゃないですか、実際。

日本はもの作りの国や、言う人は多い。確かにそういう面はあります。技術が日本を発展させてきた。でもね、今、日本だけやのうて、世界中にモノがあふれかえっとんです。まあ、途上国は違いますけど。たとえば、今、日本の製造業が全部ストップしても、百年くらいは在庫で間に合うかも知れん。リサイクルショップに、どんだけ中古品の山ができとるか。わざわざお金使わんでもね、やる気になれば拾うたモノで十分家財道具がそろいますよ。

もう、新しいものを作り出す必然性が薄れてきてます。技術革新もほぼ完全に成熟して、画期的な新技術は生まれにくい。パソコンや携帯電話、あと何がどうなるのか。せいぜい通信が速くなるとか、画像がきれいになるとかくらいでしょ。付加価値がつくくらいで、飛躍的な発展じゃない。

家電にしても、例えば洗剤のいらん洗濯機ちゅうのができましたね。そうすると、洗剤メーカーが困る。「汚れはやっぱり洗剤つけんと落ちへんで」とか言うて、メーカー同士の摩擦が起こると。それから自動車も、ガソリンやディーゼルのエンジンに代わって、燃料電池が出来てくる。水素で走りますと。そしたら石油会社は喜んでいられません。死活問題になる。

結局こういうのは、消費者いう限られたパイを、企業が奪い合うわけで、生産が拡大するんやない、ちゅうことです。右肩上がりの経済成長というのは、あり得ない話になってくる。

市場主義の限界

市場原理主義、つまり安い物を大量に作って、それを輸出して儲けると。よそより少しでも安く作ってぎょうさん売る奴が勝つ、それができんところは負ける。すべてをコストに還元して考える、つまり労働力、人間が生きて働くということにまで値段が付くと。そんなのは、いつまでも続くことではないんです。早晩世界中がつぶれますよ。日本はもうトップから滑り落ちてるでしょ。

私と同じようにね、市場主義反対、グローバリゼーション反対言うてる人多いですよ。でも、前にも言うたようにね、自分が儲かるんやったら、市場主義もええなアってなるのがね、今の状況なんです。他人が稼ぐのは腹が立つ、ワシにも分け前よこせてね、一皮むいたら言うてることは市場主義と何にも変わってない。同じ穴のムジナです。考え方を、根本から改める必要があるんです。

私は、農産品、それから水産品、林業品、ちょっと難しく言うたら、土地に依存する一次産品ね、こういうものは、原則的に輸出入禁止にすべきや、ずっとこないに発言し続けてます。つまり、食糧をはじめとした一次産品は、基本的に商売の対象物にしない。自分のところで、自分が作った物を、自分たちで消費する。売り買いしてもええんですよ、生活に必要な分はね。自分たちの住んでる地域内での流通は、あってもええ。でも、農作物を投機の対象にするようなことはしない。限られた種類の作物だけをドッと作って、それで相場を形成して大儲け、ちゅうようなことはしたらいかんと。

そんなことできるんか、絵空事や、思う人多いでしょ。まあ無理もないです。でもね、できるかできんかやない。そない悠長なこと言うてる場合やないですよ、今はもう。やらんとみんなで共倒れですわ。共倒れの前に、共食いが始まるやろね。「そして誰もいなくなった」ちゅうことになります。まずは、日本と日本人が、真っ先にこの世から消えるんやないですか。

だから農業もね、もっと主食クラスの物を作るように変えていかなければダメや思います。今は正反対ですよ。安い穀類は大量に輸入してね、そして国産作物はどうか。ムシが食うた痕なんか一つも見当たらん、ごっついきれいな野菜やら果物やら作ってね、輸入品と差別化はかって、付加価値つけて高く売ると。それではいかんのです、そういうことでは。生産システムを改善して、外国がすぐに追いついて来ますよ。まあ、イタチごっこ。こんなことじゃ、農業そのものが、人間の生の営みから果てしなく遊離してしまっとなです。

私の町では、数年前ブロッコリーがどえらい儲かった。畑という畑が、みーんなブロッコリー色になりました。でも、作りすぎてね、ドーッと値段下がってもうて、今じゃだあれも作ってません。畑もそのまま放りっぱなし、春になると黄色いブロッコリーの花がそこら中で咲いてる。人気のない畑にね、モンシロチョウだけがヒラヒラ舞ってます。人間ね、ブロッコリーだけ食うて生きて行かれませんかよ。農作物で金儲けしよう考え方自体を、変えていかならんのです、根本的なところから。

私の言うのはね、まあ極端な言い方したら、鎖国です。貿易せん、輸出入せん。自分とこの国の中だけでね、自給自足で暮らす。工業製品はね、必要に応じて売り買いしてもいいことにしとくと、しっかりとした規制かけてね。

こういう私の考えとね、同じようなこと言うてる人いますよ。でも、現実味をもっては、世の中に受け入れられとらん、ほとんどは。フーン、そういう考え方もあるんか、面白いなあってね、まあせいぜいそんな程度です。でも、こういうことがね、まじめに実践に移されなかったら、日本の滅亡は早いやろうと思います。私自身はポツポツ始めてますわ。そしてね、同じような考え方もってくれはる人が少しでも増えたらええなあ思うてね、学問したり論文書いたりしてる。今すぐに、例えば1年2年のうちにこういうことが実行に移されたとしても、それが軌道に乗って、効果が現れて、社会が安定して来るには、たぶん二十年、三十年っちゅう長い時間がかかるでしょ。それまで世界が持ちこたえられるかどうかね。

さらば東京、さらば大阪

行政区画もね、もっと狭くなったらええんですよ。やっぱり人と人とが顔合わせてね、コミュニケーションがとれる距離にすると。お互いにこころこころ通わせてね、情動の共有がはかれる間柄にする。

例えば、私の住んでるのは四国ですけど、四国4県でね、四国州とかにして、独立した行財政単位にする。基本的に貿易はしないで、州内で人々の暮らしが完結するように社会を整えるんです。

こんなんしたら、東京や大阪では暮らしていかれへんね。それでええんです。大都市なくして、日本中を田舎にする。そして、すべての人が農業すると。専業でのうてええんですよ。会社勤めがあってええし、公務員なんかの公的サービスの仕事だっている。ただね、

収益に血眼になるようなことは、もう、やらんようにするんです。

労働時間をグッと短縮して、農業と家庭を大事にする。お母さん方がね、今以上に仕事について、外に出ていくことはええことやと思いますけど、その分、お父さん方が家庭に還ってこなくちゃいけない。いつも、必ず誰かが家庭にいて、子どもと共に過ごす状態を確保する。

これで、GDPも国際競争力も、今よりドバーッと下がるでしょう。そういう面だけ見たら、とうてい受け入れられない提案やろうと思います。今はとにかく利益と選好の世の中やからね。つまりぎょうさんお金稼いで、それを好きなように使って、快適で楽な暮らしをすると。それが人生の目標やちゅうことでしょ。そこから外れている人は、まあ日本中にほとんど見当たらん。貧しい暮らしせんならん人もおりますけどね、中には。

例えば、実際、私の知ってる人にも、現金がのうてね、電気もガスも止められる中で生活しとる人がいる。井戸があるんでね、水には困らんし、夜はロウソク立てる。火は薪で焚く。百姓しはってるから、コメはぎょうさんあるし、野菜も獲れると。そんなんで暮らしてはりますわ。そういう中でね、その人が、「ああ、生きていられてありがたいなあ」ちゅうて、何の不满も持たんで、毎日感謝の気持ちで、穏やかに、謙虚に暮らしとったらね、そりゃすごいことや思いますよ。まさに理想の、最高の生き方に近い。でもね、残念ながら、やっぱりそうやないんです。もうちょっと金欲しいなあってね、いつも感じてはる。たまに現金入るとね、たいていは酒買うて、あらかた飲んでまう。当面の電気代くらいは払うてね。どうしても欲に流されて、堅実に生活できんのです。

これ、この人だけ責められませんか。程度が違うだけでね、今はもう日本全体がこうなってるんやから。こういう中で、経済最優先は控えましょう、快適で便利な生活を制限しましょう、言うてね、賛同を得ることは、まあほとんど不可能です。

節約生活とか、シンプルライフとかね、ブームになってるようですけど、それかて、便利さ、快適さが損なわれん程度に、ちゅうか、便利さ快適さがよりアップするように、生活を変えましょう、こういうことでしょ。本当の節約とは、全然違いますよ。

でもね、別の面見たら、我々の目の前には、もう滅亡が口開けとんです。それを見んように、見んようにつて、みんながしてますけどね。「現実を見る！」て言うような、私のような者は、たいてい笑われるか、無視されるかしてます。本当の生き方や幸せは、GDPとか競争力とかの中にはないんです。でも、この説得は、ホンマに難しい。私もう十年以上続けて来てますけど。

楽はせん、させん

まだ頭が柔軟で、人の話に耳傾ける余地のある若い人にね、私の考えてることを勉強してもらいたい。これは、日本だけやない、世界を救う仕事に結びつくんやってね、私は確信してます。そして年輩の方々にはね、もっともっと、若いモンの尻ひっぱたいて、頑張らせてやってほしいんです。

やっぱり、楽させたらダメですよ、若者や子どもには。それでなくても若い連中自身が「楽したい、楽したい」なんて、平然と言うような状況でしょ、それに輪かけて、手伝いはさせん、勉強は減らす、規則はゆるめる、贅沢はいましめない、そしてカウンセリングしてやって、言い分を一方的に聞いてやるなんてね、そんなことで、何で若者がマトモに育ちますか。世の中がようなりますか。現実、悪うなる一方でしょ。

子どもたち見てもね、最初に小5の男の子がお母さんに言うた「オマエに言われんでもええんじゃ！」ちゅう暴言のエピソード紹介しましたけど、小さい子たちがホンマに悪うなってる、私の身の回りでも。ええとこ、誉めるとこほとんどない、目に付くのはたいてい悪いことばかりでね。これ、別に、私が偏見持って見てるんやないんですよ、公平に見たら、そうとしか言われへんのです。やっぱり、大人がしっかり教育して、しつけてやらんといけません。

それには、高圧的に抑え付けるんではダメです。愛情そそいであげなければね。いま、社会から愛情が失われて、みんなお互いに無関心になってる。愛の喪失は、これすなわち無関心です。だから、親が子に対して無関心。車の中に残して、買い物に行く、パチンコに行く。泣こうがわめこうが、暑かろうが苦しかろうが、子どもの様子には無関心ちゅうことですよ。学校行くようになったらね、まあ成績が良くて、いじめられてなくて、毎日家を出ていけばええと。肝心の、子どもの心には無関心。そして中学高校になれば、外泊しようが、バイク乗ろうが、深夜に出歩こうが、ドラッグやろうが、エンコーしようが無関心ですよ。こういうのみんな、愛の喪失です。愛を失った子どもが親になって、またまた愛のない子育てをしてる。

ちっとやそっとでは、この悪循環は断ち切れませんよ。我々みんなが、ものすごい心理的エネルギーをかけて、一大決心して、意識を変えなくちゃならない。誰も変えてくれません、自分のところは。小泉首相やって変えてくれへん。自分で決意せんことにはね。

イモとタニシ

いろんなことお話しさせてもらいましたけどね、言いたいことは、そんなにいくつもないんです。それに、難しいことでもない。ご理解いただければありがたいと思います。

このお話しさせていただいている間にも、どえらい事件が次々起こってます、ほとんど毎日。花火見物の歩道橋で人がぎょうさんつぶされるとか、虐待して殺してもうた子どもを、ポリ袋入れて放り捨てるとか、包丁持ってうるついていた男が、警官刺し殺して自分も射殺されるとか、ビルが焼けて40何人も死ぬとかね。もはや治安の悪さちゅうたら世界一言うてもおおげさやない。何とも悲しいことです。

アフリカの飢餓地帯じゃ、毎日1万人ずつ飢え死んでいてね、その一方、みんなが贅沢に暮らしてる日本のどこかで、毎日殺し合いが起きとる。こんな、いちいち全部取り上げとったら、話が終わりませんわ。

世界情勢も、急速に不安定になってますね。もう、いつどこで、どんなにどえらいことが起こっても、一つも不思議やありません。でもね、われわれ人間が、自分で自分の首を絞めて、滅びるのを早めることはないんですよ。

ええ、それじゃ、また来てください。お待ちしてます。これね、うちの畑で獲れたイモですわ。どうぞお持ち帰りください、おみやげです。差し上げた方みんなね、おいしい言うてくれはってますよ。え？ お礼がない？ ま、今度来られた時におみやげ期待してますよ。いやいや、冗談ですけど。

今度はね、タニシご馳走しましょうか。食べられたことあります？ タニシ。うまいんですよ、専門の料理屋もあるくらい。

女物の古ストッキング使うてね、アミ作るんです。近所のため池行って、それですくうとね、ぎょうさん捕れる。そいつをタライに入れてね、何日か置いといて泥を吐かせる、それから湯がいてね、殻から引っ張り出すんです、楊枝やフォークでね。まあ、身にするとなえ、ちょっとにしかならない、タライにいっぱいとっても、ドンブリ1杯あるかないくらいですね。ダシで味付けて炊いたりね、みそ汁の実にしてもええですけど、そのまんまね、芥子酢味噌つけて食うてもええもんですわ。すっきりした味で、何の臭みも雑味もない。コリコリしてて、いくらでも食べられます。酒が、なんぼでも飲める。

まあ、食えるようにするんが手間かってね、結構たいへんです。ここらでも、タニシ

捕って食うような人は、今もうおらんでしょうな。ま、ぜひ一度どうぞ。捕るのもね、作るのも、一緒にやってみたらええですよ。

じゃ、お気をつけて。

不許転載